SONY

パーソナルコンピューター

VGC-RM_4シリーズ 取扱説明書

SONY VGC-RM_4シリーズ VAIO

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書(本書)をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

セットアップガイド

設置・接続からバイオを使うための準備までを、イラストを見ながら知ることができます。

デジタル放送取扱説明書

(デジタルテレビチューナー搭載モデルのみ)

デジタル放送のセットアップや基本的な視聴方法を解説しています。

画面で見るマニュアル

バイオ電子マニュアル

バイオ使用上、必要な情報をすべて記載しています。検索機能を使って、取扱説明書(本書)よりもすばやく目的の操作を探せます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

VAIOナビ

目的の項目を一覧から選んでいくことで
最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIOナビ]をクリックする。

重要なお知らせ

バイオを使ううえでご覧いただきたい情報です。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックする。

ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

見るには

各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

パーソナルコンピューター

VGC-RM_4シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。

この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows Vistaの画面デザインには、「Windows Aero」や「Windows Vista ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」ソフトウェアは、Windows Vista Home Premium搭載モデルおよびWindows Vista Ultimate搭載モデルにのみインストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「テレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、テレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認するには、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

目次

「バイオ電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリック！

本機をセットアップする

「バイオ電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオ電子マニュアル]をクリック!

テレビ/ミュージック/フォト/ DVD

インターネット/メール

増設/バックアップ/リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／注意事項

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCV-AC1N

電波法に基づく認証について（Bluetooth機能搭載モデル）

本機内蔵のBluetoothカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のBluetoothカードを分解／改造すること
- 本機内蔵のBluetoothカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流について（付属のアクティブスピーカー用ACアダプタ）

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

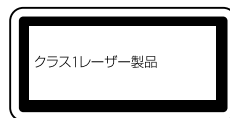
アース線の接地接続について

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

付属のマウスについて

付属のマウスは、レーザーに関する安全基準（JIS・C6802）クラス1適合品です。
マウス底面に下記適合ラベルを表示しています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

無線の周波数について／Bluetooth機能

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。/Bluetooth機能

FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)について

キーボードに内蔵されているFeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。使用周波数は、13.56 MHz帯です。
キーボードに内蔵されているFeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)を分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。周囲で複数のリーダー /ライターをご使用の場合、1m以上間隔をあけてお使いください。
また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

ディスプレイ出力のHDCP対応について

本機は、HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)規格に対応しており、著作権保護を目的にデジタル映像信号の伝送路を暗号化することが可能です。
これにより著作権保護を必要とするコンテンツを再生・出力することが可能となり、幅広いコンテンツを高画質のまま楽しむことができます。
著作権保護されたコンテンツを再生する場合には、HDCP規格に対応したディスプレイが接続されている必要があります。非対応のディスプレイを接続した場合は、著作権保護されたコンテンツは再生または表示できません。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：(0570) 000-369(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。)
携帯電話やPHSでのご利用は：(03) 3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00(土・日・祝日および当社指定の休日を除く)

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
([サービスとサポート]－「お問い合わせ／アフターサービス]－[使用済みコンピュータの回収について]をクリックする。)

事業者のお客様へ

事業で(あるいは、事業者が)ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

アナログテレビ放送から、デジタルテレビ放送への移行について(アナログテレビチューナー搭載モデル)

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。
今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められております。

この説明書の説明図や画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載される機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがございます。あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

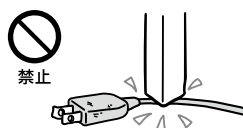
注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水ぬれ禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
- 各種の拡張ボード（基板）を取り付けたりメモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の周辺機器の拡張のページで指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、テレホンコード、ネットワーク（LAN）ケーブル、アンテナ接続ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

指示

交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。
本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

内蔵モデムは一般電話回線以外に接続しない

禁止

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LANコネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

禁止

本機のLANコネクタに下記のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般電話回線
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない

禁止

Bluetooth機能を「OFF」にしてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くに設置しない

禁止

Bluetooth機能を「OFF」にしてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、Bluetooth機能を使用しない

禁止

Bluetooth機能を「OFF」にしてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

禁止

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやマウスなどを使いすぎない

禁止

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

レーザーマウス底面のレンズ部を直接見ない(レーザー光は目には見えません)

注意

マウス底面から発せられるレーザー光により、目を傷める可能性がありますので、さけてください。

接続するときは電源を切る

注意

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

注意

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

アース線を接続する

アース線を
接続せよ

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。

通風孔をふさがない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から15cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない

安定した場所に置く

注意

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。
また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運搬時は慎重に

コンピュータを運搬するときは、側面下部に左右から手を入れて持ち、安定した姿勢で運んでください。前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、重いものを載せない

禁止

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

注意

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

注意

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

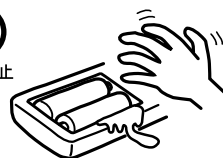
禁止

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

指示

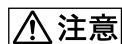
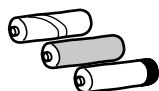
- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

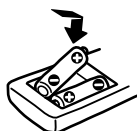
電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

市販のアルカリまたはマンガン電池（単三形）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示にあわせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

VAIOを使うための8つの

VAIOを使い始める前に、まず8つの準備をしましょう。
このページから続く説明に従って、作業を進めてください。

まずハードウェアの設定です。

準備1 付属品を確かめる

▶ 付属品の確認

18ページ

準備2 設置する

▶ 適切な設置場所とは？

20ページ

準備3 接続する

▶ ネットワーク(LAN)ケーブル、電源コードなどの接続
▶ 外部機器の接続

23ページ

準備4 電源を入れる

▶ 電源の入れかた、切りかた

39ページ

準備

ここからはソフトウェアの設定です。

準備5
Windowsを準備する
▶ ユーザー名やパスワードなどの設定

42ページ

ここからの設定にはインターネットへの接続が必要です。

準備6
基本設定を行う
▶ Windows Media Centerの設定
▶ バイオをはじめる前の準備

48ページ

準備7
カスタマー登録する
▶ カスタマー登録について

56ページ

準備8
最新情報を自動的に入手する

58ページ

付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

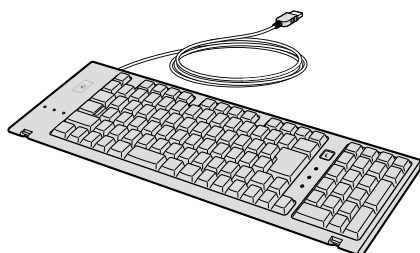
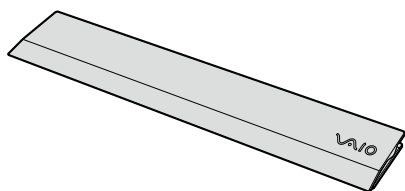
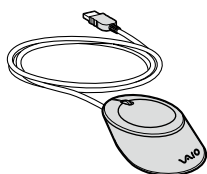
VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

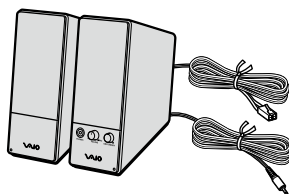
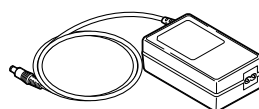
❑ **コンピュータ本体(メインユニット)**

❑ **コンピュータ本体(アクセスユニット)**

(アクセスユニット付属モデルに付属)

❑ **キーボード**

❑ **パームレスト**

❑ **マウス**

❑ **ディスプレイおよびその付属品**

お買い求めの機種によって、付属しているディスプレイが異なります。また、ディスプレイが付属していない機種もあります。
ディスプレイによっては別売りのディスプレイケーブルが必要になることがあります。
ディスプレイについて詳しくは、別冊のディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

❑ **アクティブスピーカー**

❑ **アクティブスピーカー用ACアダプタ**

電気的定格
INPUT：AC100-240V 50/60Hz 1.0A
OUTPUT：DC12V 1.6A

❑ **アクティブスピーカー用電源コード**

アクティブスピーカーとアクティブスピーカー用ACアダプタおよび電源コードは、同じ箱に入っています。

!ご注意

付属の電源コードは、AC100V用です。

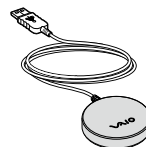
❑ **リモコン**

(テレビチューナー搭載モデルに付属)

❑ **単3形乾電池(2)**

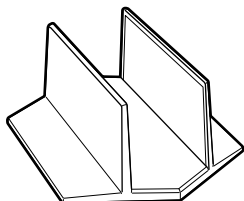
(テレビチューナー搭載モデルに付属)

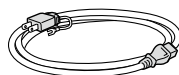
❑ **リモコン用受光ユニット**

(テレビチューナー搭載モデルに付属)

❑ ジョグコントローラー

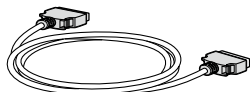
（ジョグコントローラー付属モデルに付属）

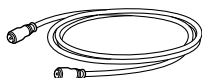
❑ スタンド

（アクセスユニット付属モデルに付属）

❑ 電源コード

!ご注意

付属の電源コードは、AC100V用です。

❑ メインユニット-アクセスユニット接続ケーブル

（アクセスユニット付属モデルに付属）

❑ アンテナ接続ケーブル

（デジタルテレビチューナー用1本、アナログテレビチューナー用1本）

説明書・その他

❑ 取扱説明書（本書）

❑ 主な仕様と付属ソフトウェア

❑ デジタル放送取扱説明書

（デジタルテレビチューナー搭載モデルに付属）

❑ B-CASカード

（デジタルテレビチューナー搭載モデルに付属）

❑ セットアップガイド

❑ 保証書

❑ VAIOカルテ

❑ シール

（設置用足を取りはずしたあとのネジ穴をふさぐ場合に使用します）

❑ ご注意・お知らせ

本機に関する大切な情報を、記載した紙が付属している場合があります。必ずご覧ください。

❑ その他のパンフレット類

大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。

❑ Microsoft® Office Personal 2007[*1]プレインストールパッケージ

（「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ Microsoft® Office PowerPoint® 2007[*2]プレインストールパッケージ

（「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ Microsoft® Office Professional 2007[*3]プレインストールパッケージ

（「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属）

お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」（165ページ）をご覧ください。

*1 この説明書では以降、Office Personal 2007と略します。

*2 この説明書では以降、Office PowerPoint 2007と略します。

*3 この説明書では以降、Office Professional 2007と略します。

❑ 「VAIOでビデオ編集を始めよう」CD-ROM

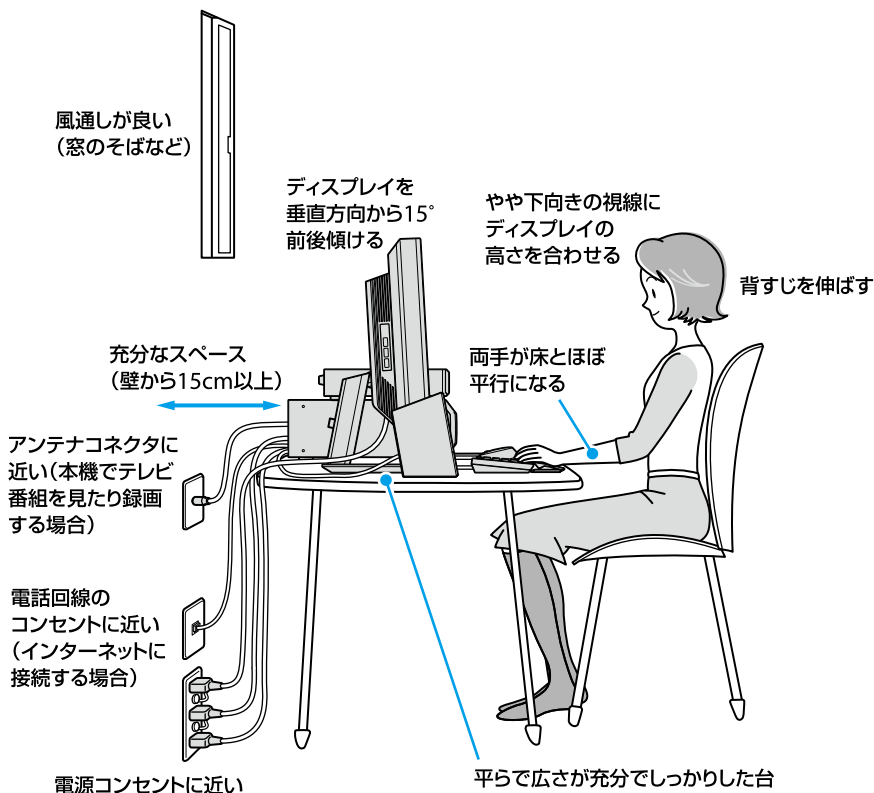
（「Adobe(R) Premiere(R) Pro / Adobe(R) Premiere(R) Elements(R)」プリインストールモデルに付属）

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（161ページ）をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
  詳しくは、「リカバリする」（116ページ）をご覧ください。

設置する

設置場所

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

!ご注意

- 必ず壁から15cm以上離して設置してください。
- ほこりの多い場所では、床に置かないでください。通風孔からほこりを吸い込んで故障の原因となることがあります。
- レーザーマウスは、透明な素材、光を反射する素材、網点模様・縞模様や柄のもの、光沢があるマウスパッドや机の上では正しく動作しない場合があります。
- 通風孔には物を置いたり、ふさいだりしないでください。
- 本機後面の一部が熱くなる場合がありますのでご注意ください。

設置に適さない場所

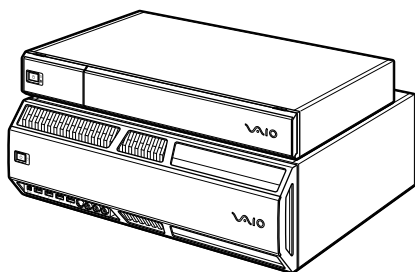
次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

- 直射日光が当たる場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 風通しが悪い場所

設置方法

メインユニットとアクセスユニットは通常の横置き以外にも、縦置きにして設置することもできます。

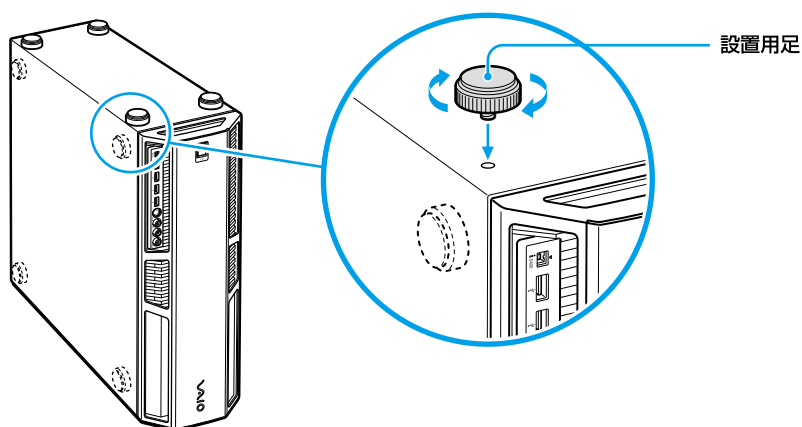
横置きにする（アクセスユニット付属モデル）

メインユニットとアクセスユニットは重ねて設置することができます。

！ご注意

アクセスユニットを下にしないでください。

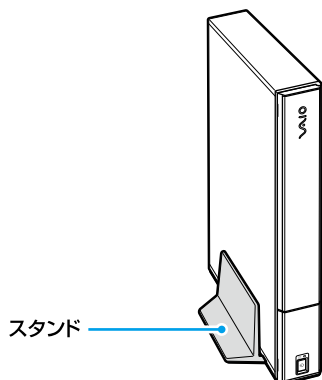
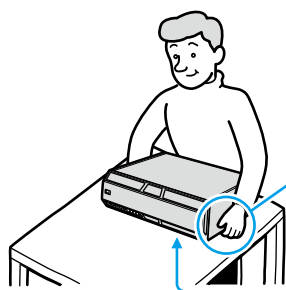
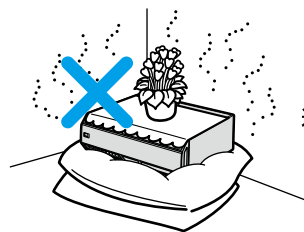
縦置きにする

メインユニット

メインユニットを縦置きにする場合は、底面に取り付けられている4か所の設置用足を取りはずし、左側面に取り付けます。

ヒント

設置用足を取りはずしたあとのネジ穴をふさぐ場合は、同梱のシールをご使用ください。

アクセスユニット（アクセスユニット付属モデル）

アクセスユニットを縦置きにする場合は、付属のスタンドを取り付けてください。

設置時のご注意

次のことをお守りください。

！ご注意
前面パネル部分を持って運ぶのは危険なのでおやめください。

故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
  電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
  小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。
- 通風孔に物を置かない。

設置の際の安全上の注意事項もご覧ください（11ページ）。

接続する

ディスプレイ、アクティブスピーカー、キーボード、マウス、テレホンコード、リモコン用受光ユニット（テレビチューナー搭載モデル）、アンテナ（テレビチューナー搭載モデル）、ジョグコントローラー（ジョグコントローラー付属モデル）、アクセスユニット（アクセスユニット付属モデル）、電源コードを接続し、リモコン（テレビチューナー搭載モデル）を使えるように準備します。

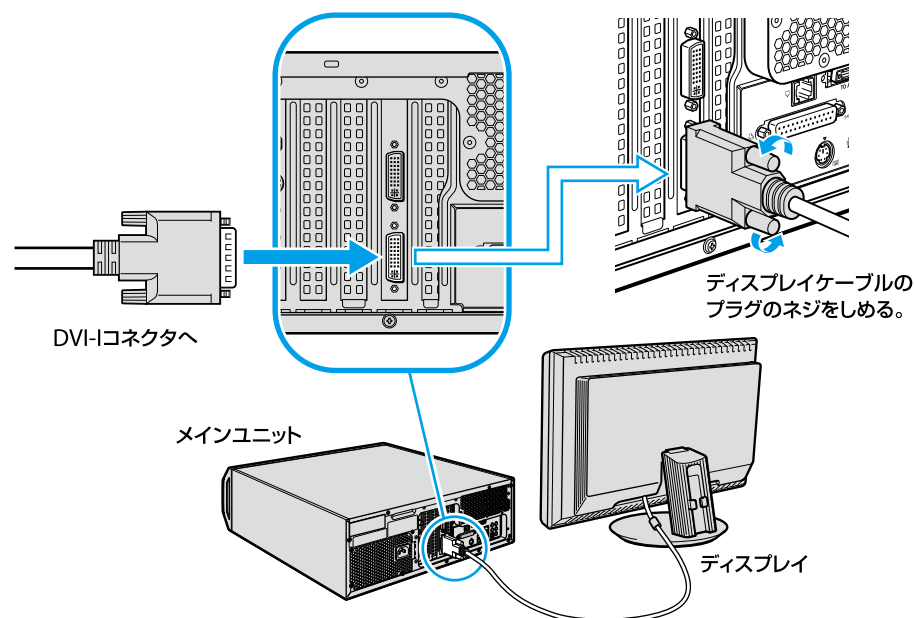
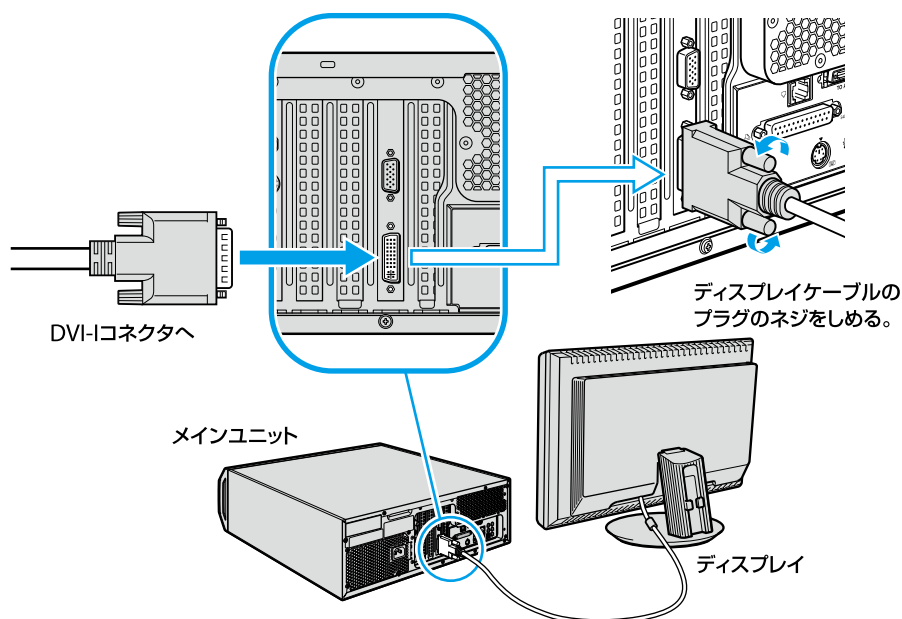
ヒント
特に記載のない場合、ディスプレイのイラストはSDM-P246Wです。

ディスプレイを接続する

！ご注意
本機のディスプレイ接続用コネクタには、モニタコネクタとDVI-I（ディーブイアイ アイ）コネクタの2種類があります（実際に搭載されているコネクタは機種により異なります）。また、接続するコネクタはディスプレイによって違います。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

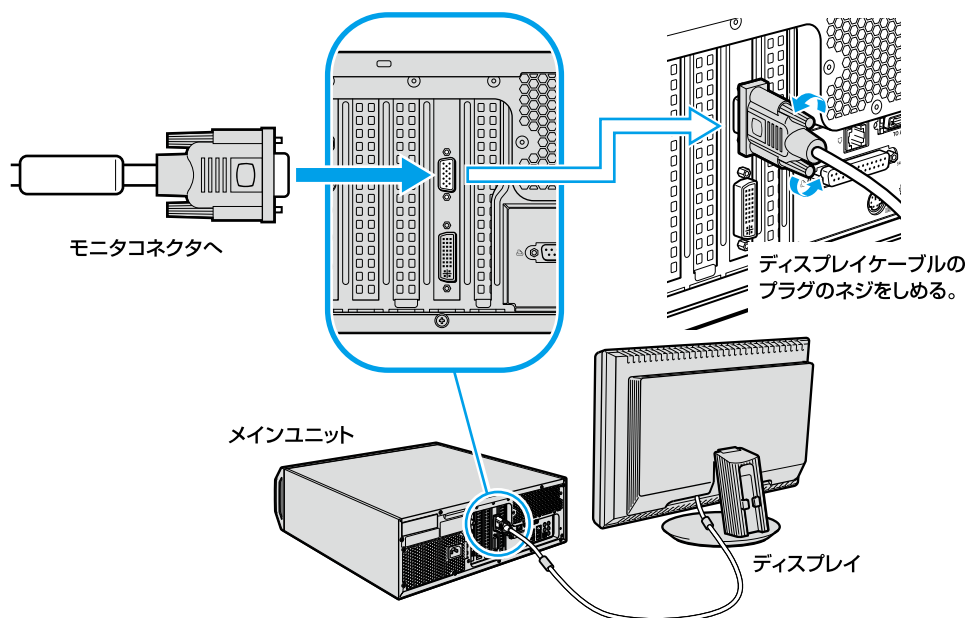
DVI（ディーブイアイ）ディスプレイを接続する場合

ディスプレイのDVI入力コネクタを、メインユニット後面のDVI-Iコネクタに差し込んでください。

NVIDIA(R) GeForce(R) 8600 GTSグラフィックアクセラレータモデルまたはQuadroグラフィックアクセラレータモデル

NVIDIA(R) GeForce(R) 8500 GTグラフィックアクセラレータモデル

！ご注意

- NVIDIA(R) GeForce(R) 8600 GTSグラフィックアクセラレータモデルおよびNVIDIA(R) GeForce(R) 8500 GTグラフィックアクセラレータモデルは、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応しています。HDCP規格対応が再生または出力の要件になっているコンテンツを利用される場合は、HDCP規格対応のディスプレイとあわせてご利用ください（9ページ）。
- Quadroグラフィックアクセラレータモデルをお使いの場合、DVI-IコネクタはHDCP規格に対応しておりません。

アナログディスプレイを接続する場合

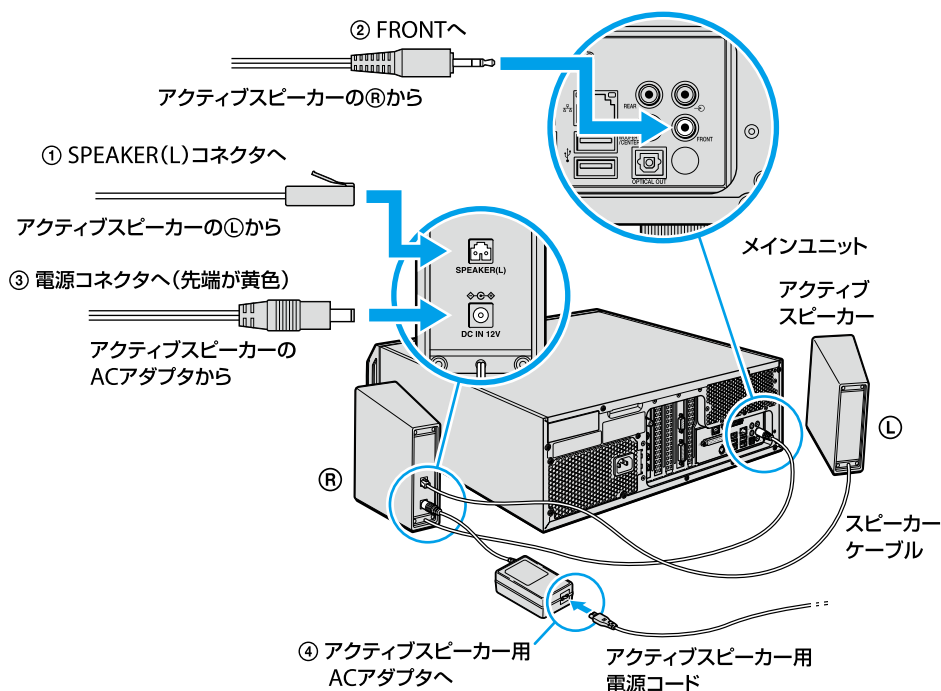
NVIDIA(R) GeForce(R) 8500 GTグラフィックアクセラレータモデル

ヒント

NVIDIA(R) GeForce(R) 8600 GTSグラフィックアクセラレータモデルまたはQuadroグラフィックアクセラレータモデルをお使いの場合は、DVI-I-RGB変換アダプタ（別売り）を取り付けると、DVI-Iコネクタにアナログディスプレイを接続することができます。

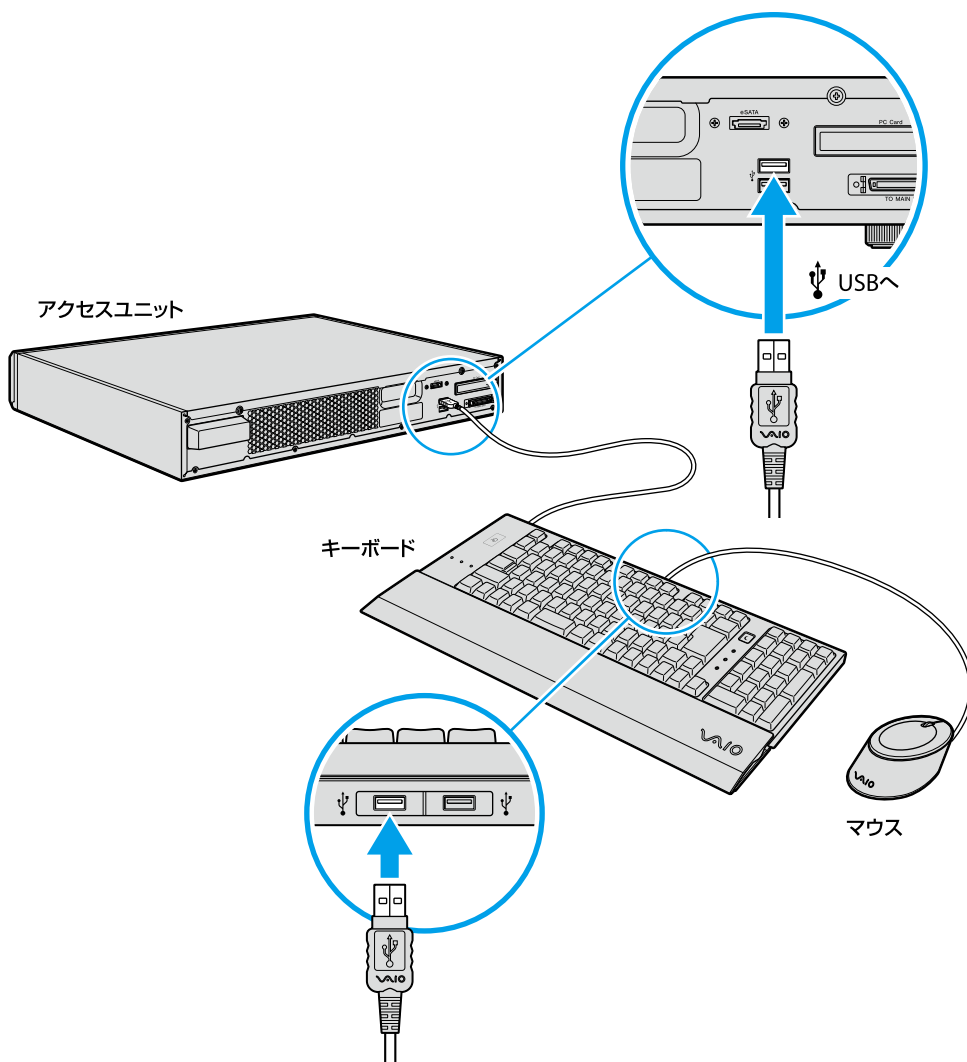
アクティブスピーカーを接続する

ヒント
別売りの5.1chスピーカーなどを接続する方法については、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。

Ⓛ：本機の左側に設置します。
Ⓡ：本機の右側に設置します。

① 左側Ⓛのアクティブスピーカーのケーブルのプラグを右側ⓇのアクティブスピーカーのSPEAKER(L)コネクタへ接続します。
② 右側Ⓡのアクティブスピーカーのケーブルのプラグ(緑色)をメインユニット後面のFRONT(フロント)コネクタへ接続します。
③ アクティブスピーカーのACアダプタのプラグをアクティブスピーカーに接続する。
④ アクティブスピーカーのACアダプタにアクティブスピーカー付属の電源コードのプラグを差し込む。

! ご注意
- アクティブスピーカーには、付属のACアダプタ以外は接続しないでください。
- ACアダプタと電源コードはアクティブスピーカーの箱に入っています。

キーボードとマウスを接続する

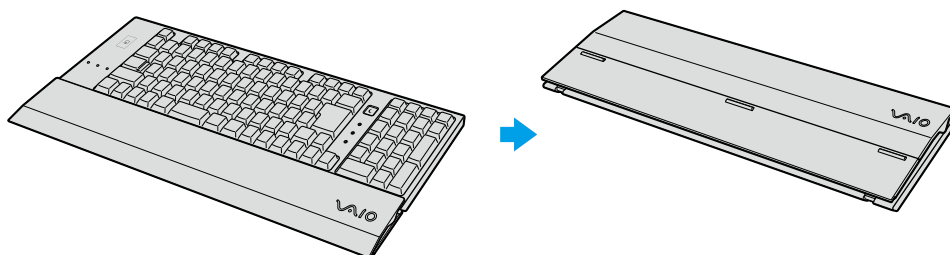
アクセスユニット付属モデルをお使いの場合

ヒント

アクセスユニットが付属しないモデルをお使いの場合は、キーボードをメインユニットのUSBコネクタ（169ページ）に接続してください。

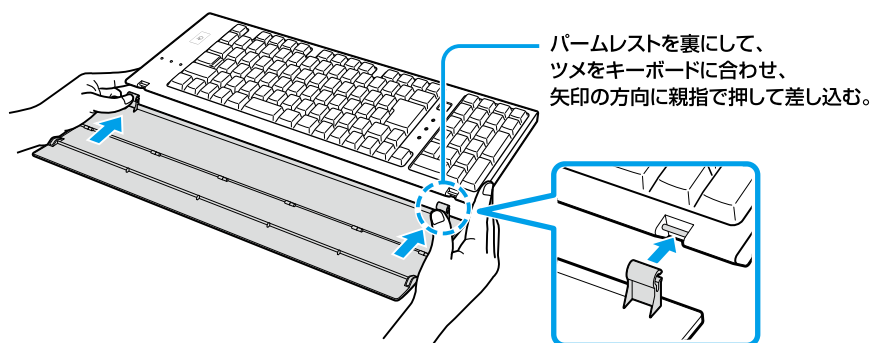
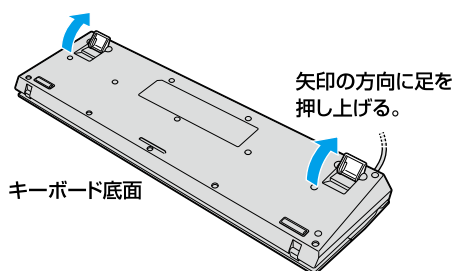
！ご注意

キーボード背面のUSBコネクタは、USB2.0規格のHigh-speedに対応していません。USB2.0規格のHigh-speed機器を使用する場合は、本体側のUSBコネクタに接続してください。

キーボードのパームレストについて

パームレストを手前に折りたたむと、キーボードを使うとき手首に負担がかかりにくくなります。
パームレストは、キーボードを使わないときにキーボードの上にかぶせると、ふたとして使うことができます。

！ご注意

- 持ち運ぶときは、パームレストを持たずにキーボード本体を持ってください。
- パームレストを無理に逆側に回転させないでください。
- 机の上で使用する際は、平らなところで、パームレストがはみ出ないように設置してください。

キーボードにパームレストを取り付けるには

キーボードの足を立てるには

ヒント

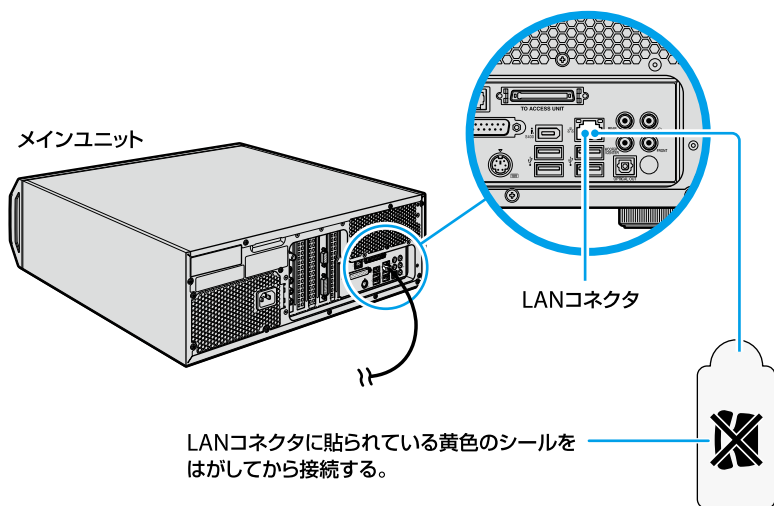
キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。

インターネット接続用機器につなぐ

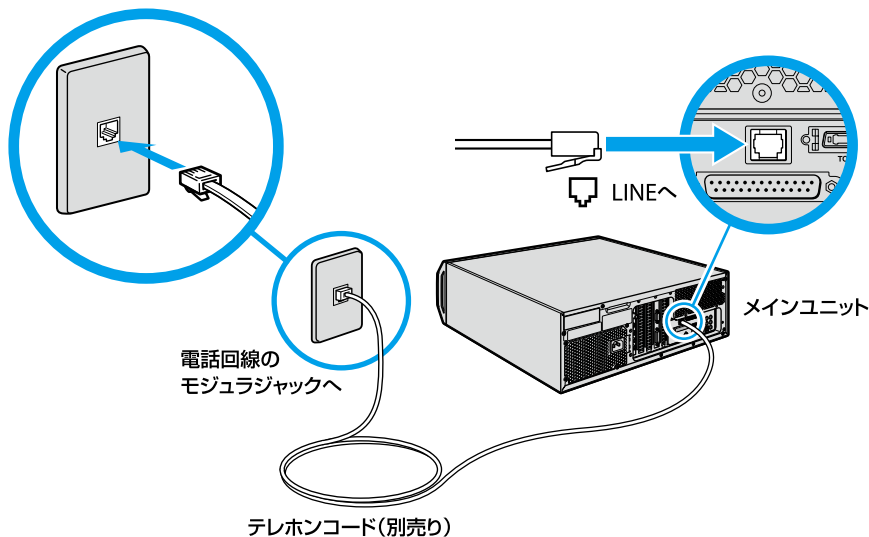
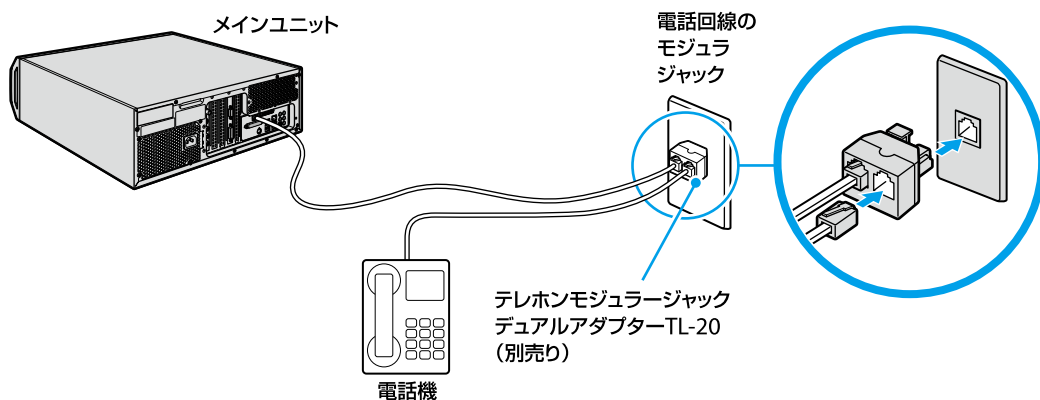
インターネットに接続するには、ADSL、FTTH(光)、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、一般の電話回線に接続する方法、ISDN回線を利用する方法があります。

!ご注意
インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときはLANコネクタを使用します。

!ご注意
LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット(Ethernet)用などと表記されているものをご使用ください。

一般の電話回線につなぐときは

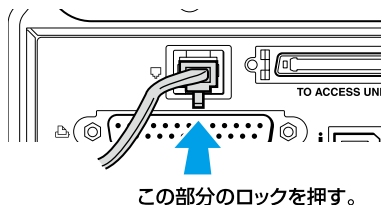
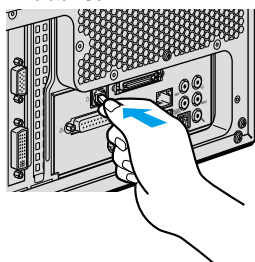
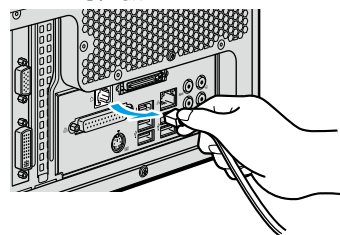
別売りのテレホンコードの一方をメインユニット後面の LINE(電話回線)ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込みます。

電話機をつなぐときは、アダプター（テレホンモジュラージャックデュアルアダプター TL-20（別売り）など）を使って接続します。

！ご注意
テレホンコードはメインユニット後面のLANコネクタに接続しないでください。

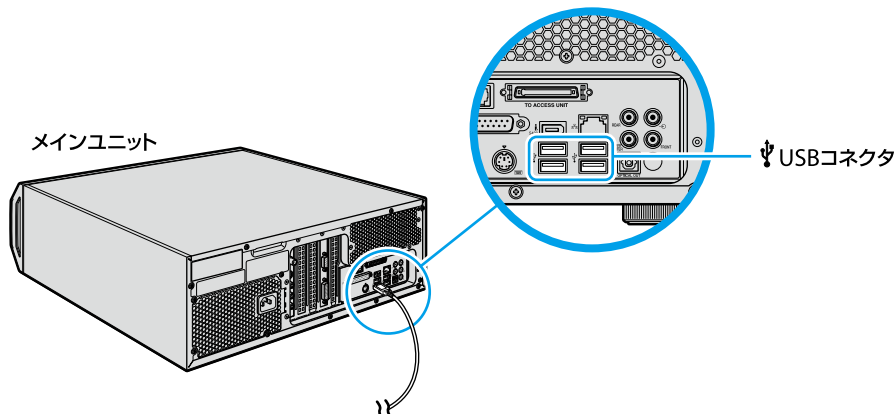
ヒント
ビジネスホン、ホームテレホンなどの電話機やドアホン付きの電話機をお使いのときは、工事が必要となるものがあります。電話機を取り付けた業者にご相談ください。

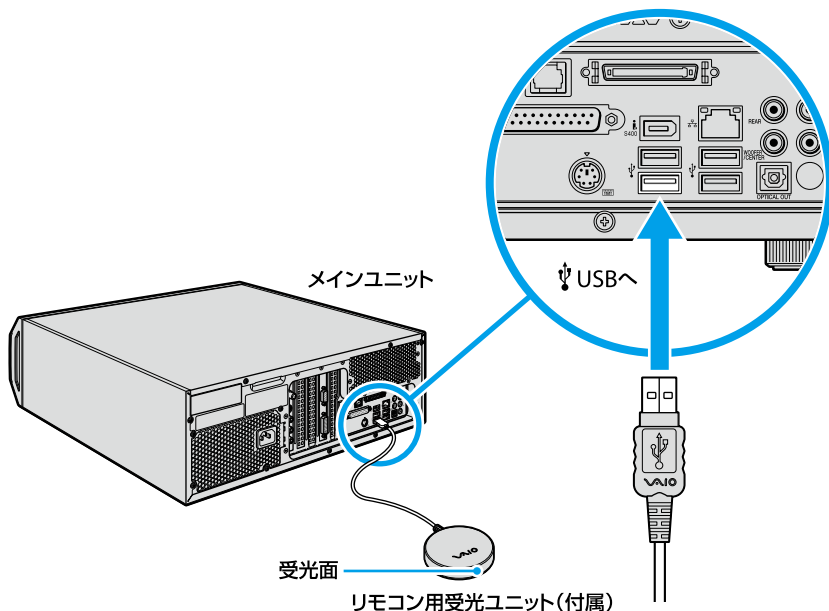
本機からテレホンコードを取りはずすには

① LINE（電話回線）ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込む。

② モジュラアダプタのロックを押し、テレホンコード部分といっしょにつかむ。

③ ロックを押しながら、斜め上方向へ引き抜く。

ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときはUSBコネクタを使用します。

リモコン用受光ユニットを接続する（テレビチューナー搭載モデル）

付属のリモコン用受光ユニットをメインユニット後面またはアクセスユニット後面のUSBコネクタに接続します。

！ご注意

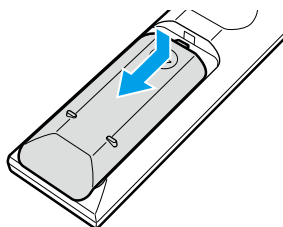
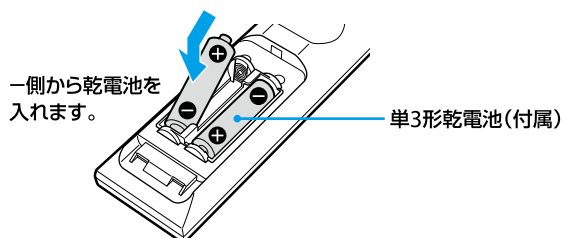
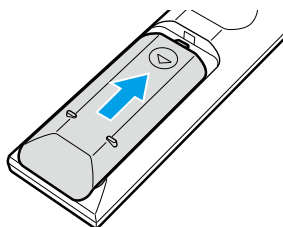
- リモコン用受光ユニットは、本機および付属のリモコン専用です。他の機器ではお使いになれません。
- リモコン用受光ユニットを設置するときは、以下の点にご注意ください。
  - 受光面をリモコンの信号が受けやすい方向に向けてください。
  - 受光ユニットの受光面とリモコンの発光部の間に障害物がない場所に設置してください。

ヒント

- リモコン用受光ユニットをつなぐと、付属のリモコンを使って、本機を操作できるようになります。
- リモコン用受光ユニットを本機の上など安定しない場所に設置するときは、付属のマジックテープを貼ると受光ユニットの滑り落ちを防げます。マジックテープを受光ユニットの底面と受光ユニットを設置する場所に貼ります。
- リモコン用受光ユニットはアクセスユニット後面のUSBコネクタに接続することもできます。
- USB機器の接続については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[周辺機器のつなぎかた] – [USBに接続した機器] – [USB機器をつなぐ]をクリックする。）

リモコンを準備する（テレビチューナー搭載モデル）

① リモコンを裏返す。

② リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。

③ ＋と－の方向を確かめて、付属の単3形乾電池を2本入れる。

④ 乾電池入れのふたをスライドさせて閉める。

！ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。新しい乾電池と使い古しの乾電池を混ぜたり、異なる種類の乾電池（マンガン乾電池とアルカリ乾電池という組み合わせなど）を混ぜて使用すると「液もれや破損」の原因となります。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。電池容量がなくなったあとも機器に入れたままにしておくと液もれを起こす原因となります。
- 乾電池が液もれしたときは、乾電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液をふく際はご注意ください。
- 乾電池は充電しないでください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。

アンテナに接続する(テレビチューナー搭載モデル)

アナログテレビチューナー搭載モデルをお使いの場合

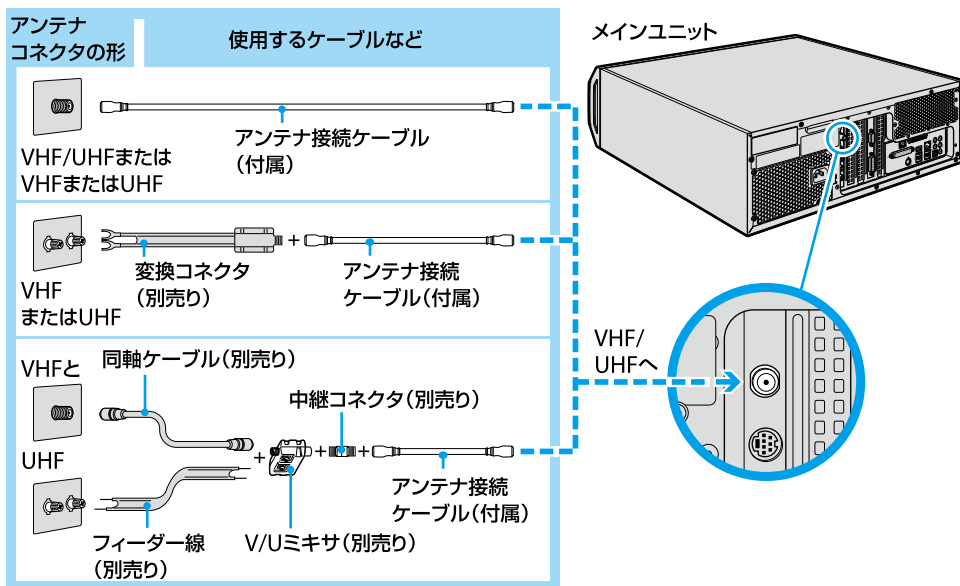
テレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、付属のアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナコネクタにつなぎます。

接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

❑ 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

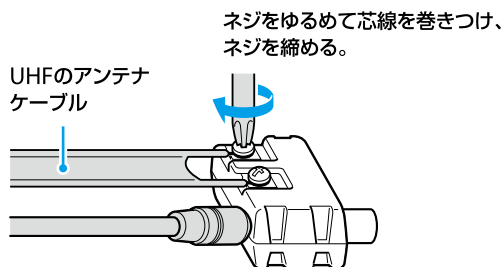
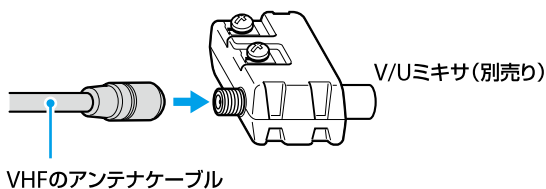
以下のようにアンテナを接続します。

アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。

!ご注意

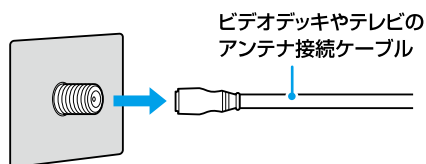
- フィーダー線は同軸ケーブルに比べ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、本機からできるだけ離してください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、長くなりすぎないようにご注意ください。

V/Uミキサをつなぐには

❶ VHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。

❷ UHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。

❑ すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

以下のようにアンテナを接続します。

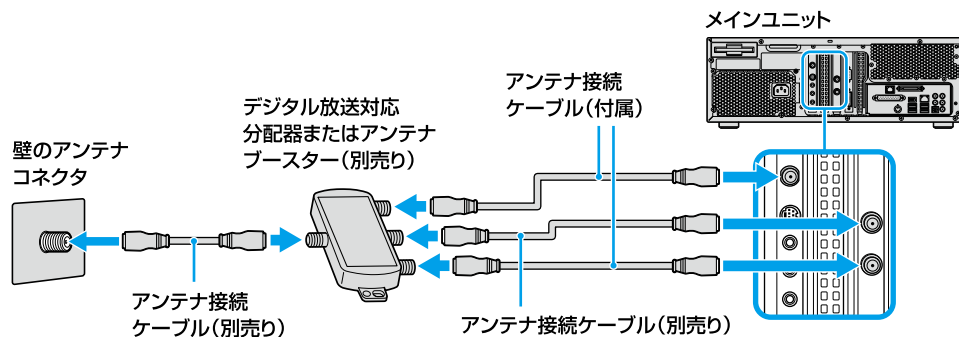
① 壁のアンテナコネクタに接続されているビデオデッキやテレビのアンテナ接続ケーブルを取りはずす。

② アンテナを接続する。
別売りの分配器やアンテナブースターなどを使ってアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」に記載の例から、最も近いものを選び接続してください。

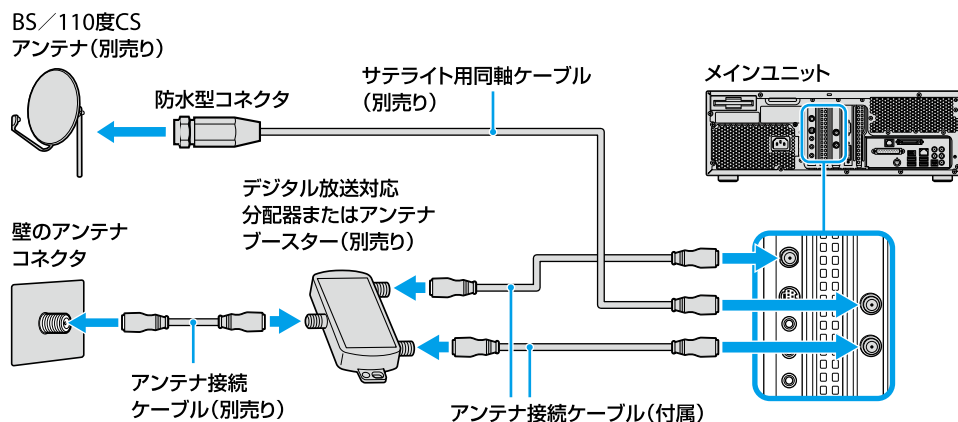
ヒント
ビデオデッキをつなぐなど、アンテナを分配すると電波が弱くなり、ディスプレイの画面がチラチラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。

デジタルテレビチューナー搭載モデルをお使いの場合

本機は、地上アナログ放送を受信するVHF ／ UHF（アンテナ）コネクタ、地上デジタル放送を受信する地上デジタル入力コネクタ、BSデジタル放送／ 110度CSデジタル放送を受信するBS ／ 110度CS IF入力コネクタの3つのコネクタを搭載しています。
本機を使ってテレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、これら3つのコネクタをすべてつないでください。
それぞれのコネクタの接続方法は、以下の場合で異なりますので使用環境に合わせて接続してください。

- VHF ／ UHF ／ BS ／ 110度CS混合の共同受信システムをつなぐ場合
- VHF ／ UHF（地上波）のアンテナとBS ／ 110度CSのアンテナをそれぞれつなぐ場合

❑ VHF ／ UHF ／ BS ／ 110度CS混合の共同受信システムをつなぐ場合

ヒント
テレビなど、他の機器も接続する場合は、より口の多い分配器またはアンテナブースターをお使いください。

❏ VHF ／ UHF(地上波)のアンテナとBS ／ 110度CSのアンテナをそれぞれつなぐ場合

ヒント

- 壁にBS ／ 110度CS用のアンテナコネクタが用意されている場合は、付属のアンテナ接続ケーブルを使用して、BS ／ 110度CS用のアンテナコネクタと本機のBS ／ 110度CS IF入力コネクタをつないでください。
- テレビなど、他の機器も接続する場合は、より口の多い分配器またはアンテナブースターをお使いください。

!ご注意

- BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナを接続する場合、本機から電源を供給する必要がある場合があるので、サテライト用同軸ケーブル(別売り)で接続してください。
- BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナを接続する場合、本機の電源を入れたまま接続しようとすると、発火するおそれがあります。危険ですので、必ず本機の電源を切ってからアンテナを接続してください。

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)を入れる
(デジタルテレビチューナー搭載モデル)

B-CAS*カード(デジタル放送用ICカード)はお客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。

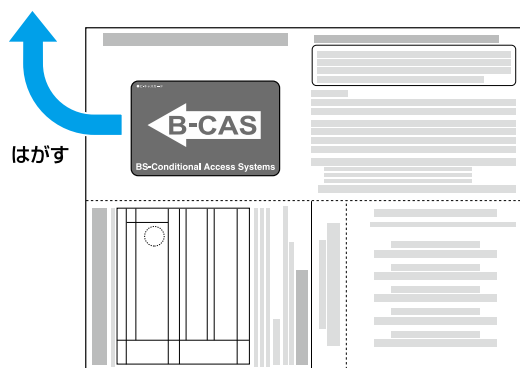
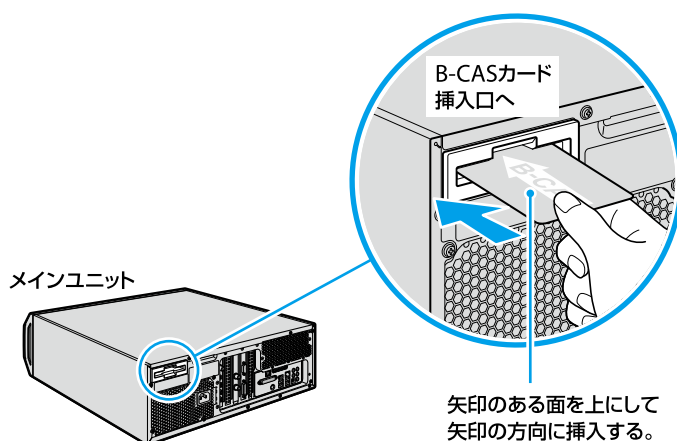
B-CASカードを挿入していないと、番組の著作権保護のため、デジタル放送はスクランブルがかかって視聴することができません。
デジタル放送を視聴するときは、必ずB-CASカードを挿入してください。

デジタル放送では、このカードを利用したCAS(限定受信システム)が採用されています。ご登録いただくと各種サービスが利用できるようになります。
B-CASカードを本機に入れたあと、ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函してください。
また、有料番組やPPV番組を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

＊ B-CASは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

!ご注意

ユーザー登録しないと、有料番組が視聴できなかったり、データ放送の双方向サービスが受けられなかったりします。また、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。

① 同梱の「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解されたうえで、台紙からB-CASカードをはがす。
B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号：0570-000-250)へお問い合わせください。

② B-CASカード挿入口にB-CASカードを挿入する。

③ 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。
B-CAS用ユーザー登録はがきの登録作業が終了すると、各種サービスが利用できるようになります。

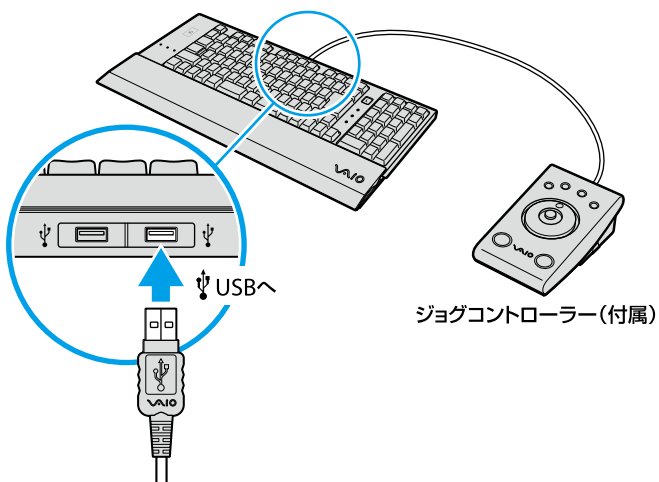
ヒント

B-CASカードを取り出すときは、カードを手でつまんで引き出してください。

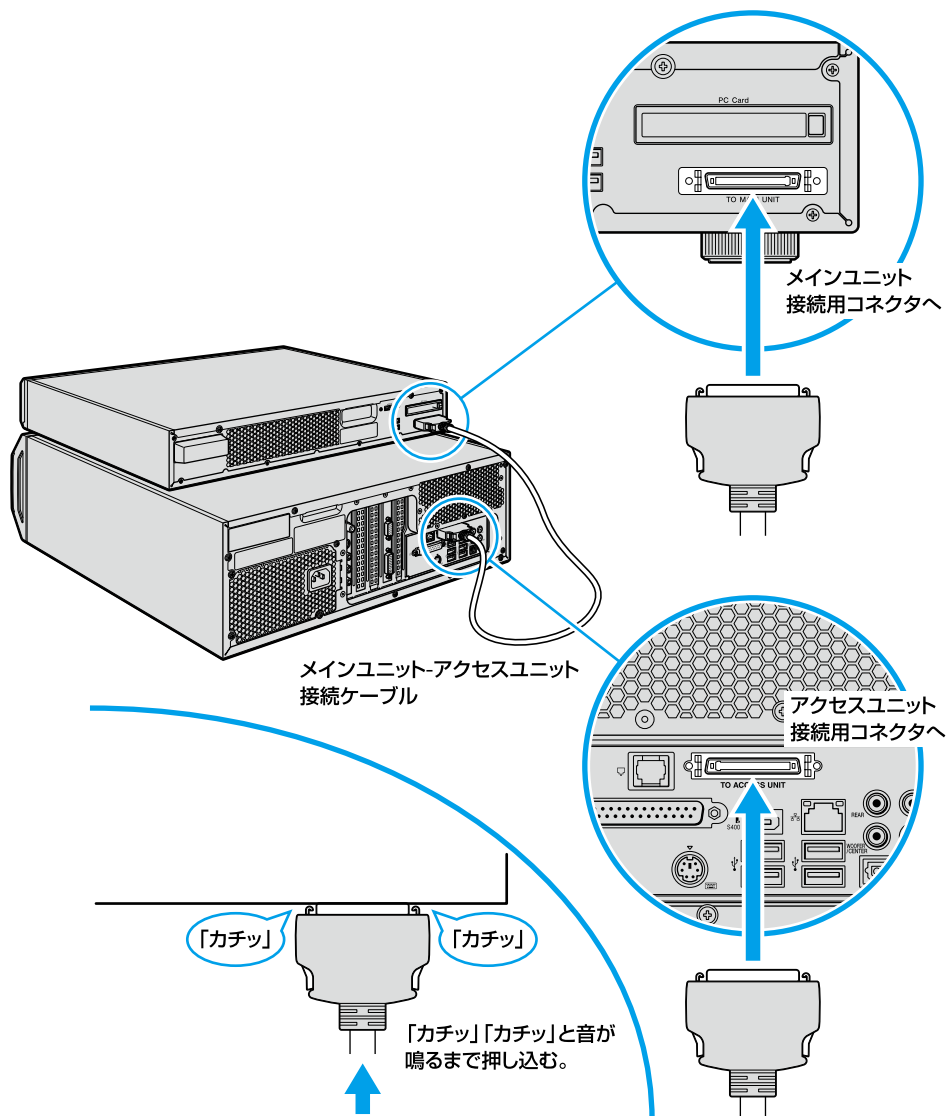
ご注意

- B-CAS用ユーザー登録はがき台紙は、大切に保管しておいてください。有料放送に視聴を申し込むときに必要なバーコードシールが付いていたり、B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されているためです。
- 転居などの際は、B-CASカスタマーセンターに連絡してください。

ジョグコントローラーを接続する（ジョグコントローラー付属モデル）

付属のジョグコントローラーをキーボード背面のUSBコネクタに接続します。

ヒント
ジョグコントローラーをつなぐと、「Adobe Premiere」ソフトウェアでのビデオ編集などを手軽に行えるようになります。

メインユニットとアクセスユニットを接続する（アクセスユニット付属モデル）

メインユニットとアクセスユニットをメインユニット-アクセスユニット接続ケーブルで接続します。

！ご注意

- メインユニット-アクセスユニット接続ケーブルは、本機の電源コードを抜いた状態で接続してください。
- メインユニット-アクセスユニット接続ケーブルがしっかり接続されているか確認するときは、本機の電源コードを抜いた状態でご確認ください。
- 本機に電源コードが接続された状態でメインユニット-アクセスユニット接続ケーブルを接続すると、故障や誤動作の原因となります。

電源コードを接続する

本機、ディスプレイ、アクティブスピーカーを電源コンセントに接続します。

！ご注意

- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は日本国内専用です。AC100Vでお使いください。

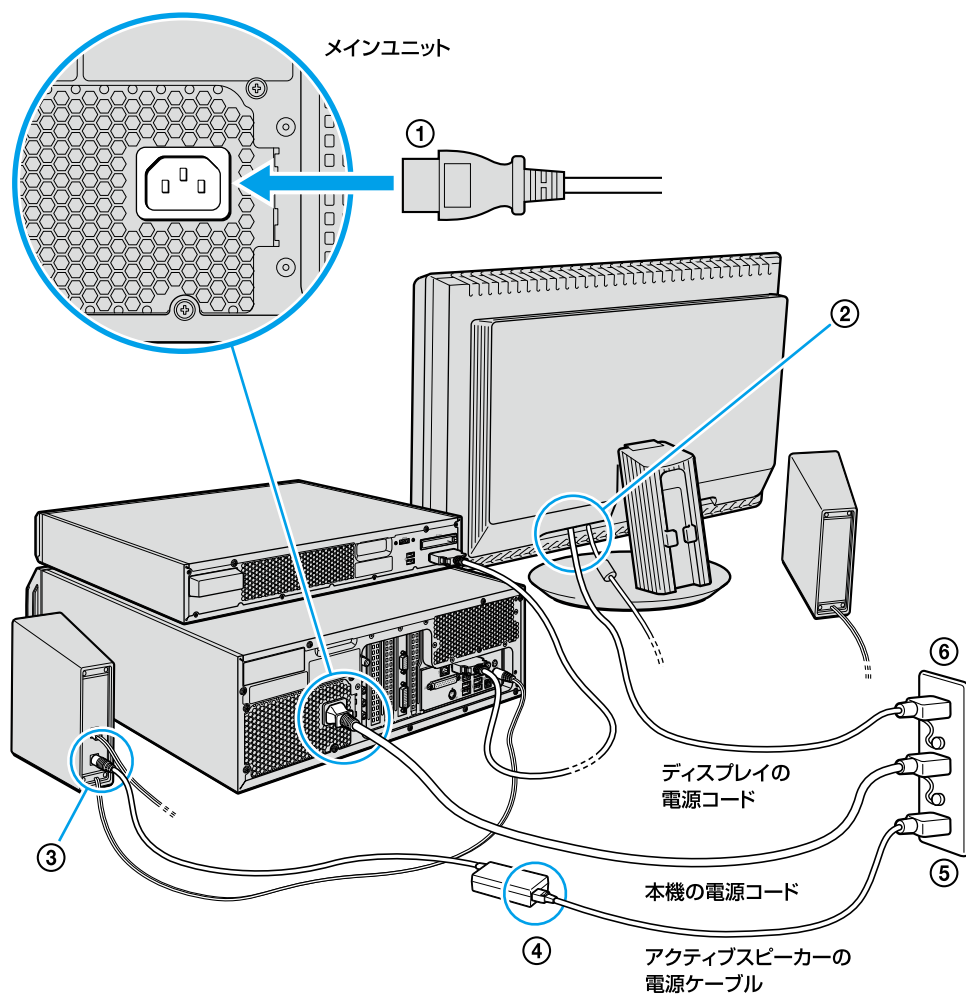
① 付属の電源コードのプラグを本体にしっかりと奥まで差し込む。

② ディスプレイの電源コードのプラグをディスプレイに接続する。

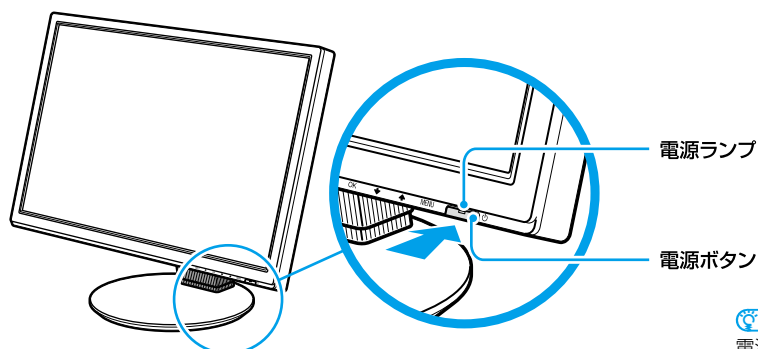
③ アクティブスピーカーのACアダプタのプラグをアクティブスピーカーに接続する。

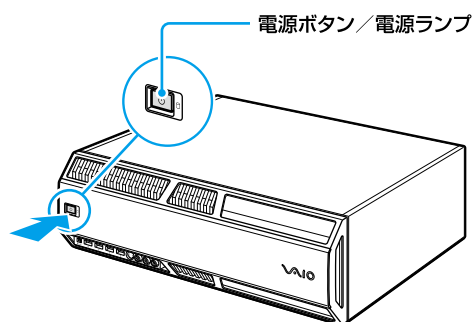
④ アクティブスピーカーのACアダプタにアクティブスピーカー付属の電源コードのプラグを差し込む。

⑤ アクティブスピーカーの電源コードを壁の電源コンセントに差し込む。

⑥ 本機の電源コードのアースを接続し、本機の電源プラグとディスプレイの電源コードを壁の電源コンセントに差し込む。

電源を入れる

ディスプレイと本機の電源を入れます。

1 ディスプレイの電源ボタンを押す。

ヒント
電源ボタンの位置はお使いのディスプレイによって異なります。詳しくはお使いのディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源ボタンを押す。

本機の電源が入り、電源ランプが点灯して、Windowsが起動します。
4秒以上電源ボタンを押したままにすると、電源が入りません。

ヒント
電源を入れたあと、コンピュータを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機の電源ランプとディスプレイの電源ランプがオレンジ色で点灯します。省電力機能について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモードにする]をクリックする。）

3 アクティブスピーカーの電源を入れる。

① ON/STANDBYボタンを押して、アクティブスピーカーの電源を入れる。
② VOLUMEつまみを回して、音量を調節する。

！ご注意
アクティブスピーカーが適切な音量になっているか確認してください。突然大きな音がしないように、VOLUMEつまみで調節してください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。「Windowsを準備する」（42ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

！ご注意

- Windowsのセットアップ画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 本機を安心してご使用になるには、大切なデータを失わないための対策や、第三者から本機を守るための対策が必要です。詳しくは、「インターネットのセキュリティについて」（81ページ）をご覧ください。

電源を切るには

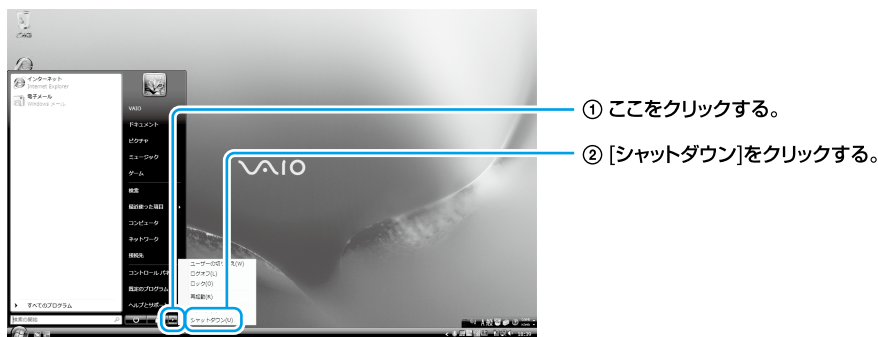
電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

ヒント

デスクトップ画面のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

1 （スタート）ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 [start]ー[シャットダウン]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。

ヒント

- ソニー製のコンピューターディスプレイをお使いのときは、手順2で本機の電源が切れたあと、自動的にディスプレイが節電モードに入ります。
- お買い上げ時の設定では、[電源]ボタンをクリックするとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリとハードディスクに保持したまま(ハイブリッドスリープ、お買い上げ時の設定)、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモードにする]をクリックする。)

3 ディスプレイの電源ボタンを押す。

ディスプレイの電源が切れます。

ヒント

電源ボタンの位置はお使いのディスプレイによって異なります。詳しくはお使いのディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

4 アクティブスピーカーのON/STANDBYボタンを押す。

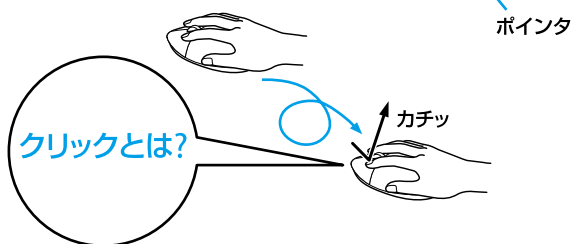
アクティブスピーカーの電源が切れます。

！ご注意

本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。

Windowsを準備する

**電源を初めて入れたら、
まずWindowsの準備をしましょう。
Windowsの準備が完了すると、
付属のソフトウェアや
いろいろな機能が使えるように
なります。**

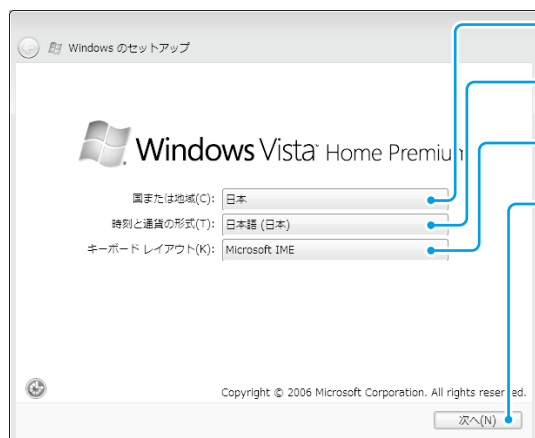
ヒント
Windowsの準備ではインターネットへの接続は必要ありません。

ヒント
取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

マウスを動かして、目的の場所の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

1 電源を入れる。

電源ボタンを押し（39ページ）、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。

！ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ～ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。

① [国または地域]で[日本]が選択されていることを確認する。
② [時刻と通貨の形式]で[日本語(日本)]が選択されていることを確認する。
③ [キーボードレイアウト]で[Microsoft IME]が選択されていることを確認する。
④ [次へ]をクリックする。

ヒント
ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

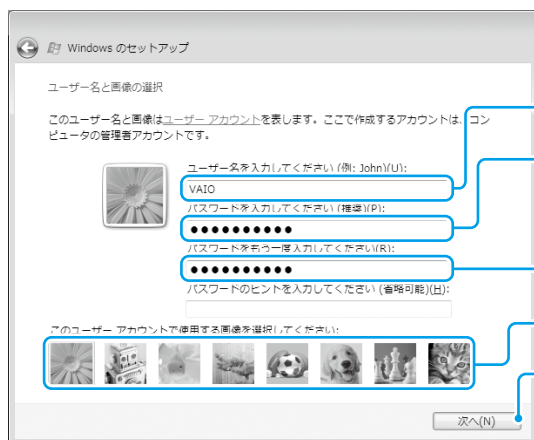
3 「ライセンス条項」の内容を確認する。

① 2 か所の[ライセンス条項に同意します]をチェックする。

ここをクリックすると文章が上下します。

② 内容を確認したら[次へ]をクリックする。

！ご注意
どちらか一方でもチェックをしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

ヒント
画面左上の ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

4 ユーザーアカウントの設定をする。

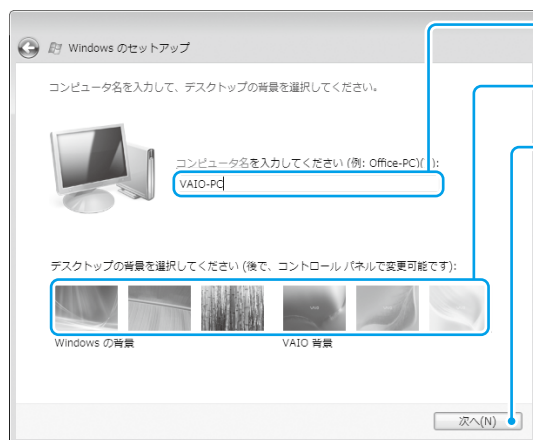
メモ

!ご注意

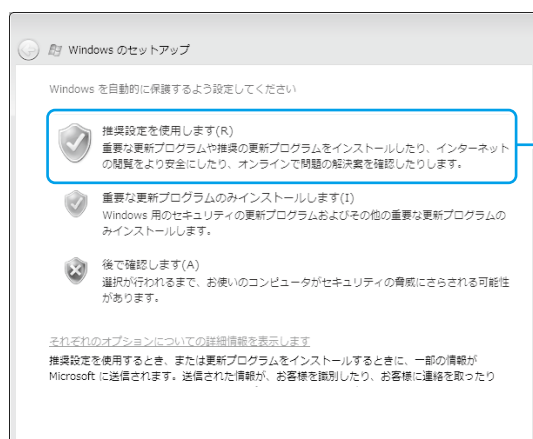
入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。

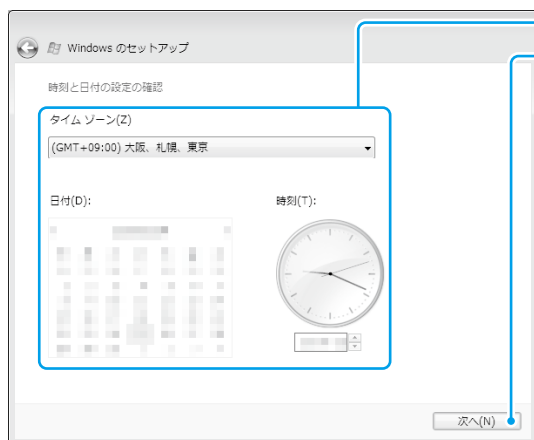
ヒント

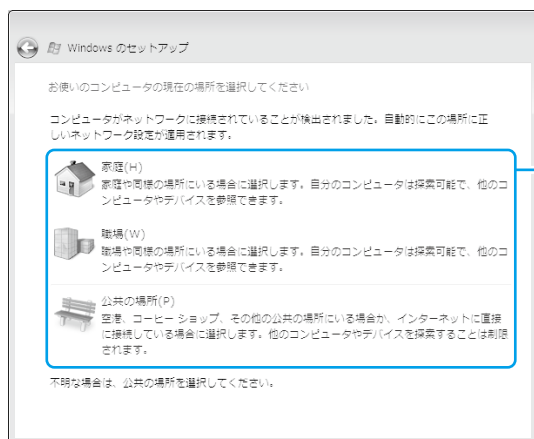
- ユーザー名やパスワードはWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。
  パスワードの変更について、詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[セキュリティ]－[Windowsパスワードを設定する]をクリックする。)
- ユーザー名には、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットなどの文字が使用できます(キーボードの半角／全角｜漢字キーで入力を切り換えられます)。
  ユーザー名の例：
  VAIO太郎

5 コンピュータの名前を確認する。

① 自動的に表示されますが、わかりやすい名前に変更することもできます。
② デスクトップの背景にしたい画像をクリックする。クリックすると背景が変更されます。
③ [次へ]をクリックする。

ヒント
コンピュータの名前やデスクトップの背景は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

6 コンピュータの保護の設定をする。

[推奨設定を使用します]をクリックする。

日付と時刻の設定を確認する。

① タイムゾーンおよび日付と時刻を確認する。
② [次へ]をクリックする。

8 コンピュータを使用する場所を選択する。

コンピュータを使用する環境に近いものをクリックする。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピュータを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

設定を完了する。

[いいえ、後で設定します]を選択して、[開始]をクリックする。

ヒント
Windowsのセットアップ完了後に設定することができます。

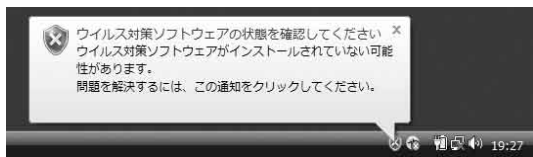
セットアップが完了すると、「ウェルカム センター」画面が表示されます。

ヒント
「ウェルカム センター」画面の内容はご使用いただいている機種によって異なることがあります。

これでWindowsが使えるようになりました。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(40ページ)をご覧ください。

!ご注意

- 本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。
- 「ウイルス対策ソフトウェアの状態を確認してください」という警告が表示されることがあります。コンピュータを危険から守るために、Windowsのセットアップが完了したらすぐに「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

基本設定を行う

バイオを快適にお使いいただくための基本設定を行います。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについて

コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続などによる被害からコンピュータを守るためには、あらかじめきちんと対策しておく必要があります。

「Norton Internet Security」ソフトウェアをインストールしてください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアをインストールする

インターネットに接続しない状態で、デスクトップ画面上の(Symantec Norton Internet Security 2008 インストーラ)アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。(「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。)

インストールが完了すると、「Norton Internet Security」設定画面が表示されます。

ここから先の設定(セットアップ)は、インターネットに接続する必要があります。
インターネットの接続については「インターネット/メール」の章(79ページ)をご覧ください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定

1 「Norton Internet Security」の設定をする。

① 「Norton Internet Security」設定画面で[次へ]をクリックする。
オプションの選択画面が表示されます。

② [90 日の更新サービスを続ける]を選択して、[次へ]をクリックする。

ヒント
インターネットに接続していない場合は、表示された[完了]をクリックして設定は終わりです。インターネットに接続後、「Norton Internet Security」ソフトウェアを起動し、画面上部に表示される[Norton アカウント]をクリックして、手順2と3を行ってください。

ヒント
「Norton Internet Security」設定画面は、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Norton Internet Security]－[Norton Internet Security]をクリックし、「Norton Internet Security」画面上部に表示される[設定]をクリックして表示できます。

本機ご購入の際に15 ヶ月または24 ヶ月版を選択された場合

① 「Norton Internet Security」設定画面で[次へ]をクリックする。
自動的にアクティブ化が行われます。

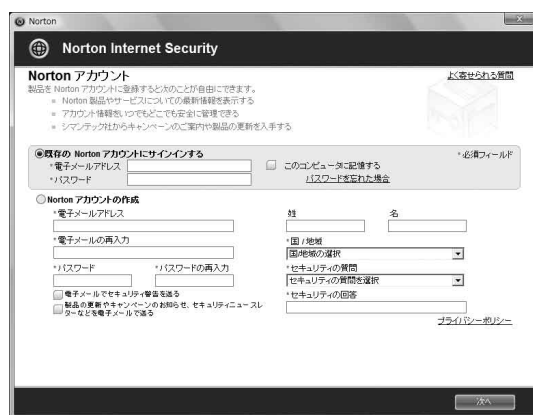
！ご注意

アクティブ化完了後、プロダクトキーが表示された場合はメモを取るなどして必ずお手元に保管してください。
リカバリ実行後にプロダクトキーが必要になります。

ヒント

インターネットに接続してしていない場合はアクティブ化画面が表示されるので、[後でアクティブにする]をクリックしてください。
表示された画面で[完了]をクリックして設定は終わりです。
ただし、15日以内にアクティブ化を行う必要があります。インターネットに接続後、「Norton Internet Security」ソフトウェアを起動し、画面上部に表示される[今すぐにアクティブにする]をクリックしてアクティブ化を行い、引き続き手順2と3を行ってください。

2 アカウントを作成する。

① [Norton アカウントの作成]を選択して必要な情報を入力後、[次へ]をクリックする。

ヒント

- 電子メールアドレスをお持ちでない場合や後で登録したい場合は、何も入力せずに[次へ]を数回クリックしてください。
表示された[スキップ]をクリックして次の画面に進みます。
- すでにアカウントをお持ちの場合は、[既存の Norton アカウントにサインインする]を選択し、電子メールアドレスとパスワードを入力してください。

② 表示された内容を確認して、[完了]をクリックする。
更新サービスの残り期限が日数表示されます。

ヒント

本機ご購入の際に、15 ヶ月または24 ヶ月版を選択された場合は、「1年とxx日」のように表示されます。

3 「LiveUpdate」で最新版に更新する。

「Norton Internet Security」ソフトウェア画面左側の[LiveUpdate を実行]をクリックする。

インターネットに接続して「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新します。

ヒント

「Norton Internet Security」ソフトウェア画面が表示されていない場合は、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Norton Internet Security]－[Norton Internet Security]をクリックします。

！ご注意

インターネットに接続していない場合は、エラーが表示されます。「LiveUpdate」を行うには、インターネットに接続する必要があります。
インターネットに接続してから「LiveUpdate」を行ってください。
「LiveUpdate」を行わないと、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されないため、新種のコンピュータウイルスなどに対応することができません。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後に表示される警告について

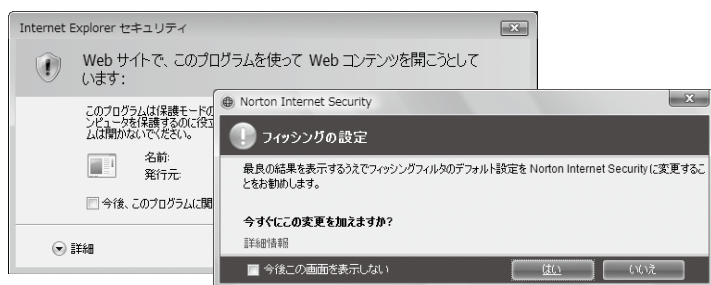
「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後、いくつか警告が表示されます。警告の意味と対処方法は以下のとおりです。

❑ 「注意」画面、「リスクあり」画面

「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新やコンピュータウイルスの詳細な検査が長期間行われていないときや、設定がセキュリティ上不適切なものになっていると表示されます。初期設定時以外で表示されたときは［今すぐに解決］をクリックして画面の指示に従ってください。

ヒント
画面左に表示されるセキュリティの状態が「要注意」または「リスクあり」になっている場合は、［今すぐに解決］をクリックして画面の指示に従ってください。

❑ 「Internet Explorer セキュリティ」画面、「フィッシングフィルタ」画面

「Norton Internet Security」設定後、インターネットエクスプローラを起動するとメッセージが表示されます。メッセージに許可をし、フィッシング詐欺サイト対策機能を有効にします。

本機ご購入の際に15ヶ月または24ヶ月版を選択された場合のご注意

アクティブ化完了後、プロダクトキーが表示された場合はメモを取るなどして必ずお手元に保管してください。
リカバリ実行後にプロダクトキーが必要になります。

- Norton アカウントの登録を行った場合は、本機にプロダクトキー情報が保存されません。
  プロダクトキーを確認するには、Norton アカウントにログインしてください。
- Norton アカウントの登録を行っていない場合は、テキストファイル（（スタート）ボタン－［ドキュメント］－［Symantec］）を開いてプロダクトキーを確認できます。

また、本機の修理を行った場合などにもプロダクトキーが必要となることがあります。

更新サービスの期限が切れてしまった場合は、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されません。
そのため、新種のウイルスや脅威から本機を保護することができなくなります。
「Norton Internet Security」ソフトウェアのプロダクトキーを別途購入されることをおすすめします。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについてのお問い合わせは以下となります。

シマンテック
SONYユーザ様用サービスページ（ユーザー登録・サポート登録・更新方法・技術的なご質問）
ホームページ：http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/

Windows Media Centerの設定を行う（アナログテレビチューナー搭載モデル）

アナログテレビを視聴するには、「Windows Media Center」ソフトウェアを使用します。使用前には、初期設定を行う必要があります。
次の手順に従って操作してください。

1 アンテナを接続し（32ページ）、インターネットに接続する（28ページ）。

！ご注意
- インターネットに接続していない場合は、放送局名や番組表を表示することができません。
- 「Windows Media Center」ソフトウェアの初期設定を行うときは、本機の外部入力端子にビデオなどの機器を接続しないでください。
  設定が完了できない場合があります。

2 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Windows Media Center］をクリックする。

「Windows Media Center」ソフトウェアが起動し、「Windows Media Center セットアップ」画面が表示されます。

ヒント
ようこそ画面が表示された場合は、［カスタムセットアップ］を選択し、［OK］をクリックしてください。
再度ようこそ画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

3 ［次へ］をクリックする。

「常時インターネットに接続」画面が表示されます。

ヒント
- 「ワイヤレス ネットワークへの接続」画面が表示された場合は、［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックしてください。
- インターネットの接続状況によっては、「常時インターネットに接続」画面が表示されない場合があります。その場合は手順6に進んでください。

4 お使いの環境にあわせてインターネット接続について選択し、[次へ]をクリックする。

- ADSL、光（FTTH）、CATV回線などでインターネットに接続している場合は、[はい]を選択します。
- ダイヤルアップ接続などでインターネットに接続している場合は、[いいえ]を選択します。

5 「Windows Media Center のプライバシーに関する声明」画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作する。

ヒント
接続方法により、表示される画面が異なります。

6 画面の指示に従って以下の設定を行う。

- **「Windows Media Center のプライバシーに関する声明」画面**
  内容を確認して、[次へ]をクリックします。
- **「Windows Media Center の品質向上にご協力ください」画面**
  [参加しません]を選択し、[次へ]をクリックします。
- **「Windows Media Center の活用」画面**
  [はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

ヒント
インターネットに接続していない場合は、[プライバシーに関する声明をオンラインで参照]をクリックしても内容を確認できません。そのまま[次へ]をクリックしてください。

ここまでの設定が完了すると、「必要なコンポーネントが設定されました」画面が表示されます。
これで「Windows Media Center」ソフトウェアの基本的な設定は完了しました。
[次へ]をクリックし、引き続きテレビ関連の設定を行います。

7 [チューナー、テレビ信号、番組ガイドの構成]を選択し、[次へ]をクリックする。

「テレビ信号」画面が表示されます。

8 画面の指示に従ってテレビ信号の設定を行う。

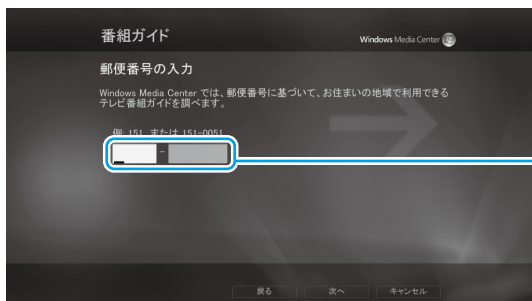
- **「地域の確認」画面**
  [はい、この地域のテレビ サービスを設定します]を選択し、[次へ]をクリックします。
- **「テレビ設定オプションのダウンロード」画面**
  テレビ設定オプションのダウンロードが開始され、終了したら[次へ]をクリックします。
  テレビ設定オプションのダウンロードには数分かかる場合があります。
- **「テレビ信号の自動設定」画面**
  [テレビ信号を自動的に設定する]を選択し、
  [次へ]をクリックします。
  テレビ信号の検出が開始され、テレビ信号の検出結果が
  表示されます。
  テレビ信号の検出には数分かかる場合があります。
- **「テレビ信号設定の結果」画面**
  [はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

ヒント
- 地域によっては、自動検出できない場合があります。その場合は、手動でテレビ信号を設定してください。
- テレビ信号の種類を選択する画面が表示された場合は、[アンテナ]や[ケーブル]など、ご使用の環境にあわせてテレビ信号の種類を選択してください。

ここまでの設定が完了すると、「番組ガイド」画面が表示されます。

画面の指示に従って番組ガイドの設定を行う。

- **「番組ガイドのプライバシーについて」画面**
  内容を確認してから［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。
- **「番組ガイドのサービス条件」画面**
  内容を確認してから［同意する］を選択し、［次へ］をクリックします。
- **「ダウンロード方法」画面**
  ［接続時に、自動的にダウンロードする］を選択し、［次へ］をクリックします。
- **「郵便番号の入力」画面**
  お住まいの地域の郵便番号を入力して、［次へ］をクリックします。
  地域または受信契約会社の情報がダウンロードされます。
  地域または受信契約会社の情報のダウンロードには数分かかる場合があります。

！ご注意
番組ガイドを使用しない場合は、お住まいの地域の放送局名や番組名を表示できません。

ここに郵便番号を入力する。

- **「地域または受信契約会社の選択」画面**
  お住まいの地域を一覧から選択して、［次へ］をクリックします。
  テレビ番組ガイドのダウンロードが開始され、終了したら［次へ］をクリックします。
  テレビ番組ガイドのダウンロードには数分かかる場合があります。

ここまでの設定が完了すると「番組ガイド」の設定が完了し、
「オプション設定」画面が表示されます。

10 ［完了］を選択し、［次へ］をクリックする。

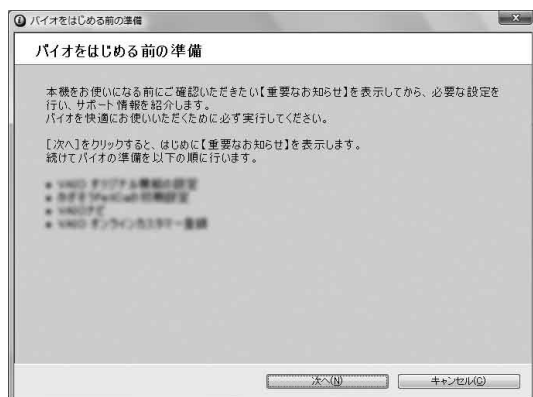
セットアップ完了画面が表示されます。

これでセットアップが完了です。

バイオをはじめる前の準備を行う

「バイオをはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 デスクトップ画面上の[バイオをはじめる前の準備]をダブルクリックする。

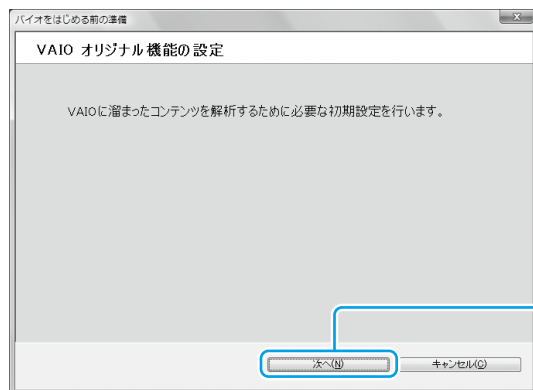
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオをはじめる前の準備」画面が表示されます。

ヒント
「バイオをはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

「VAIO オリジナル機能の設定」が表示される場合は、次の「VAIO オリジナル機能の設定を行う」の項目をご覧ください。
最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

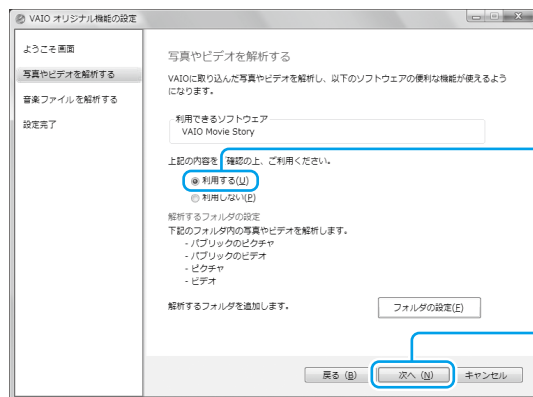
VAIO オリジナル機能の設定を行う

バイオで録画したテレビ番組、取り込んだ音楽、写真やビデオを解析するためにVAIO オリジナル機能の設定を行ってください。
VAIO オリジナル機能の設定は「バイオをはじめる前の準備」から設定します。
「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示されたら、以下の手順に従って設定を行ってください。

1 [次へ]をクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定へようこそ」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
設定画面が表示されます。

3 表示される各画面で内容を確認し、[利用する]を選択して[次へ]をクリックする。

ヒント
設定する項目は、お使いのモデルによって異なります。

4 [終了]をクリックする。

VAIO オリジナル機能の設定が完了します。

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「バイオ」をご所有のお客様に「VAIOカスタマー登録」をお願いしています。
ご登録いただくと、より充実したサービスサポートを受けることができます。
「My Sony ID」が発行(「My Sony ID」を既にお持ちの場合は製品の登録情報を追加)され、「My Sony ID」を使用したご登録者限定メニューがご利用いただけます。

ヒント

- VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」(150ページ)までご連絡ください。
- My Sony IDはソニー共通体系のお客様IDです。ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードで利用できます。
  また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク(ひも付け)」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
  My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)をご覧ください。

！ご注意

- VAIOカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)で行うことができます。

VAIOカスタマー登録の特典

① セキュリティーや品質などに関する重要な情報を提供

② VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートメニューを提供

③ 特典情報やキャンペーンなど、バイオに関するさまざまな情報を提供

❑ ご利用いただけるサポート

- **フリーダイヤルによる電話でのお問い合わせ**
  使いかたに関するお問い合わせ窓口(VAIOカスタマーリンク)がフリーダイヤルでご利用いただけます。
- **VAIOコールバック予約サービス**
  本サービスで事前予約していただくと、24時間お電話でのお問い合わせが可能です。
- **VAIOリモートサービス**
  オペレーターが、インターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながらご案内します。
- **テクニカルWebサポート**
  バイオに関する使いかたなどの質問をホームページで受付し、電子メールで返信します。
- **VAIO Hot Street(情報交換サイト)**
  お客様同士でバイオに関するさまざまな情報を投稿、質問、回答できます。

❑ ご利用いただける有料サービス

- VAIO延長保証サービス
- VAIO Overseas Service(海外現地修理サービス)
- VAIOソフトウェアセレクション(ソフトウェア・ダウンロード販売サイト)

※2007年10月現在
ご利用いただけるサポートや有料サービスについて詳しくは、146ページ以降をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

!ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)で行うことができます。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIOオンラインカスタマー登録]をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

!ご注意

機種によって「VAIOオンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。この場合は「MyVAIO」(http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO)の「MyVAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックして手順3に進んでください。

2 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

!ご注意

- 表示された番号は、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせの際に、「My Sony ID」が必要になる場合があります。

ヒント

「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

最新情報を自動的に入手する

「VAIO Update」とは

「VAIO Update」とは、ソニーが提供するお客様への「重要なお知らせ」やご使用のバイオを最新の状態にする「アップデートプログラム」などの情報を自動的にお知らせするソフトウェアです。
情報が更新されると、タスクバーの通知領域からバルーンでお知らせします。

ヒント

- VAIO Updateは、無料でご利用いただけます。(インターネットの通信費はお客様負担となります。)
- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

VAIO Updateでの個人情報の取り扱いについて

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。

- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号やOSおよびインストールソフトウェアなどの情報、ならびにお客様の個人情報をサーバーに送信しませんので安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためで、ここから個人情報への結びつけは行いません。

「VAIO Update」を設定する

VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO Update 3]ー[VAIO Updateの設定]をクリックする。

「VAIO Updateの設定」画面が表示されます。

ヒント

「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された際にバルーンをクリックしても表示されます。

2 「VAIO Updateへようこそ」の内容をスクロールして最後まで読む。

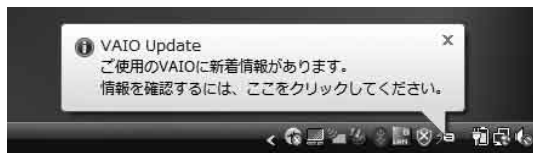
ヒント

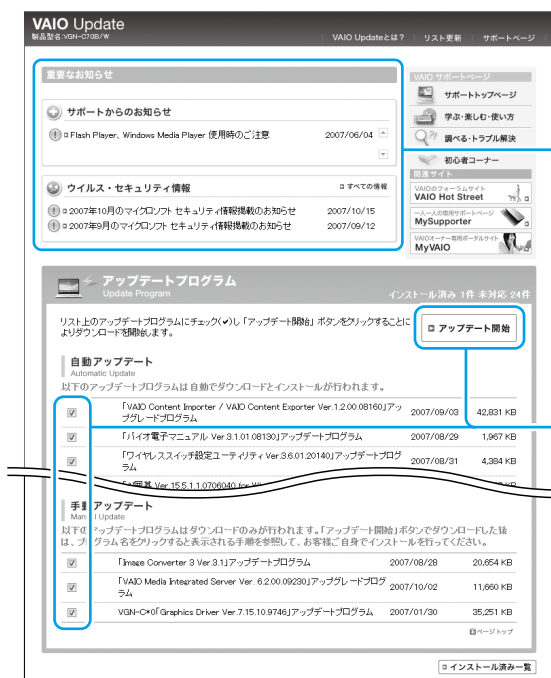
スクロールして最後まで読むと左記の画面に変わります。

3 「定期的にサーバーと通信を行い、新着情報を確認する」および「タスクバーにアイコンを表示する」のチェックボックスにチェックがあることを確認し、[OK]をクリックする。

「VAIO Update」を利用する

1 VAIO Updateのバルーン画面をクリックする。

情報が更新されると、タスクバーの通知領域からバルーンでお知らせします。

ヒント
実際の画面とは異なる場合があります。

2 「重要なお知らせ」の確認とアップデートを行う。

重要なお知らせを確認する
セキュリティ関連情報など、ソニーがお客様に提供する「重要なお知らせ」を確認できます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

アップデートを行う
[アップデート開始]ボタンをクリックする
チェックボックスにチェックがついているプログラムのアップデートが開始されます。

アップデートプログラムには、自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。
自動アップデート：ダウンロードとインストールを自動で行います。
手動アップデート：ダウンロードまで自動で行います。ダウンロード後はプログラムの件名をクリックし表示される内容に従ってインストールしてください。

ヒント
- アップデートを行うには、管理者権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。
- あとでアップデートしたいプログラムはチェックボックスのチェックをはずしてください。
- セキュリティ対策など重要度の高いアップデートプログラムの場合、プログラム名の横に(!)のアイコンが表示されます。これらのプログラムについては、アップデートすることを強くおすすめします。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

❑ リカバリディスクの作成方法を知りたい。

- 「リカバリディスクを作成する」(105ページ)をご覧ください。

❑ 電子メールをやりとりしたい。

- 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。(61ページ)
  ([インターネット]－[ホームページ/電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。)

❑ Windowsの基本操作を知りたい。

- 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。(61ページ)
  ([できるWindows for VAIO]をクリックする。)
- VAIOカスタマーリンクのホームページ(146ページ)をご覧ください。

Windows Updateについて

より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。

画面で見るマニュアルの使いかた

本書の次ページ以降で、本機の使いかたや困ったときの解決方法を紹介しています。
また、「バイオ電子マニュアル」や「VAIOナビ」では、さらに詳しい情報を紹介しています。本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

バイオ電子マニュアルの使いかた

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

画面操作や印刷、文字の大きさの変更、用語集の表示を操作できます。
インターネット接続時は、サポートホームページの最新用語集を表示できます。

目次、索引、キーワード検索の画面を表示できます。

「バイオ電子マニュアル」の目次です。

単語や質問文を入力して情報を検索できます。
詳しくは、本書の「困ったときは／サービス・サポート」の「バイオ内の情報を調べる」をご覧ください。

VAIOナビの使いかた

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIOナビ]をクリックする。

「VAIOナビ」が表示されます。

テレビ・ビデオ
（アナログテレビチューナー搭載モデル）

テレビ番組を見る

テレビ番組の視聴は「Windows Media Center」ソフトウェアで行います。
起動も選局もリモコンで操作できます。

1 リモコンの ボタンを押す。

「Windows Media Center」ソフトウェアが起動し、メニューが表示されます。

2 リモコンの上下ボタンで［テレビ・映画］を選択し、左右ボタンで［テレビを見る］を選択して、決定ボタンを押す。

3 リモコンのチャンネルボタンで見たいチャンネルを選択する。

ヒント
- チャンネルの変更は、リモコンのチャンネル数字ボタンでも行えます。
- 音量は、音量ボタンで調節できます。

録画予約をする

「VAIO Video Explorer」ソフトウェアからインターネット上のテレビ番組情報サイトの番組表を使って録画予約を行います。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Video Explorer]をクリックする。

「VAIO Video Explorer」が起動します。

2 画面上部のツールバーから (録画予約)をクリックする。

「テレビ王国」の番組表が表示されます。

ヒント
「テレビ王国」の会員登録を行っている場合は、My番組表が表示されます。

3 番組表から録画したい番組上の[iEPG]をクリックする。

「基本設定」タブに番組情報が反映された状態の予約登録画面が表示されます。

4 [基本設定]タブの内容を確認し、[OK]をクリックする。

!ご注意
- インターネット番組表を利用するには、インターネットに接続しておく必要があります。
- MyEPGの「iEPG チューナー選択」で「ワンセグ」に設定している場合は、予約することができません。

録画した テレビ番組を見る

「VAIO Video Explorer」ソフトウェアで管理している番組を再生します。

1

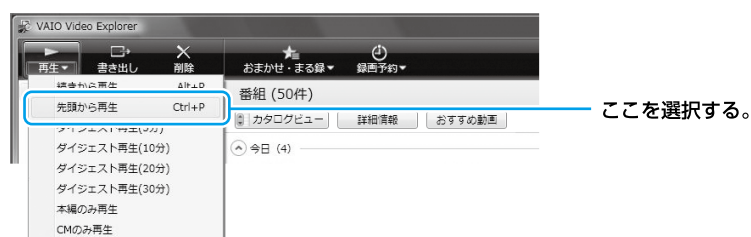
（スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO Video Explorer]をクリックする。

「VAIO Video Explorer」が起動します。

2

再生したい番組を選択する。

3

画面上部のツールバーの （再生）下にある▼をクリックして表示されたメニューから[先頭から再生]をクリックする。

「VAIO Emotional Player」ソフトウェアが起動し、番組の再生が開始されます。

ダイジェストで テレビ番組を見る

録画したテレビ番組をダイジェストで再生することができます。

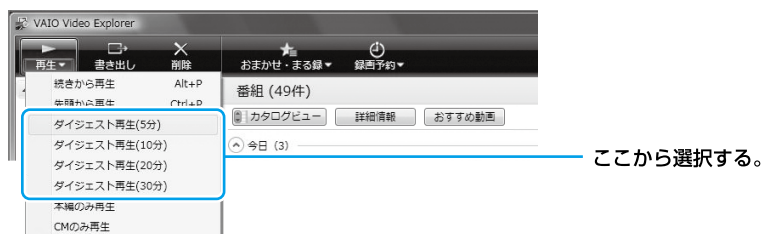
1

（スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO Video Explorer]をクリックする。

「VAIO Video Explorer」が起動します。

2

再生したい番組を選択する。

3 画面上部のツールバーの ▶ (再生)下にある▼をクリックして表示されたメニューから[ダイジェスト(**分)再生]をクリックする。

「VAIO Emotional Player」ソフトウェアが起動し、番組を**分のダイジェストで再生します。

ヒント
(**分)の部分は、録画した番組の長さによって異なります。

ダイジェスト再生に切り替えるには

先頭から再生中などでも、ダイジェスト再生に切り替えることができます。
「VAIO Emotional Player」ソフトウェアのフィルムロールエリアにあるドロップダウンリストから[ダイジェスト再生(**分)]を選択してください。

!ご注意
再生する番組によっては、[ダイジェスト再生(**分)]が選択できない場合があります。

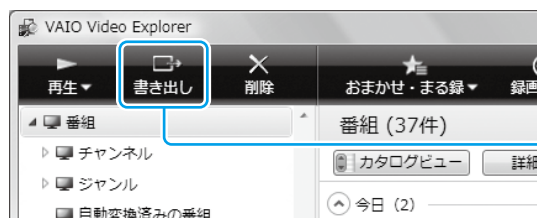
録画した番組を“メモリースティック”に書き出す

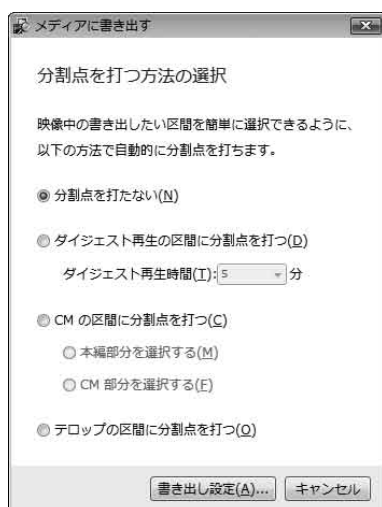
録画した番組を“メモリースティック”に書き出すことができます。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Video Explorer]をクリックする。

「VAIO Video Explorer」が起動します。

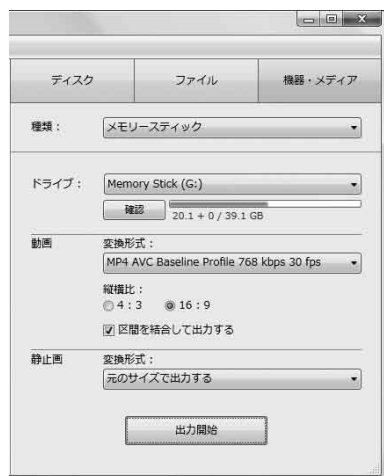
2 “メモリースティック”に保存したい番組を選択する。

3 画面上部のツールバーから (書き出し)をクリックする。

「メディアに書き出す」画面が表示されます。

4 書き出し時の分割点について設定する。

ヒント
分割点の設定方法について詳しくは、「VAIO Video Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

5 [書き出し設定]をクリックする。

「VAIO Content Exporter」ソフトウェアが起動します。

画面右側の[機器・メディア]をクリックする。

7 書き出し時の種類やドライブなどを設定し、書き出す機器を接続したり、メディアを挿入したりする。

8 [出力開始]をクリックする。

ミュージック

音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDをバイオに録音できます。
自分だけの音楽ライブラリができあがります。

！ご注意
操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[SonicStage]－[SonicStage]をクリックする。

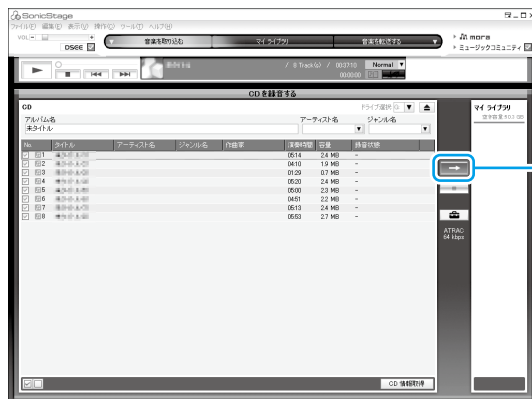
「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 取り込みたい音楽CDをドライブに入れる。

ヒント
「SonicStage」ソフトウェアではじめて音楽CDを利用するときは、ドライブのチェックや、音楽CDを入れたときに自動的に録音するかどうかを設定します。表示される画面の指示に従って操作してください。

3 [音楽を取り込む]にポインタをあわせ、メニューから[CDを録音する]をクリックする。

4 をクリックする。

音楽の取り込みがはじまり、「マイ ライブラリ」に保存されます。

ここをクリックする。

ヒント

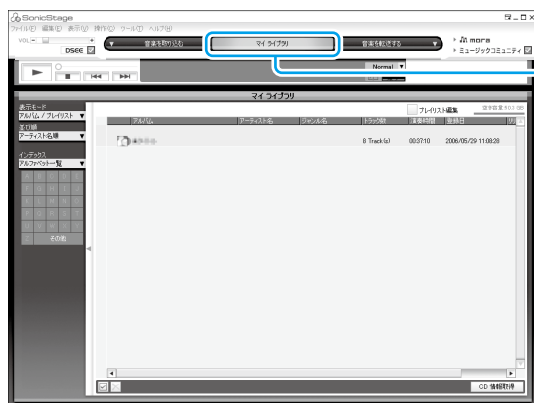
- 画面右下の[CD 情報取得]をクリックすると、インターネット上のCD情報サービスを利用して、音楽CDのアルバム名や曲名などの情報を自動的に取り込むことができます。
  また、アルバム名、アーティスト名およびタイトルは、画面上で直接入力することもできます。ただし、録音中はこれらの操作はできません。
  詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 取り込みたくない曲がある場合は、をクリックする前に、CDトラック番号の をクリックして にします。

音楽を聞く

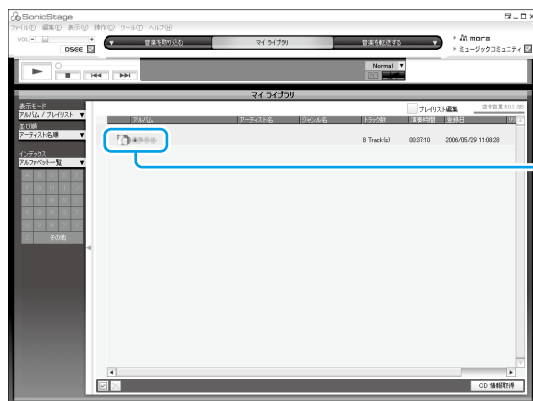
取り込んだ音楽コンテンツをジュークボックス感覚で楽しむことができます。
音楽CDを交換する手間はありません。

！ご注意
操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

1 （スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［SonicStage］ー［SonicStage］をクリックする。

「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 ［マイ ライブラリ］をクリックする。

「マイ ライブラリ」画面が表示されます。

3 再生したい曲を含むアルバムをダブルクリックする。

アルバムに収められている曲の一覧が表示されます。

ヒント

- 「マイ ライブラリ」を「すべての曲一覧」モードで表示している場合は、この操作は不要です。
- アルバムを選択して画面右下の[CD 情報取得]をクリックすると、インターネット上のCD情報サービスを利用して、音楽CDのアルバム名や曲名などの情報を自動的に取り込むことができます。ただし、複数のアルバムを指定して情報を検索することはできません。
  詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 聞きたい曲をクリックして選択し、 をクリックする。

音楽が再生されます。

ヒント

曲をダブルクリックして再生することもできます。

音楽CDを作る

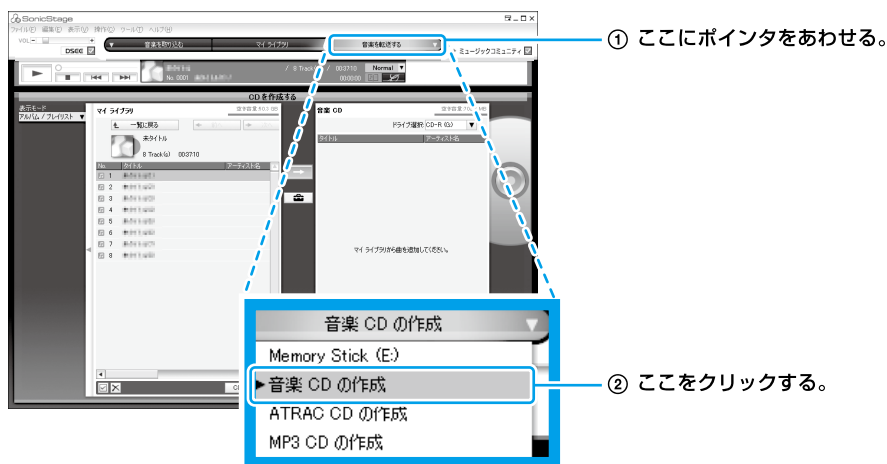
曲やアルバムを選んでお好みの音楽CDを作れます。

！ご注意
- 音楽CDを作成する場合は、あらかじめ「使用できるディスクとご注意」（187ページ）をご覧ください。
- 操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[SonicStage]ー[SonicStage]をクリックする。

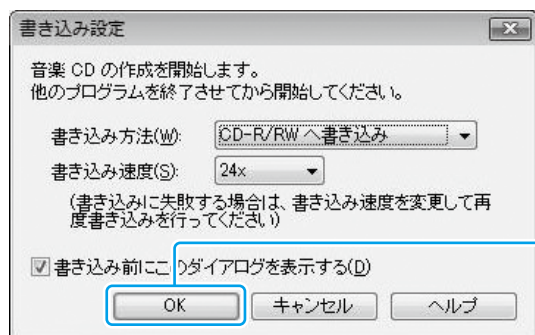
「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 ブランクメディア（データの書き込まれていないCD-R、CD-RW）をドライブに入れる。

3 [音楽を転送する]にポインタをあわせ、[音楽CDの作成]をクリックする。

4 CDにしたい曲やアルバムを選択し、 をクリックする。

ヒント
- 曲の一覧は、アルバムをダブルクリックすると表示されます。
- マイ ライブラリの曲をCD-R／CD-RWに書き込む場合は、書き込みたい曲をあらかじめ「プレイリスト」などにまとめておくと便利です。

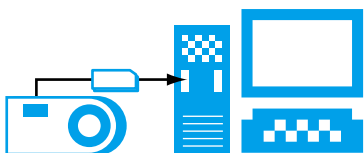
5 CDにしたい曲やアルバムをすべて選択したら、 をクリックする。

「書き込み設定」画面が表示されます。

6 [OK]をクリックする。

書き込みが始まります。

写真を取り込む

デジタルスチルカメラの写真を取り込んで
バイオで管理できます。

1 USBコネクタにデジタルスチルカメラを接続するか、“メモリースティック”などのメモリーカードをスロットに入れる。

Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されます。

ヒント

- デジタルスチルカメラやメモリカードなどのメディアをコンピュータに接続する方法については、お使いの機器やメディアの取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータの設定によっては、Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されないことがあります。この場合は（スタート）ボタンー[すべてのプログラム]－[Windows フォト ギャラリー]をクリックして「Windows フォト ギャラリー」ソフトウェアを起動し、[ファイル]メニューー[ギャラリーへのフォルダの追加]をクリックします。
「ギャラリーへのフォルダの追加」画面で取り込みたいメディアやカメラを選択して[OK]をクリックすると、画像とビデオの読み込みが開始されます。

2 [画像の取り込み - Windows使用]をクリックする。

3 「画像とビデオを読み込んでいます」画面が表示されたら、「これらの画像をマーク」を設定する。

マーク欄にマークを直接入力するか、ドロップダウンリストからマークを選択します。

ヒント
- マークは設定しなくても構いません。
- マークを設定すると、画像にタグを付加して、タグを元に検索や整理ができます。タグについては、[オプション]をクリックして表示された画面で設定できます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

4 [読み込み]をクリックする。

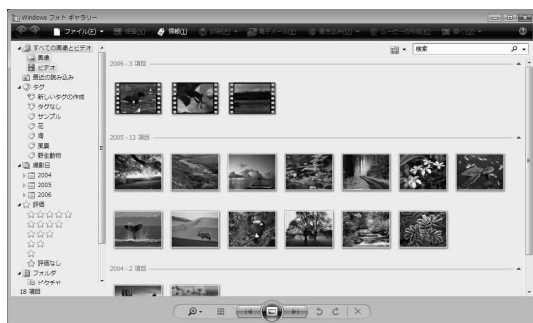
画像の読み込みが開始されます。

これで画像の取り込みは完了です。

写真を見る

取り込んだ写真をWindows フォトギャラリーで表示します。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows フォト ギャラリー]をクリックする。

「Windows フォト ギャラリー」画面が表示されます。

画面左側の一覧から見たい項目をクリックすると、その項目に該当する写真が表示されます。

- [すべての画像とビデオ]をクリックすると、「Windows フォト ギャラリー」ソフトウェアに取り込まれているすべての写真が表示されます。
- 「タグ」「撮影日」「評価」をクリックして、条件による写真の検索を行うことができます。

DVDを見る

WinDVDでDVDを再生します。

！ご注意

本機でDVDを再生するときは、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[InterVideo WinDVD]ー[InterVideo WinDVD for VAIO]または[InterVideo WinDVD BD for VAIO]をクリックする。

「WinDVD」ソフトウェアが起動します。

2 再生したいDVDをドライブに入れる。

3 再生する。

「WinDVD」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「WinDVD」のヘルプをご覧ください。

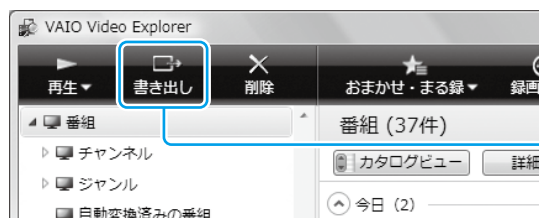
録画したテレビ番組をDVDにする
（アナログテレビチューナー搭載モデル）

バイオに録りためたテレビ番組をDVDとして残すことができます。

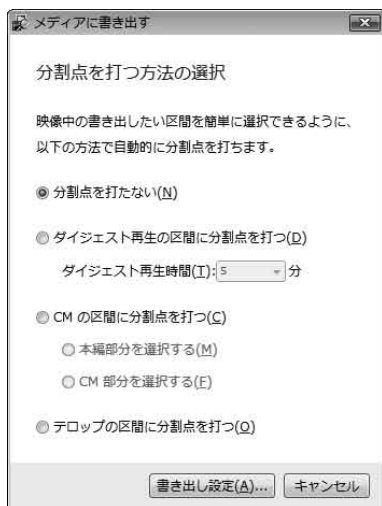
1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Video Explorer]をクリックする。

「VAIO Video Explorer」が起動します。

2 DVDに保存したい番組を選択する。

3 画面上部のツールバーから （書き出し）をクリックする。

「メディアに書き出す」画面が表示されます。

4 書き出し時の分割点について設定する。

ヒント
分割点の設定方法について詳しくは、「VAIO Video Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

[書き出し設定]をクリックする。

「VAIO Content Exporter」ソフトウェアが起動します。

画面右側の[ディスク]をクリックする。

7

書き出し時の種類やドライブなどを設定し、データの書き込まれていない記録用DVDを本機のドライブに入れる。

[出力開始]をクリックする。

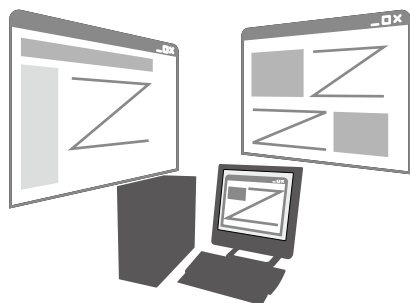
ヒント
DVD作成にかかる時間は、記録する映像の長さとコンピュータの処理速度によって異なります。

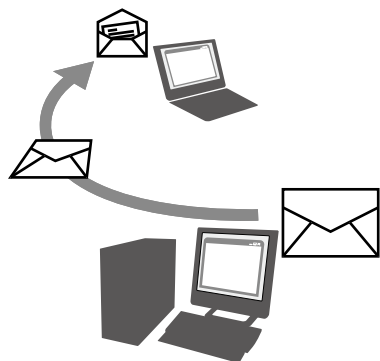
インターネットを始める

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながって構成されている地球規模のネットワークのことです。
インターネットを利用するには、インターネット接続サービスを提供する会社（プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ（ISP）などと呼びます）と契約し、接続のための設定を行います。
この章では、インターネットを利用したことがない方や、プロバイダと契約していない方を対象に、インターネットの基本的な利用方法を解説します。

インターネットでできること

ホームページを見る

ホームページは、文章や画像、映像、音声などで構成された情報媒体です。ニュースや読み物を読んだり、天気予報やテレビ番組表のような情報を調べたり、買い物を楽しんだりすることができます。

電子メールをやりとりする

インターネットの利用者同士で手紙をやりとりすることができます。画面上で手軽に送ったり受けたりすることができます。
電子メールについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［インターネット］－［ホームページ／電子メール］－［電子メールをやりとりする］をクリックする。）

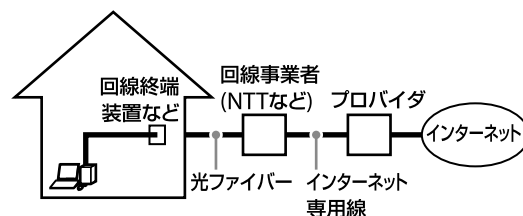
こんなこともできます

- 無料の電話サービス
  インスタントメッセンジャー（IM）というソフトウェアを利用すれば、利用者同士で無料の音声通話やビデオ通話、チャット（文字による会話）などを楽しむことができます。
- インターネットオークション
  不要になったものなどを個人間で売買することができます。
- 音楽や動画の視聴
  音楽や動画を購入してコンピュータ上で再生し、楽しむことができます。
- 銀行取引・株取引
  銀行や証券会社のホームページで取引することができます。
- ホームページの公開
  ほとんどのプロバイダでは、利用者がホームページを公開するためのサービスを提供しています。ホームページを作ってほかのインターネット利用者と知識を共有したり、自分が作ったものを公開して他の人に見てもらえるようにすることができます。

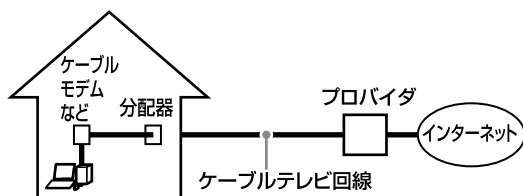
インターネット接続サービスの種類

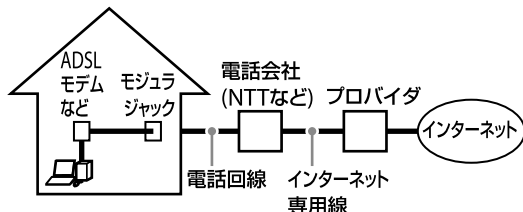
インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

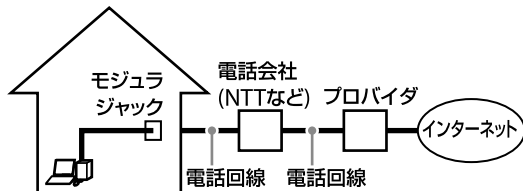
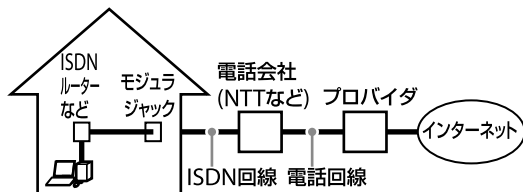
❑ 光（FTTH）

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

本機をセットアップする
テレビ／ミュージック／フォト／DVD
インターネット／メール
増設／バックアップ／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／注意事項

❑ CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいは光(FTTH)と同程度で接続ができます。
すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

❑ ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
光(FTTH)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

❑ その他の接続サービス

- 一般電話回線
  一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵のコンピュータならほかに機器を必要としないので、手軽にインターネットを始められます。通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。

- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

❑ 各接続サービスの特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
光(FTTH)	△	◎	◎
CATV インターネット	△	○/◎	◎
ADSL	○	○	◎
一般電話回線	◎	△	△
ISDN	○	△	△

◎:最適　○:適している　△:あまり適さない

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分に合ったプロバイダと契約してください。
プロバイダについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介/問い合わせ先]－[付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先]をクリックして表示される「ISPサインアップ」の項目をご覧ください。

!ご注意
- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダのマニュアルに従って機器の接続や設定を行う

契約が完了すると、プロバイダからインターネットの接続に使用するマニュアルや資料、機器などが郵送されてきます。
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

インターネットのセキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される(これを感染と呼びます。)と、以下のような被害にあってしまいます。

被害の例

- ファイルが勝手に消去されたり、内容が改変されたりする。
- ウイルスの作成者などに、コンピュータ上に保存された個人情報(電子メールのデータやアドレス帳のデータ、WordやExcelなどで作成したデータなど)がインターネットを通じて勝手に送信される。
- ウイルスの作成者などに、違法な広告メールの発信元として利用される。
- コンピュータ上に保存された電子メールアドレスあてに、勝手にウイルス付きの電子メールが送られる。

コンピュータウイルスに感染する経路

- **コンピュータウイルスに感染した文書(WordやExcelなど)を開く**
  WordやExcelでは、処理を自動化するためのマクロと呼ばれる機能があります。この機能を悪用して、コンピュータウイルスとして作られたものが添付されている可能性があります。このような文書を開くと、コンピュータ内の他の文書にもコンピュータウイルスを添付されてしまいます。
- **コンピュータウイルスが添付された電子メールの実行ファイルを開く**
  知っている人からの電子メールだと思って画像ファイルを開いたつもりが、実は画像ファイルに偽装したコンピュータウイルスだったということがあります。コンピュータウイルスに感染すると、勝手にコンピュータウイルス付きの電子メールを送るようになってしまう場合があるため、ファイルを開くときは細心の注意が必要です。
- **ホームページで入手した実行ファイルを開く**
  インターネットでは、無料のソフトウェアが公開されていることがあります。そのソフトウェアの作成者のコンピュータがコンピュータウイルスに感染していたなどの理由で、公開されているソフトウェアそのものがウイルスになってしまっている場合があります。
- **インターネットにつないでいると勝手に感染する**
  非常にまれですが、Windowsに大きな欠陥が発見されるとその欠陥を悪用したコンピュータウイルスが作成され、何もしていなくてもコンピュータがコンピュータウイルスに感染するという状況になる場合があります。しかし、後述するファイアウォール機能が動作していれば防ぐことが可能です。また、このような重大な欠陥はすぐに後述するWindows Updateで対策用のソフトウェアが配布されるため、きちんと対策しておけば問題ありません。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。
コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、過去に発見されたコンピュータウイルスの情報をウイルス定義ファイルという形で保持しており、この情報を元に、コンピュータにコンピュータウイルスが存在していないか、開こうとしているファイルは安全かどうかを検査しています。コンピュータウイルスは毎日新しいものが発見されているため、ウイルス定義ファイルは定期的に更新する必要があります。本機に搭載されている「Norton Internet Security」ソフトウェアでは、90日間無料でウイルス定義ファイルを更新することができます。
「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、48ページをご覧ください。

!ご注意

- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- 本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行して、ウイルス定義ファイルを最新の状態にしてください。

❑ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。

「Windowsを準備する」(42ページ)の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

また、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

!ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。

Windows Update関連情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

詐欺について

インターネット特有の詐欺には以下のようなものがあります。

- **架空請求詐欺**

  ホームページを開くと、突然「ご登録いただきましてありがとうございました」などと表示するとともに利用料を請求されることがあります。これは架空請求詐欺ですので、利用料を支払う必要はありません。

  画面上にはお使いのプロバイダ名などが表示され、一見すると個人情報が登録されてしまっているように見えますが、表示されている以上のことは相手にわかりません。不安な場合は、表示されているアドレスや連絡先をメモしたうえで、国民生活センターなどにお問い合わせください。

- **フィッシング詐欺**

  銀行などを装って電子メールを送りつけてきて、カード番号や接続ID、パスワードなどを偽のホームページで入力させる詐欺です。

  電子メール上のアドレスをクリックすると、本物と同じデザインのホームページが表示されますが、偽のホームページなのでカード番号などは一切入力しないでください。このような情報を入力するときは、電子メール上のアドレスをクリックしてホームページを開くのではなく、銀行など対象のホームページを自分で開き、そこで入力してください。

個人情報の管理について

インターネットを利用していると、ユーザー登録などを行うために名前や住所、あるいはクレジットカードの番号や銀行の口座番号などといった個人情報の入力を求められることがあります。このような情報を入力するときは、サービス提供者の個人情報管理方針や信用度などを確認してください。少しでも不審な点があれば入力をやめるなどの対応を取り、個人情報の公開には細心の注意を払ってください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。

ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

VAIOカスタマーリンクモバイル(お知らせ)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口

電話番号: (0466) 30-3016

受付時間:

平日 10:00 ～ 21:00

土・日・祝日 10:00 ～ 17:00

増設する

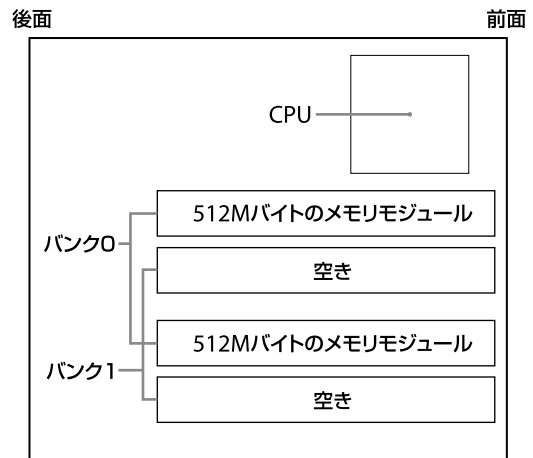
メモリを取り付ける／はずす

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。また、2か所以上のスロットにメモリモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、さらにパフォーマンスが向上します。

メモリを増設するときのご注意

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの接続不備や破損、メモリの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリ増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

本機のメモリスロットは2か所のバンクに分かれていますので、メモリを増設するときは、以下の点にご注意ください。

- メモリを取り付ける場合には必ずバンク0から取り付けてください。
- 同一バンク内の各スロットには同じ容量のメモリモジュールを取り付けてください。
- 取り付けるメモリモジュールは、すべて同じスピードのメモリモジュールを取り付けてください。
- メモリモジュールは2枚1組で取り付けてください。1枚だけメモリモジュールを取り付けた場合の動作保証はいたしません。

4Gバイトに増設する場合のご注意

4Gバイトに拡張する際は下記の制限事項をご理解の上、増設してください。
OSの制限上他のリソースが使用するため、4Gバイトに増設しても実際に使用できるメモリは約3.3Gバイトとなります。さらにシステムの構成によっては、3Gバイトと4Gバイト増設では、実際に使用できるメモリの差は、ほとんど無い場合があり、4Gバイトに増設してもパフォーマンスの向上は期待できない場合があります。

ヒント

メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。

増設後の容量は以下の表のとおりです。

❑ 推奨増設一覧表

出荷時1024Mバイトの場合

総容量	標準 バンク0	増設 バンク1
1024Mバイト（標準）	512Mバイト×2 DDR2 800	-
2048Mバイト	512Mバイト×2 DDR2 800	512Mバイト×2 DDR2 800
3072Mバイト	512Mバイト×2 DDR2 800	1024Mバイト×2 DDR2 800

出荷時2048Mバイトの場合

総容量	標準 バンク0	増設 バンク1
2048Mバイト（標準）	1024Mバイト×2 DDR2 800	-
3072Mバイト	1024Mバイト×2 DDR2 800	512Mバイト×2 DDR2 800

出荷時3072Mバイトの場合

総容量	標準 バンク0	増設 バンク1
3072Mバイト（標準）	1024Mバイト×2 DDR2 800	512Mバイト×2 DDR2 800
4096Mバイト	1024Mバイト×2 DDR2 800	1024Mバイト×2 DDR2 800

取り付けの際には、メモリモジュールの取扱説明書もあわせてご覧ください。

メモリを取り付けるには

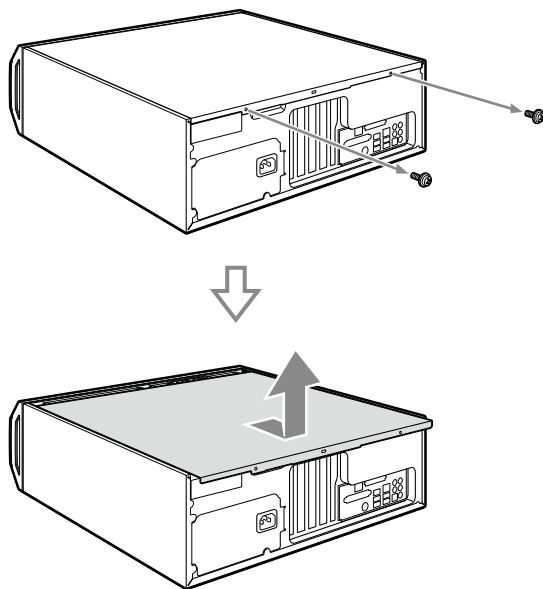
1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

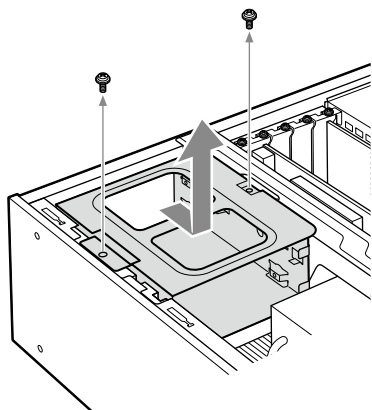
!ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

2 メインユニットを横にして置く。

3 カバーを取りはずす。

後面のネジをはずし、カバーをスライドさせせます。

4 拡張ケースを取りはずす。

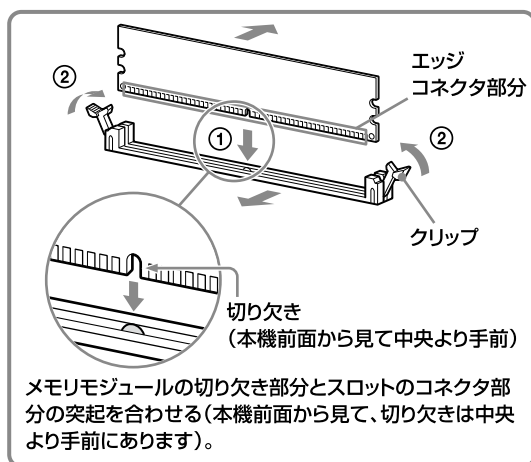
ネジをはずして拡張ケースを取りはずします。

5 メモリモジュールを梱包から取り出す。

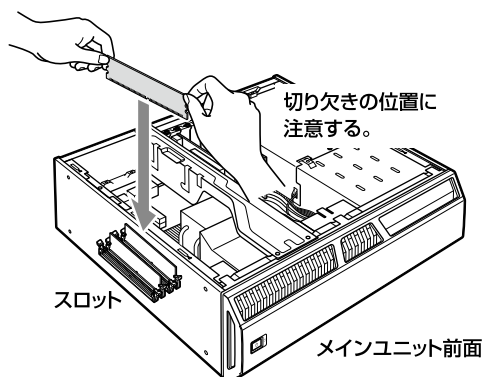
本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出します。

6 メモリモジュールを取り付ける。

① 次のイラストのとおりに、切り欠き方向に注意してメモリモジュールをスロットに合わせる。

② クリップが起き上がり、固定されるまでメモリモジュールを垂直にスロットへ押し込む。

メモリモジュールの切り欠き部分とスロットのコネクタ部分の突起を合わせる（本機前面から見て、切り欠きは中央より手前にあります）。

取り付けるときは、以下の点にご注意ください。正しい方法で取り付けないと故障の原因となります。

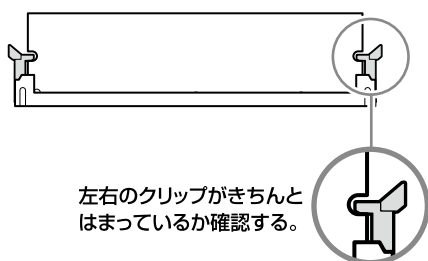
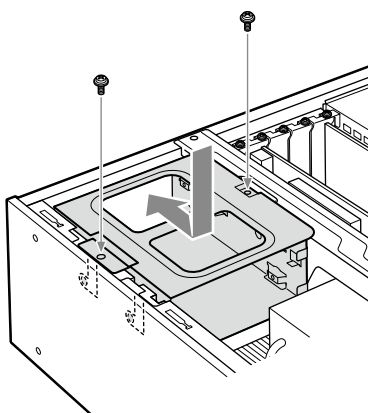
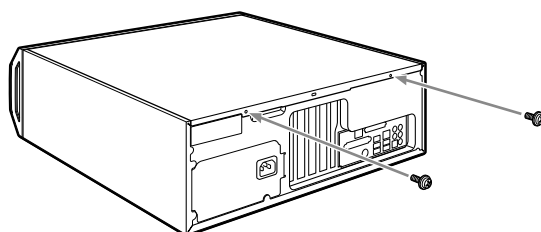
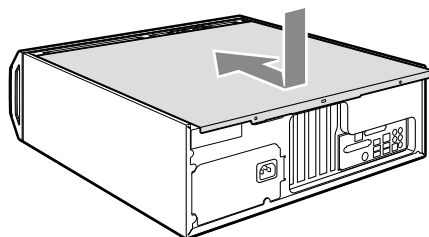
- 切り欠きの位置を確認して正しい方向に差し込む。
- 垂直に差し込む。
- 両方のクリップが起き上がるまで押し込む。

!ご注意

- メモリモジュールは2枚1組で取り付けてください。1枚だけメモリモジュールを取り付けた場合の動作保証はいたしません。また、同じバンクに取り付ける2枚のメモリモジュールは同じ容量のものをお使いください。
- メモリ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際、ハーネスのコネクタが浮くことがあります。ハーネスのコネクタを押して、浮きがないことを確認してください。
- メモリ増設の際には、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。

7 メモリモジュールがきちんと取り付けられているか確認する。

メモリモジュールを取り付けたら、以下の点を確認してください。

① 左右のクリップが、となりのクリップと揃っているかどうか。

② 左右のクリップが、きちんとメモリモジュールの溝にはまっているかどうか。

8 拡張ケースを取り付ける。

9 カバーを取り付ける。

カバーを取り付け、後面のネジをとめます。

10 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

メモリ容量を確認するには

メモリモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリ容量を確認してください。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオの設定]をクリックする。

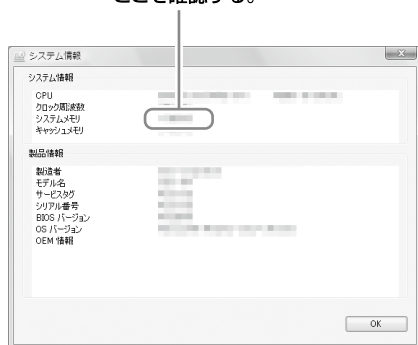
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

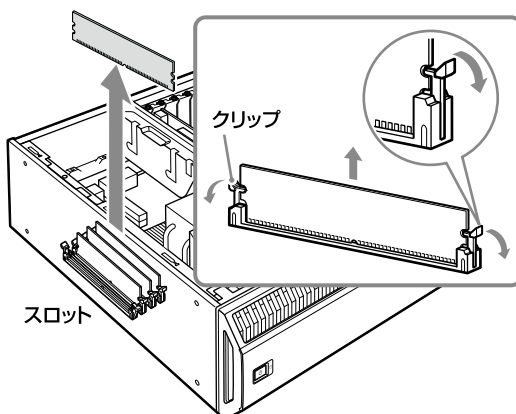
2 [システム情報]をダブルクリックする。

3 [システム情報]をダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

4 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

メモリを取りはずすには

メモリスロットの両端のクリップを外側に押し、メモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。

！ご注意

- メモリモジュールの取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取りはずすと、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取りはずすときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
  - メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

拡張ボードを増設する

本機では「拡張ボード」と呼ばれる別売り品を装着することで、さまざまな機能を拡張し、よりご自分に合った作業環境を構築することができます。

❑ 拡張ボードの種類

本機では「PCI」および「PCI Express x4」という規格に対応した拡張ボードを取り付けることができます。拡張ボードをお買い求めの際は、Windows VistaとPCI規格およびPCI Express x4規格に対応していることをご確認ください。

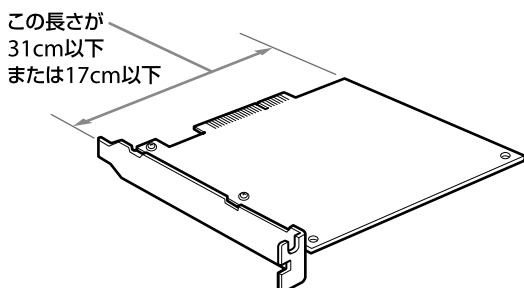
!ご注意

空きスロット（拡張ボードを増設できる場所）の数はお使いの機種により異なります。「拡張ボードを取り付けるには」の手順1～3に従ってカバーを取りはずし、確認してください。

ヒント

PCI Express x4スロットにはPCI Express x1およびPCI Express x2規格に対応した拡張ボードを取り付けることもできます。

❑ 空きスロットに取り付けられる拡張ボードの大きさについて

本機に取り付けられる拡張ボードの長さは、31cmまでです。ただし、PCIスロット2（電源側）は17cmまでです。

❑ 増設できる拡張ボードについて

ご購入されるメーカーまたは販売店にお問い合わせください。VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）では、増設できる拡張ボードの情報を掲載しています。

❑ ドライバについて

拡張ボードが本機に認識されると、メッセージが表示されて、ドライバのインストールや設定が必要になる場合があります。拡張ボードの取扱説明書などをご覧になり、画面の指示に従って操作してください。
ドライバとは、どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。拡張ボードを増設したときには、ドライバのインストールが必要となる場合があります。

拡張ボードを取り付けるには

以下の手順に従って拡張ボードを取り付けます。

!ご注意

- 拡張ボードの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードを電源コンセントから抜き、充分時間が経過したあとに行ってください。電源コードを差したまま拡張ボードを取り付けたり取りはずしたりすると、拡張ボードや本機、周辺機器が壊れることがあります。
- ご自分で拡張ボードの取り付けを行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 拡張ボードの部品には直接手を触れないでください。人体の静電気によって部品が故障することがあります。拡張ボードを触る前には、金属製のものに触れて体内の静電気を放電してください。
- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに拡張ボードを放置しないでください。静電気の影響で拡張ボードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部に直接手を触れないようにご注意ください。
- 拡張ボード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- 拡張ボードを本機から取りはずすときは、必ず本機の拡張ボードの取り扱いかたに従ってください。無理に引き抜くと拡張ボードや本機の故障の原因になります。
- 拡張ボードを水でぬらさないでください。
- 拡張ボード増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。

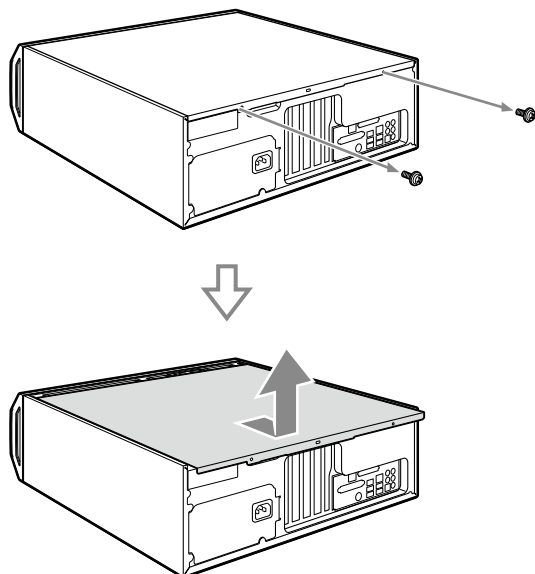
1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

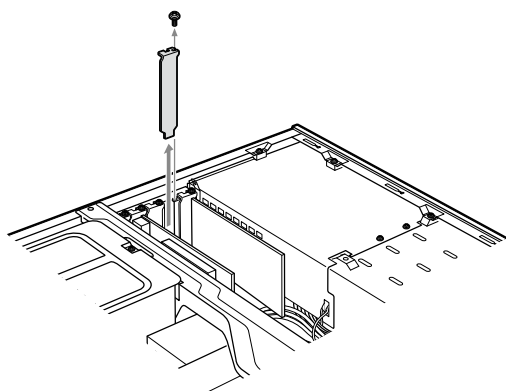
!ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2 メインユニットを横にして置く。

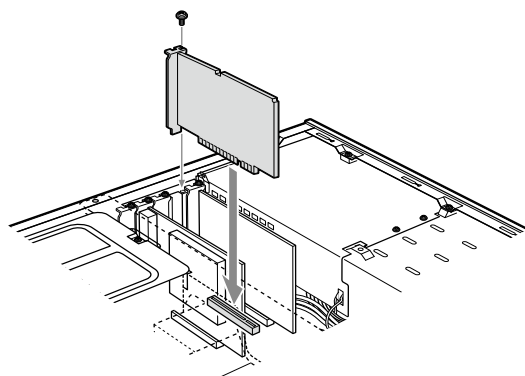
3 カバーを取りはずす。

後面のネジをはずし、カバーをスライドさせます。

4 拡張ボードを取り付けるスロットのカバーを取りはずす。

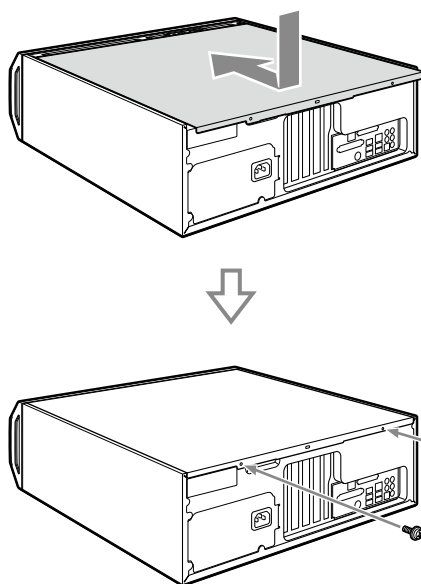
スロットのカバーを取り付けているネジをはずし、本体の内部からカバーを取りはずします。

!ご注意

- 内部の基板やケーブル類を傷つけないようにご注意ください。
- イラストは、実際のものと一部異なる場合があります。

5 拡張ボードを取り付ける。

拡張ボードを空きスロットに合わせて取り付け、ネジで固定します。詳しくは、拡張ボードの取扱説明書をご覧ください。

!ご注意

拡張ボードを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

6 カバーを取り付ける。

カバーを取り付け、後面のネジをとめます。

7 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

Windowsが起動すると、「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」というメッセージが表示されるので、画面の指示とボードの取扱説明書に従って操作します。

拡張ボードを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずしてから行ってください。

ハードディスクを取り付ける／はずす

ハードディスクを増設するときのご注意

- ハードディスクの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したまま、ハードディスクを取り付けたり取りはずしたりすると、ハードディスクや本機、周辺機器が壊れることがあります。
- ご自分でハードディスクの増設を行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。
- ハードディスクの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。
- ハードディスクの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- 増設するハードディスクによっては本機で動作しないものがあります。増設について詳しくは、増設機器メーカーにお問い合わせください。
- ドライブベイは3.5インチサイズです。
- ハードディスク増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- ハードディスク増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- ハードディスク増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 増設するハードディスクによってはi.LINK対応機器から動画を取り込む際に制限が生じる場合があります。
- 増設したハードディスクのドライブ文字は、お客様の使用環境により異なります（「ローカル ディスク (E:)」または「ローカル ディスク (F:)」などと表示されます）。また、本機のリカバリを行うと、増設したハードディスクのドライブ文字が変わることがありますので、ご注意ください。
- ハードディスクを増設した場合、Boot Volumeの順番が変更され、Windowsが起動しなくなることがあります（133ページ）。

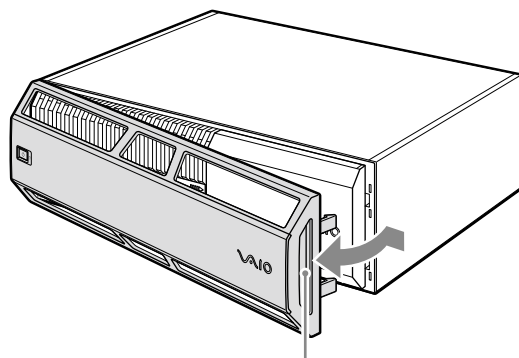
ハードディスクを取り付けるには

メインユニット内部のハードディスクドライブベイにSerial ATA（シリアルATA）に対応したハードディスクを4台まで搭載することができます。
ハードディスクを取り付ける際には、本機のカバーを取りはずす必要があります。次の手順に従ってハードディスクを取り付けます。
増設するハードディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

！ご注意

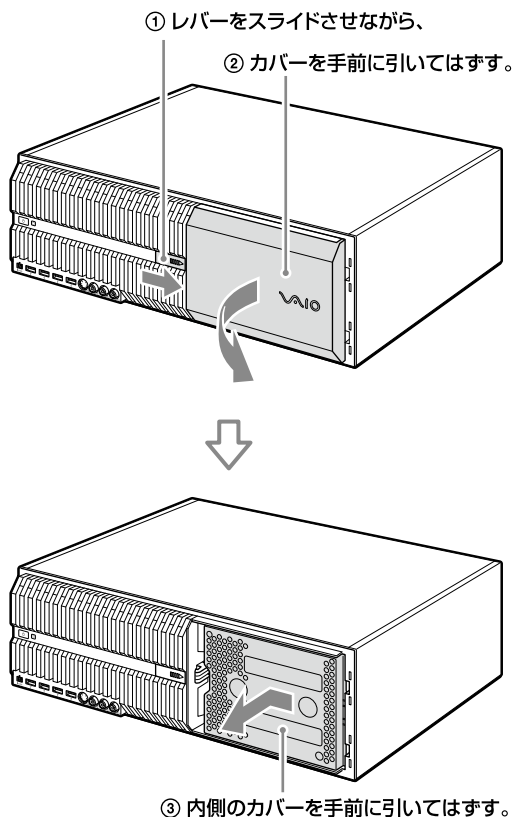
本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

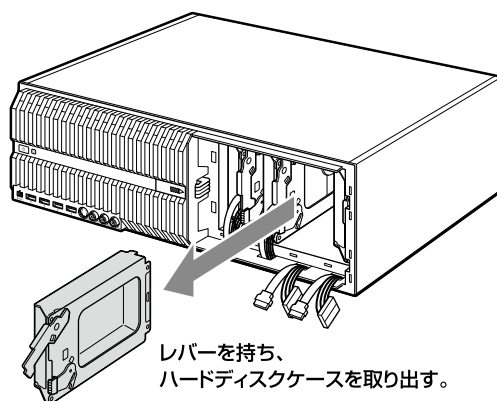
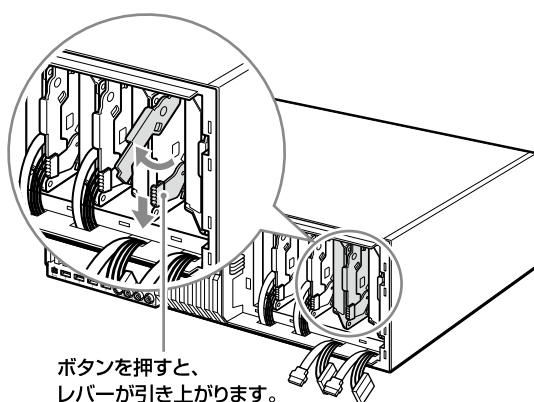
2 メインユニットの前面パネルを取りはずす。

前面パネルの右端を手前に引く。

！ご注意

前面パネルをはずすとき、回転させすぎると左側のツメが折れるおそれがあります。前面パネルをはずすときは、右側の凹みを押した状態で手前に引きます。

本機をセットアップする
テレビ／ミュージック／フォト／DVD
インターネット／メール
増設／バックアップ／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／注意事項

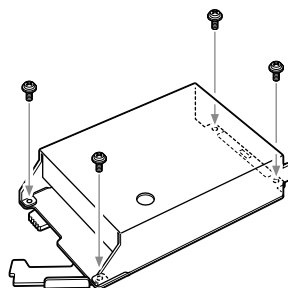
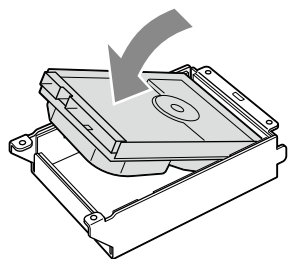
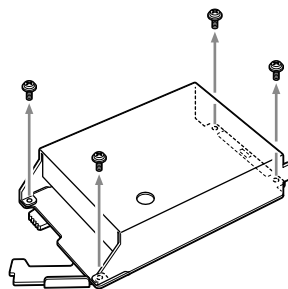
3 カバーを取りはずす。

4 ハードディスクケースを取り出す。

ボタンを押してレバーを引き、ハードディスクケースを取り出します。

！ご注意

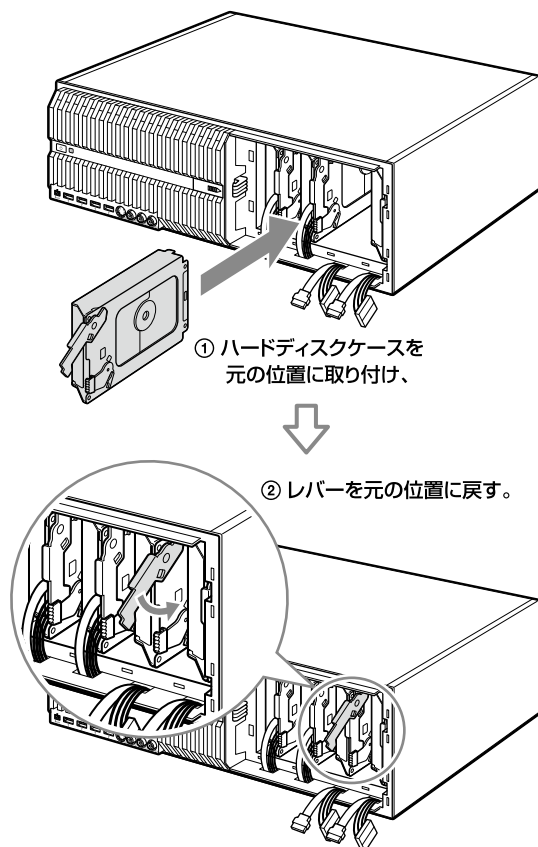
ハードディスクケースを取り出すとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

5 本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、ハードディスクを静電気防止袋から取り出す。

6 増設するハードディスクをハードディスクケースに入れる。

ハードディスクケースのネジをはずし、ハードディスクを入れ、再度ネジをとめます。

!ご注意

ハードディスクケースからハードディスクを取り出す場合、ハードディスクケースの穴（放熱穴）にドライバー等を挿して取り出さないでください。

7 ハードディスクケースを元の位置に取り付ける。

!ご注意

- ハードディスクケースを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。
- ハードディスクケースを取り付けるときは、レバーを開けた状態のまま取り付け、取り付けたあと、レバーを閉じてください。

8 ケーブル類をお買い上げ時に搭載のハードディスクおよび増設したハードディスクの両方に接続する。

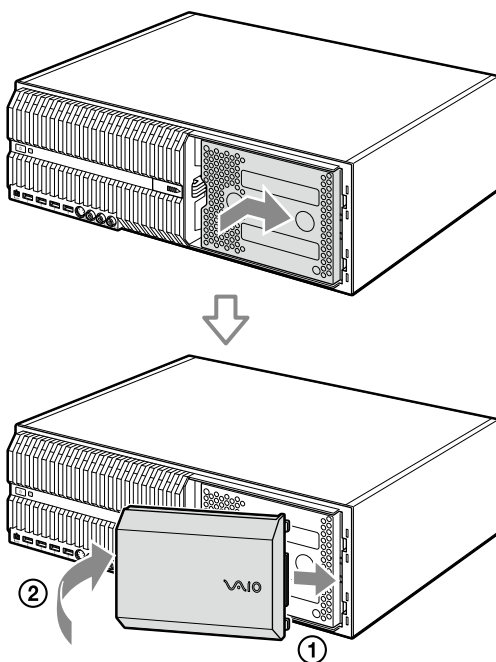
シリアルATA専用電源ケーブルとシリアルATAケーブルは必ず取り付けてください。なお、シリアルATAケーブルは本機に内蔵する専用ケーブルで接続するハードディスクとの対応関係が次の表のとおりになるように接続してください。

ハードディスクの取り付け位置とPORT（Serial ATA）コネクタの対応

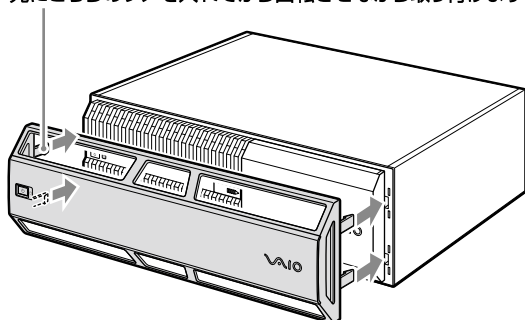
本機に内蔵する専用ケーブル	増設するハードディスク
DRIVE0	ドライブベイの右端
DRIVE1	ドライブベイの右から2番目
DRIVE2	ドライブベイの左から2番目
DRIVE3	ドライブベイの左端

!ご注意

本機の構造上、市販のシリアルATAケーブル(コネクタ部がストレートになっているもの)を使用すると、カバーを開閉した際にカバーが損傷する可能性があります。必ず本機に内蔵の専用シリアルATAケーブルをご使用ください。

9 カバーを取り付ける。

本機をセットアップする
テレビ／ミュージック／フォト／DVD
インターネット／メール
増設／バックアップ／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／注意事項

10 メインユニットの前面パネルを取り付ける。

先にこちらのツメを入れてから回転させながら取り付けます。

!ご注意

前面パネルの上下のツメが入ってるか確認してください。

11 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

増設したハードディスクを使用する前に

ハードディスクを増設したあとは、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてから、下記の手順に従って「パーティションの作成」、「パーティションの種類の設定」、「パーティションのフォーマット」を設定してください。
パーティションについて詳しくは、（スタート）ボタンー［ヘルプとサポート］をクリックして「Windows ヘルプとサポート」を表示し、ディスクの管理の概要などの説明をご覧ください。
なお、増設されたハードディスクはNTFSフォーマットされていないと、本機が正しく動作しなくなることがあります。

1 本機の電源を入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（39ページ）をご覧ください。

ヒント

「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてください。

2 （スタート）ボタンー［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

3 ［システムとメンテナンス］をクリックし、［ハードディスク パーティションの作成とフォーマット］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
「ディスクの管理」画面が表示されます。
接続されているディスクのパーティションの状況が表示されます。新しく増設したハードディスクなど、目的のハードディスクがこれまで使用されたことがなければ「未割り当て」と表示されます。

4 増設したハードディスクの[ディスクx] *を右クリックして「ディスクの初期化」を選ぶ。

＊ ディスクxのx部分は、1、2、3のいずれかが表示されます。

！ご注意

増設するハードディスクの状態によっては、上記の手順は不要な場合があります。

5 手順4で選んだディスクがチェックされていることを確認して、[OK]をクリックする。

！ご注意

増設するハードディスクの状態によっては、上記の手順は不要な場合があります。

6 「未割り当て」の部分を右クリックして、表示されるメニューから[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

7 [次へ]をクリックする。

「ボリューム サイズの指定」画面が表示されます。

8 「シンプル ボリューム サイズ」の入力欄に、作りたいパーティションの大きさを入力し、[次へ]をクリックする。

「ドライブ文字またはパスの割り当て」画面が表示されます。

9 ドライブ文字を「次のドライブ文字を割り当てる」のリストから選び、[次へ]をクリックする。

「パーティションのフォーマット」画面が表示されます。

10 「このボリュームを次の設定でフォーマットする」の各項目を以下のように設定し、[次へ]をクリックする。

使用するファイルシステム：NTFS
アロケーションサイズ：既定値
ボリュームラベル：ボリューム
「新しいシンプル ボリューム ウィザードの完了」画面が表示されます。

11 [完了]をクリックする。

パーティションの設定を行ったハードディスクのフォーマットが始まります。フォーマットの状況はパーセントで表示されます。

フォーマットが終わると、増設したハードディスクが使えるようになります。

！ご注意

RAIDボリュームとRAIDを構成していないドライブ（ボリューム）がシステム内に混在するときは、Windowsが起動しない場合があります。この場合は、「Windowsが起動しない」（133ページ）をご覧ください。

ハードディスクを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずしてから行ってください。

！ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

IDEデバイスを増設する（アクセスユニット付属モデル）

アクセスユニットの拡張デバイスベイにIDEデバイスを1つ増設することができます。

!ご注意

- デバイスの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でデバイスの増設を行い、故障や事故が起きた場合は修理はすべて有償となります。
- デバイスの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- 増設する機器によっては本機で動作しないものがあります。増設について詳しくは、販売店または増設機器メーカーにお問い合わせください。
- 拡張デバイスベイは5インチサイズです。
- アクセスユニットの拡張デバイスベイにはIDEのコネクタが用意されています。増設するデバイスがIDEの場合は、MASTER（マスター）に設定してください。設定方法については、増設するデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- デバイス増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- デバイス増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- デバイス増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。

デバイスを取り付けるには

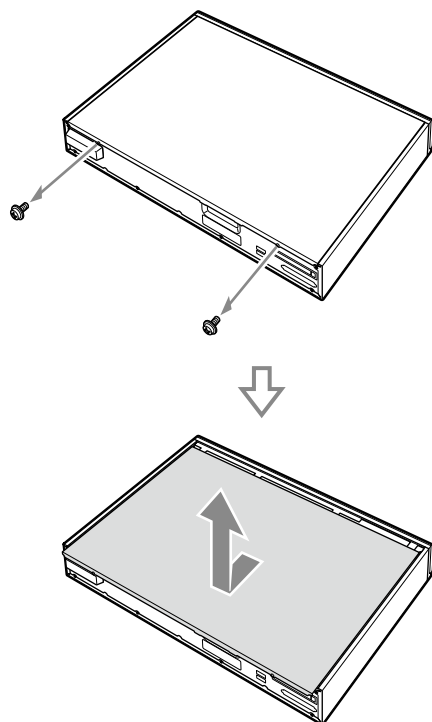
デバイスを取り付ける際には、アクセスユニットのカバーを取りはずす必要があります。以下の手順に従ってデバイスを取り付けます。
増設するデバイスの取扱説明書もあわせてご覧ください。

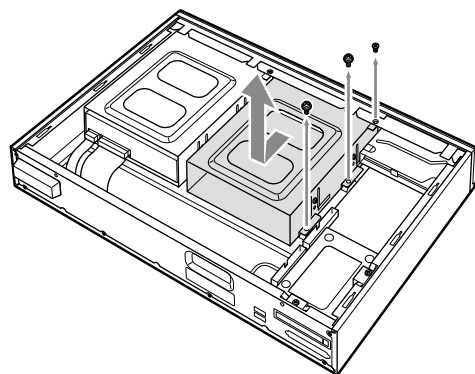
1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

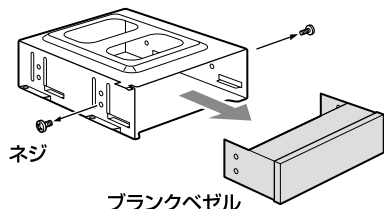
!ご注意

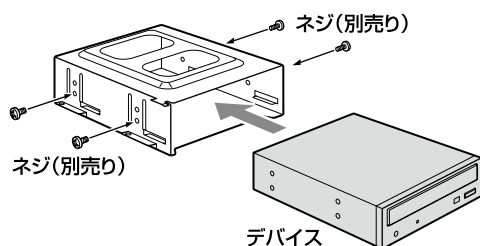
本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2 カバーを取りはずす。

後面のネジをはずし、カバーをスライドさせてはずします。

3 拡張デバイスベイを取りはずす。

ネジをはずして拡張デバイスベイを取りはずします。

4 拡張デバイスベイからブランクベゼルを取りはずす。

ネジをはずして拡張デバイスベイからブランクベゼルを取りはずします。

5 拡張デバイスベイに増設するデバイスを取り付ける。

拡張デバイスベイに増設するデバイスをネジで固定します。

!ご注意

後方の2か所のネジ穴をとめるネジは本機には付属していません。購入したデバイスに付属しているネジ、または別売りのネジをご使用ください。

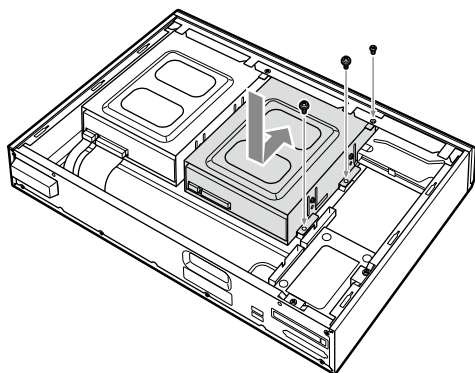
ヒント

取り付けかたについて詳しくは、増設する機器の取扱説明書をご覧ください。

6 拡張デバイスベイを取り付ける。

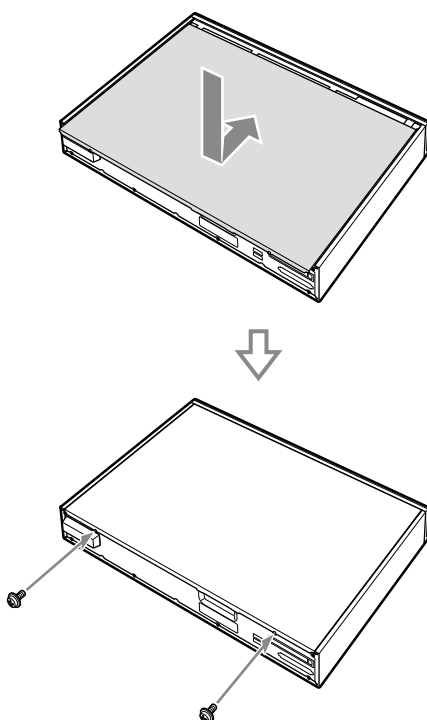
アクセスユニットに拡張デバイスベイを取り付け、ネジをとめます。

!ご注意

- 増設するIDEデバイスは、MASTER（マスター）に設定してください。設定方法については、増設するデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 取り付けるデバイスでIDEケーブルをはさまないように、ケーブルを後ろにずらしてからデバイスを取り付けてください。

7 IDEケーブルと内蔵機器用の電源ケーブルを増設したデバイスに接続する。

!ご注意

電源ケーブルとIDEケーブルを必ず取り付けてください。

8 カバーを取り付ける。

!ご注意

取り付けたデバイスによっては、次のような状態になることがあります。

- イジェクトボタンが押せない、または押しっぱなしになる。
- ディスクドライブのトレイが引っかかる、または出てこない。

デバイスを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずしてから行ってください。

RAIDを設定する

RAIDとは

RAID（Redundant Arrays of Independent Disks）とは、2台以上のハードディスクを使用してコンピュータの性能を向上させる仕組みのことです。
例えば、2台のハードディスクにデータを分散させて記録することで処理速度を向上させたり、2台のハードディスクに同じデータを書き込むことで安全性を高めたりできます。

本機は、以下の4種類のRAID構成が可能です。
- RAID 0
- RAID 1
- RAID 10
- RAID 5

！ご注意
RAIDの変更は、お客様の責任において行ってください。

* 以下、ハードディスクをHDDと記載することがあります。

❑ RAID 0

2台のハードディスクにデータを均等に振り分け、同時並行で記録する方式で、「ストライピング」ともいいます。
メリット：
データの書き込みやデータの読み出しが高速です。
3台以上のハードディスクを使用することもできます。
増設した分だけ処理速度の向上が期待できます。
デメリット：
1台でもハードディスクが故障するとデータ全体が失われるため、1台のハードディスクだけに記録する場合よりも信頼性が低下します。

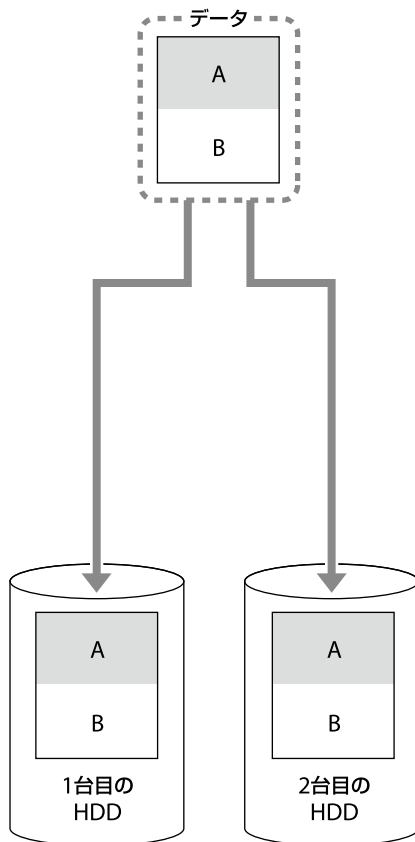
❑ RAID 1

2台のハードディスクに同じデータを同時に書き込む方式で、「ミラーリング」ともいいます。

メリット：

処理速度の向上はありませんが、片方のハードディスクが故障しても、もう一方のハードディスクからデータの読み出しができるので、システムは問題なく稼動し続けることができます。

デメリット：

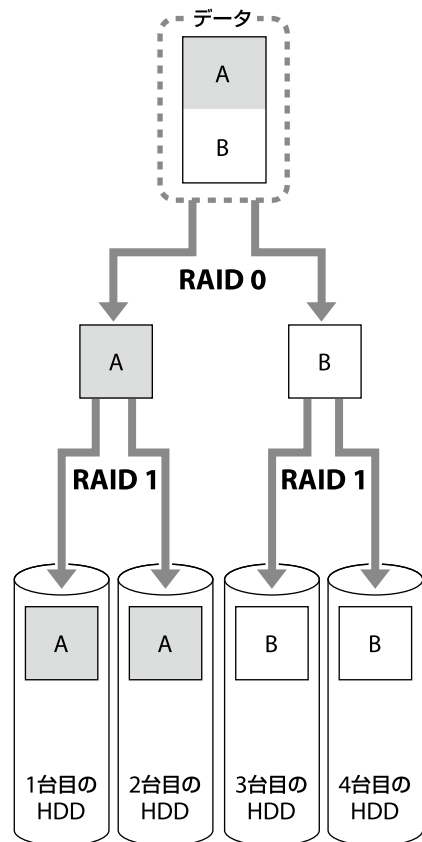
両方のハードディスクに同じデータを書き込むことになるため、実際に使用できる容量は本来のハードディスク容量の半分になります。

❑ RAID 10

RAID 0とRAID 1を組み合わせた方式です。4台以上のハードディスクを使用します。

メリット：

ストライピング（RAID 0）の高速化とミラーリング（RAID 1）のデータ二重化による安全性の、両方のメリットを兼ね備えています。

デメリット：

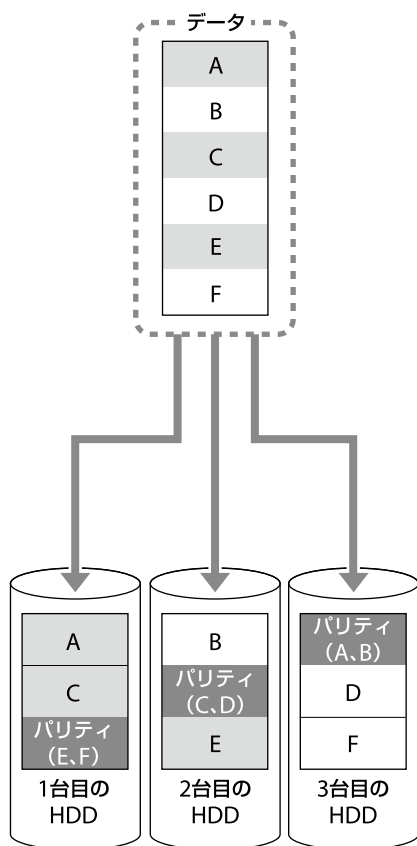
2台のハードディスクに同じデータを書き込むことになるため、実際に使用できる容量は本来のハードディスク容量の半分になります。

❑ RAID 5

3台以上のハードディスクを使用して、それぞれのハードディスクにデータを均等に振り分け、同時並行で記録する方式です。さらに、パリティという情報も同時に記録します。

メリット：

どれか1つのハードディスクが故障しても、パリティからデータを復元して読み出せるので、システムは問題なく稼動し続けることができます。

デメリット：

データを書き込む際にパリティの計算が発生するため、書き込み速度がハードディスク1台の時より遅くなります。パリティとしてハードディスク1台分の容量を使用するため、実際に使用できる容量は本来のハードディスク容量からハードディスク1台分の容量を引いた容量になります。

!ご注意

RAID 5運用中はデータの書き込み速度が遅くなるので、テレビ番組の録画や映像のキャプチャが間に合わなくなる可能性があります。テレビ番組の録画や映像のキャプチャをしたい場合はRAID 5のご使用はおすすめしません。

ヒント

パリティとは、ハードディスクの故障時にデータを復元するための情報です。

❑ RAID比較表

	速度	安全性	ハードディスク容量	必要なハードディスクの数
RAIDなし	○	○	○	–
RAID 0	◎	△	○ （台数分使用できる）	2 ～ 6台
RAID 1	○	◎	× （半分になる）	2台
RAID 10	◎	◎	× （半分になる）	4台
RAID 5	×	◎	△ （1台分減る）	3 ～ 6台

* 表は「RAIDなし」を標準（○）としています。

ヒント

これらのRAIDは、型名や容量・処理速度の異なるハードディスクを使用しても設定できます。

ただし、以下の制限があります。

- 処理速度が異なるハードディスクを使用した場合、遅い方の速度が基準となる
- 異なる容量のハードディスクを使用した場合、少ない方の容量が基準となる
  ＜例＞
  300 GBのハードディスクと100 GBのハードディスクでRAID 1を設定した場合、100 GB×2で200 GBとみなされる

!ご注意

- ハードディスクを増設する場合は、本機に付属または別売りのSATAケーブルが必要です。
- ソニーではハードディスクの増設は行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

RAIDの設定／解除

❑ 増設した2台以上のハードディスクで新たにRAIDを構成したい場合：

下記の「RAIDを設定するには」をご覧ください。

❑ 現在のRAID構成を変更したい場合：

① 現在のRAID構成を解除する。（102ページ）

② RAIDを設定する。
下記の「RAIDを設定するには」の手順に従って設定してください。

！ご注意

- RAID構成を解除すると、データはすべてなくなります。
- 必要なデータは必ずバックアップを行ってください。
- ハードディスクのリカバリ領域も解除されるので、必ずリカバリディスクを作成しておいてください。
- **RAIDの変更は、お客様の責任において行ってください。**

RAIDを設定するには

1 **本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 **←または→キーで[Advanced]を選択し、表示された画面で「RAID Configuration」を[Show]にする。**

4 **F10キーを押す。**

5 **「Exit setup?」と表示されたら、←または→キーで[OK]を選択し、Enterキーを押す。**

本機が再起動して、VAIOのロゴマークが表示されます。

6 **画面下に「Press <CTRL-I> to enter Configuration Utility..」と表示されるので、メッセージが表示されている間にCtrlキーを押しながらIキーを押す。**

「Intel(R) Matrix Strage Manager option ROM ～」画面が表示されます。

ヒント

- 「Intel(R) Matrix Strage Manager option ROM ～」画面は、画面が数回切り替わってから表示される場合があります。
- 「Intel(R) Matrix Strage Manager option ROM ～」画面が表示されない場合は、Ctrlキーを押しながら数回Iキーを押してください。

7 **「Pysical Disks」の一覧にRAIDを構成したいハードディスクが表示されていることを確認する。**

ヒント

ハードディスクが一覧表示されていない場合は、いったん本機の電源を切り、ハードディスクが正しく取り付けられているか確認して下さい。

8 **[1. Create RAID Volume]を選択してEnterキーを押す。**

「CREATE VOLUME MENU」画面が表示されます。

9 **「Name」でそのままEnterキーを押す。**

10 **「RAID Level」で、↑または↓キーで設定したいRAIDの種類を選択してEnterキーを押す。**

11 **「Disks」で[Select Disks]を選択してEnterキーを押す。**

「SELECT DISKS」画面が表示されます。

ヒント

ハードディスクの台数によっては「Select Disks」が選択できない場合があります。その場合は手順14へ進んでください。

12 ↑または↓キーでRAIDを構成したいハードディスクを選択してスペースキーを押す。

ヒント
ハードディスクを選択してスペースキーを押すと左側に三角のマークがつきます。選択を解除するには、もう一度スペースキーを押してください。

13 Enterキーを押す。

14 「Stripe Size」と「Capacity」でそのままEnterキーを押す。

ヒント
選択したRAIDによっては「Stripe Size」は選択できませんので、「Capacity」でそのままEnterキーを押してください。

15 「Create Volume」でEnterキーを押す。

16 「WARNING: ALL DATA ON SELECTED DISKS WILL BE LOST.」画面が表示されたらYキーを押す。

「Intel(R) Matrix Strage Manager option ROM 〜」画面に戻ります。

17 以下の設定を確認する。

- 「DISK/VOLUME INFORMATION」の「RAID Volumes」で作成した RAIDが表示されていること
- 「Physical Disks」の一覧で「Type/Status(Vol ID)」が正しいこと

18 ↑または↓キーで[4.EXIT]を選択してEnterキーを押す。

19 「CONFIRM EXIT」画面が表示されるので、Yキーを押す。

これでRAIDが設定されました。

RAIDを解除するには

1 「RAIDを変更するには」の手順1~6を行う。

2 「RAID Volumes」に一覧表示されているRAIDのID、Name、Levelなどから、削除したいRAIDを確認する。

3 [2. Delete RAID Volume]を選択してEnterキーを押す。

「DELETE VOLUME MENU」画面が表示されます。

4 削除したいRAIDが選択されていることを確認してDelキーを押す。

複数のRAIDが存在する場合は、↑または↓キーで削除したいRAIDを選択します。

5 「DELETE VOLUME VERIFICATION」画面が表示されるので、削除されるRAIDをもう一度確認してYキーを押す。

構成しているRAIDが全て削除されるか、またはESCキーを押すと「Intel(R) Matrix Strage Manager option ROM 〜」画面に戻ります。

6 「RAID Volumes」に一覧表示されていたRAIDが削除されたことを確認し、↑または↓キーで[4.EXIT]を選択してEnterキーを押す。

7 「CONFIRM EXIT」画面が表示されるので、Yキーを押す。

これでRAIDが解除されました。

RAID使用についてのご注意

- RAID 0に関しては、構成しているハードディスクが1台でも故障すると、すべてのデータを失いますのでご注意ください。
  RAID 0運用中においても、ハードディスクのエラー検知機能であるSMART（Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology）エラーが通知領域に表示されたら、大至急データのバックアップをとり、エラーを出したハードディスクの修理・交換をすることをおすすめします。
- RAID 1 ／ 5 ／ 10運用中、ハードディスクにSMARTエラーやアクセスできない不具合が発生した場合は通知領域にエラーが表示されますが、システム運用の継続は可能です。（RAID 5はかなり動作が遅くなります。）
  「Intel Matrix Storage Manager」ソフトウェアを起動して詳細モードにすると、不具合のあるハードディスクが特定できるので、早期に交換することをおすすめします。
  本機の電源を切り、ハードディスクを交換して再起動すると、自動的に新規のハードディスクにデータが修復され、元の運用状態に復帰します。
- RAID 5運用中はデータの書き込み速度が遅くなるので、テレビ番組の録画や映像のキャプチャが間に合わなくなる可能性があります。テレビ番組の録画や映像のキャプチャをしたい場合はRAID 5のご使用はおすすめしません。
- RAID構成を組んだハードディスクを単独のハードディスクとして再利用する場合は、必ずRAID構成を解除してください。解除をせずに単独のハードディスクとして使用すると不具合が生じます。
- RAID構成を解除すると、データはすべてなくなります。必要なデータは必ずバックアップを行ってください。
- RAID変更時はリカバリ領域も解除されるので、必ずリカバリディスクを作成しておいてください。
- **RAIDの変更は、お客様の責任において行ってください。**

大容量のハードディスクを使用する場合

- ハードディスクとRAIDの組み合わせが下記のような場合に2 TB以上のサイズで作成したパーティションは、本機をリカバリする時に選択できないため、起動ドライブには指定できません。

ハードディスク容量	ハードディスクの数	RAID
750 GB	3台以上	RAID 0
750 GB	4台以上	RAID 5
500 GB	5台以上	RAID 0
500 GB	6台	RAID 5

- OSをインストールするパーティションのサイズは、2 TB以下に設定してください。
- 2 TB以上のサイズに設定したパーティションは、データの保存用にお使いください。

バックアップについて

バックアップとは

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピュータに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピュータウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

バックアップの種類

データのバックアップは、「VAIO リカバリセンター」の「Windows バックアップと復元」で行います。（107ページ）
バックアップには用途に応じて以下の種類があります。

- **ファイルのバックアップ**
  本機に保存したメールや写真などファイルの種類ごとにデータをCDやDVD、外付けハードディスクなどにバックアップすることができます。
  ファイルのバックアップの操作方法について詳しくは、「ファイルをバックアップするには」（107ページ）をご覧ください。
- **Complete PC バックアップ（Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデル）**
  コンピュータ全体のバックアップをすることができます。Complete PC バックアップを使ってバックアップしておくとハードディスクや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。
  Complete PC バックアップの操作方法について詳しくは、「Complete PC バックアップでバックアップするには」（109ページ）をご覧ください。
- **復元ポイント**
  新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる（反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる）場合があります。
  そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。復元ポイントについて詳しくは、「システムの復元ポイントを作成するには」（110ページ）をご覧ください。

ヒント

CD ／ DVDドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブを用意するか、またはC:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成する必要があります。（123ページ）

！ご注意

- 本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償についてはいたしかねますのでご了承ください。
- お買い上げ後はすぐにリカバリディスクを作成してください。
  本機に不具合が生じ、Windows上の操作でデータをバックアップできない場合に、リカバリディスクにあるバックアップツールを使ってバックアップすることができます。
  リカバリディスクの作成方法については、「リカバリディスクを作成する」（105ページ）をご覧ください。

リカバリディスクを作成する

リカバリディスクについて

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリには、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
詳しくは、「リカバリする」(116ページ)をご覧ください。

!ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き替えてしまい、リカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリセンター」を使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。

リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
*マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。(56ページ)

!ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスク上のデータを自由に操作することができます。ハードディスクのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリディスク作成についてのご注意

- リカバリディスクの作成中は、ディスクドライブのイジェクトボタンを押さないでください。
  ディスクの作成に失敗することがあります。
- ハードディスク上の空き容量が少ない場合は、リカバリディスクを作成できません。

リカバリディスクを作成するには

本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[リカバリディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

!ご注意

- Blu-ray DiscまたはDVD-RAMはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
  使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」(187ページ)をご覧ください。
- お使いの機種によっては、CD-RまたはCD-RWでリカバリディスクを作成できない場合があります。その場合はDVDをお使いください。

5 [次へ]をクリックする。

ヒント

外付けドライブなど複数のディスクドライブが接続されている場合は、ドライブの選択画面が表示されます。使用するドライブを選択して[次へ]をクリックしてください。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!ご注意

- リカバリディスクの作成状況が表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成が完了するとメッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

「バックアップと復元センター」を使う

「バックアップと復元センター」について

「バックアップと復元センター」を使うと、データのバックアップやバックアップデータの復元、復元ポイントの設定をすることができます。
「バックアップと復元センター」は次の手順で起動します。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[Windows バックアップと復元]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

(Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデルをお使いの場合)

(Windows Vista Home Premium搭載モデルをお使いの場合)

ファイルをバックアップするには

初めてファイルをバックアップする場合は、下記の手順でバックアップデータの保存先や作成するファイルの種類、スケジュールの設定などを行います。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ファイルのバックアップ」画面が表示されます。

ヒント
「ファイルのバックアップ」画面が表示されない場合は、デスクトップ画面右下の通知領域に表示される[ファイル バックアップを実行中です]というメッセージをクリックしてください。

3 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
バックアップデータの保存先は、以下の4種類から選択します。

- 外付けハードディスクドライブ(推奨)
- CDまたはDVD
- C:ドライブ以外のドライブ*
- ネットワーク上

* 本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。C:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。(123ページ)
ただし、万一ハードディスクが故障した場合ドライブのデータは失われるので注意してください。

4 バックアップしたいファイルの種類にチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

5 [設定を保存しバックアップを開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

ヒント
スケジュールを設定すると設定した日時で自動的にファイルをバックアップすることができます。必要に応じてスケジュールを設定してください。

スケジュールを設定しない場合は、表示された状態のまま[設定を保存しバックアップを開始]をクリックし、次の手順に進んでください。

6 「バックアップと復元センター」画面で「ファイルのバックアップ」の下にある[設定の変更]をクリックする。

7 「自動バックアップは現在有効になっています。」の右側にある[無効にする]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

これで自動バックアップの機能が無効になります。バックアップの保存先と作成するファイルの種類の設定はそのまま保持されています。
以降、「バックアップと復元センター」画面で[ファイルのバックアップ]をクリックするだけでバックアップすることができます。

!ご注意

- 本機に搭載されている一部のソフトウェアで管理している曲や画像・情報などのデータは、「バックアップと復元センター」ではバックアップできない場合があります。ソフトウェアに専用のバックアップツールが用意されている場合は、ヘルプを参照してご使用ください。
- 「Windows Media Center」ソフトウェアで録画したアナログ放送の番組は、「バックアップと復元センター」ではバックアップできません。手動でバックアップしてください。(アナログテレビチューナー搭載モデル)
- データを暗号化している場合は、解除してからバックアップしてください。

バックアップからデータを復元するには

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルの復元]をクリックする。

「ファイルの復元」画面が表示されます。

3 [最新バックアップにあるファイル]または[古いバックアップにあるファイル]を選択し、[次へ]をクリックする。

[古いバックアップにあるファイル]を選択した場合は、表示された画面の「日付と時刻」欄から復元したいバックアップファイルの日付を選択して、[次へ]をクリックしてください。

4 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

一覧にデータが表示されていない場合は、[ファイルの追加]や[フォルダの追加]をクリックして表示された画面からバックアップデータを選択し、[追加]をクリックしてください。

5 復元するバックアップデータの保存先を選択し、[復元の開始]をクリックする。

6 「ファイルは正常に復元されました。」と表示されたら、[完了]をクリックする。

Complete PC バックアップでバックアップするには

Complete PC バックアップはWindows Vista Ultimate ／ Business搭載モデルのみお使いになれます。
Complete PC バックアップを使うと、コンピュータ全体のバックアップをすることができます。
ハードディスクや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [コンピュータのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「Windows Complete PC バックアップ」画面が表示されます。

3 バックアップの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

確認画面が表示されます。

4 内容をよく確認してから、[バックアップの開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

5 「バックアップは正常に完了しました。」と表示されたら[閉じる]をクリックする。

!ご注意
Complete PC バックアップはコンピュータ上のすべてのデータをバックアップするため、復元する際にファイルを選択することはできません。
また、Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更したファイルは復元されません。

Complete PC バックアップからデータを復元するには

Complete PC バックアップはWindows Vista Ultimate ／ Business搭載モデルのみお使いになれます。

!ご注意
- バックアップデータを外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブに保存した場合は、復元する前に再度外付けドライブを接続してください。
- データを復元する前に、ファイルのバックアップを使って必要なファイルをバックアップしてください。
システムの復元を行うと、システムファイルの変更が行われるため、ソフトウェアが正常に起動しないなど不具合が生じる可能性があります。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント
以下の手順でも行えます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③ 「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [Windows Complete PC 復元]をクリックする。

「Windows Complete PC 復元」画面が表示されます。
バックアップデータをCDやDVDに保存している場合は、ディスクをドライブに挿入してください。

5 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

6 表示された内容をよく読んでから、[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、復元を実行する場合はチェックボックスにチェックを付け、[OK]をクリックする。

復元が完了すると自動的に再起動し、「システム回復オプション」のキーボード レイアウトの選択画面に戻ります。

システムの復元ポイントを作成するには

システムの復元とは

新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる(反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる)場合があります。
そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。

ヒント
復元ポイントは自動的に作成されますが、手動で作成することもできます。
ソフトウェアやドライバをインストールするときは、念のためインストールする前に手動で復元ポイントを作成することをおすすめします。

システムの復元ポイントを手動で作成する

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[復元ポイントの作成または設定の変更]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 [システムの保護]タブをクリックする。

4 「自動復元ポイント」で復元ポイントを作成したいドライブのチェックボックスにチェックを付け、[作成]をクリックする。

復元ポイントの作成画面が表示されます。

5 復元ポイントを識別するための説明を入力し、[作成]をクリックする。

6 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されたら、[OK]をクリックする。

「自動復元ポイント」の「最新の復元ポイント」の日時が更新されます。

システムの復元ポイントから復元するには

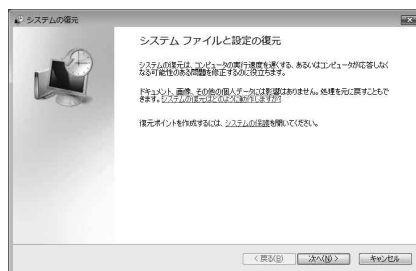
!ご注意

「SonicStage」ソフトウェアを使用している場合、大切な曲データの消失を防ぐために、システムの復元をする前にあらかじめ「SonicStage バックアップツール」を使って曲データをバックアップしてください。
システムの復元をすると、曲のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいは取り込んだ曲データのすべてが再生できなくなる場合があります。
システムの復元をしたあとに「SonicStage バックアップツール」で曲データを復元することで、保存した曲データが再生できるようになります。
「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

❑ Windowsが起動する場合は

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[システムの復元を使ってWindows を修復]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムの復元」画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。

4 復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。

復元するディスクの確認画面が表示されます。

5 内容をよく確認して[次へ]をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

6 内容をよく確認して[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

8 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

❑ Windowsが起動しない場合は

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。

② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。

③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

ヒント

ファイルのバックアップを使ってバックアップをした後に変更されたファイルについては、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしてください。（120ページ）

4 [システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。

以降、「Windowsが起動する場合は」の手順3 ～ 8に従って操作してください。

ソフトウェアやドライバを復元するには

本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に動かなくなった場合に、正常な状態に戻すことができます。

!ご注意

- ソフトウェアやドライバによっては、復元できないものもあります。
- お使いの環境によっては「ソフトウェアの再インストール」を行っても、正常に動作しない場合があります。また、再インストールする前に作成したデータが削除されてしまう可能性があります。
- 復元する前にプログラムの削除を行ってください。正常に復元できない場合があります。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[ソフトウェアの再インストール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」をすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

5 復元したいソフトウェアまたはドライバのチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

リカバリ(再セットアップ)

本機の動作が不安定になったり、反応が遅くなったりした場合は、以下のような原因が考えられます。

- コンピュータウイルスに感染した
- Windowsの設定を変更した
- 本機で動作の保証がされていないソフトウェアやドライバをインストールした

このような場合には、次の流れに従って本機の復旧を試みてください。

本機の調子が悪くなったときは

Windowsが起動する場合

Windowsが起動しない場合は「Windowsが起動しない場合」をご覧ください。(115ページ)

手順1
リカバリディスクを作成していない場合は、作成する。(105ページ)

手順2
必要なファイルのバックアップをとる。(107ページ)

手順3
以下のいずれかを実行してみる。

- システムの復元をする。(111ページ)
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使って、システムの復元をしてください。
- ソフトウェアやドライバをインストール後に本機の調子が悪くなった場合は、インストールしたソフトウェアやドライバをアンインストールする。
- 本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に働かなくなった場合は、それらを再インストールする。(113ページ)
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップをしていた場合は、バックアップデータを復元する。(Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデル)(109ページ)
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。

手順4
それでも本機の調子が悪い場合は、リカバリする。(117ページ)

!ご注意
リカバリすると、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

Windowsが起動しない場合

Windowsが起動しないときは、次の流れに従って操作します。

手順1

以下のどちらかを実行してみる。

- システムの復元をする。（111ページ）
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使ってシステムの復元をしてください。
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップしていた場合は、バックアップデータを復元する。（Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデル）（109ページ）
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。最後にComplete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更または作成されたファイルについては、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。（120ページ）

それでもWindowsが起動しない場合は、さらに次の流れに従ってリカバリする必要があります。

手順2

データをバックアップしていなかった場合は、VAIO データレスキューツールで必要なファイルをバックアップする。（120ページ）

本機の調子が悪くなる前にファイルのバックアップを使ってバックアップをしていて、その後に変更または作成されたファイルで必要なファイルがある場合は、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。

手順3

「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査する。

「VAIO ハードウェア診断ツール」は、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行い、交換が必要かどうかを確認するソフトウェアです。
詳しくは「VAIO ハードウェア診断ツール」をご覧ください。

手順4

リカバリする。（119ページ）

リカバリする

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった*

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

* C:ドライブを初期化してしまった場合は、リカバリディスクを使用してリカバリしてください。

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うために必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

!ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです(一部のソフトウェアを除く)。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。(105ページ)

リカバリ前に確認してください

- 本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず最後までリカバリを行ってください。リカバリが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Windowsからリカバリするには

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。

Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」（119ページ）をご覧ください。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

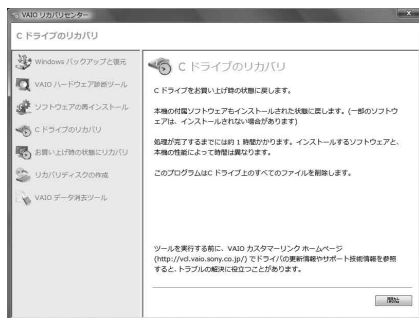
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

2 画面左側の[C ドライブのリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

ヒント

- C:ドライブ以外にご自分で新しくドライブを作成している場合など、C:ドライブ以外に保存されているデータは残ります。（123ページ）
- [お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択すると、Windowsがインストールされているハードディスクのデータをすべて消去し、本機のハードディスクをお買い上げ時の状態に戻します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合に選択してください。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」などをすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

警告画面が表示されます。

ヒント

[お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択した場合は、事前にリカバリディスクを作成しておく必要があります。リカバリディスクを作成していない場合は、画面の指示に従って作成してください。

すでに作成済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

4 内容をよく読んでから、[同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

5 [はい]をクリックする。

「Windowsのリカバリ中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント

- リカバリ作業には、お使いの機種によっては数時間かかることがあります。
- Windowsが起動しない状態でリカバリしている場合は、しばらくするとディスクがドライブから自動的に出てきます。
  画面の指示に従って、ディスクの取り出しや入れ替えを行ってください。

6 「完了をクリックしてプログラムを終了してください」と表示されたら[完了]をクリックする。

本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

！ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

7 「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」（42ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでリカバリが完了しました。
Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の手順を行ってください。

！ご注意

Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXEの実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。
⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

ヒント

Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックしてください。

引き続き、Office PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順②から⑥と同じ手順でインストールしてください。

⑦ （スタート）ボタン－[コンピュータ]をクリックして表示された画面で、[ローカル ディスク(C:)]－[Program Files]－[Office12]－[Hotfix]をダブルクリックする。
⑧ [office-kb938574-fullfile-x86-ja-jp(.exe)]をダブルクリックする。
アップデートが開始されます。
⑨ アップデートが完了したら、[はい]をクリックし、本機を再起動する。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
バックアップデータの復元方法について詳しくは、「バックアップからデータを復元するには」（108ページ）をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリするには

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。

ヒント

Windows Vista Ultimate搭載モデルをお使いの場合で、BitLockerドライブ暗号化をご使用の場合は、「BitLockerドライブ暗号化の回復」画面が表示されることがあります。暗号化を一時的に解除しますので、画面の指示に従って設定してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

リカバリディスクを作成していない場合は、以下の手順で行ってください。

① 本機の電源を入れる。

② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。

③ 手順5に進む。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[C ドライブのリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ヒント

- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。（120ページ）
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行うことができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先]－[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックする。）

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。（121ページ）

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスク上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD ／ DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスク上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー（バックアップ）するには

！ご注意

- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順5に進む。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[VAIO データレスキューツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

!ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
  中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から5の操作を行い、「中断した作業を再開する」チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- “メモリースティック”やSDメモリーカード、フラッシュメモリなどのメディアにデータを保存する場合、ドライバの読み込みが必要になります。ドライバはリカバリディスクの「VAIO」フォルダに保存されています。データの保存先の選択画面で[ドライバのインストール]をクリックし、ドライバの読み込みを行ってください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブはUSBまたはi.LINK接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 手順に従って進み、[開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

!ご注意

「SonicStage」ソフトウェアで取り込んだ音楽ファイルや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保障はいたしません。

ヒント

復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダから移動してお使いください。

Windows メールをバックアップする／復元するには

ここではVAIO データレスキューツールの使用例として、Windows メールのメールデータのバックアップと復元方法を紹介します。

Windows メールのメールデータをバックアップする

1 VAIO データレスキューツールを起動させる。（120ページ）

2 画面の指示に従って、「レスキューデータの選択」画面まで進む。

ヒント

データレスキュー方法は、「カスタムデータレスキュー」を選んでください。

3 [Users]－[VAIO（ユーザー名）]－[AppData]－[Local]－[Microsoft]－[Windows Mail]をクリックし、[Local Folders]チェックボックスをクリックしてチェックする。

4 [次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従ってバックアップしてください。

Windows メールのバックアップを復元する

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows メール]をクリックする。

Windows メールが起動します。
メールアカウントの設定をしていない場合は、設定してください。

2 [ファイル]－[インポート]－[メッセージ]をクリックする。

「プログラムの選択」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールの形式を選択してください」から、[Microsoft Windows メール 7]を選択し、[次へ]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

4 [参照]をクリックして表示された画面で、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[フォルダの選択]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ヒント
VAIO データレスキューツールでメールデータをバックアップしていた場合は、[参照]をクリックして[Local Folders]を選択してください。

5 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする。

「Windows メール」画面の左側に「インポートされたフォルダ」が作成されるので、フォルダ内のメールを元の状態に振り分けてください。

パーティションサイズの変更

パーティションサイズの変更について

パーティションとはハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。別のパーティション(D:ドライブなど)にデータを保存したい場合は、パーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。

パーティションを作成する

パーティションの作成方法には、以下の2種類があります。

- Windows上の操作で作成する
- リカバリディスクを使って作成する

!ご注意

- リカバリディスクを使ってパーティションの作成を行うには、本機をリカバリする必要があります。
  リカバリすると、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。
- C:ドライブのパーティションサイズを変更して小さくすると、ドライブの空き容量が足りず、リカバリディスクの作成やリカバリなどの操作が正常に行われない場合があります。

❑ Windows上の操作で作成する

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]－[システムとメンテナンス]－「管理ツール」の[ハードディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ディスクの管理」画面が表示されます。

2 C:ドライブを右クリックして、[ボリュームの圧縮]をクリックする。

「C: の圧縮:」画面が表示されます。

3 圧縮する領域のサイズを設定して、[圧縮]をクリックする。

「ディスクの管理」画面で、「ディスク」に「未割り当て」が追加されます。

ヒント
本機をある程度の期間ご使用の場合は、ハードディスク上のデータが分散しているため「未割り当て」の空き領域が小さくなります。その際は、デフラグすることをおすすめします。（(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]－[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。）

4 「未割り当て」を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

5 画面に従ってサイズやドライブ名の設定を行い、ウィザードを完了させる。

ウィザードを完了させるとフォーマットが始まり、新しくパーティションが作成されます。

❑ リカバリディスクを使って作成する

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

6 [スキップ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

表示された画面の指示に従い、パーティションの分割設定画面が表示されるまで進んでください。

ヒント
「お買い上げ時のパーティション設定にしますか？」と聞かれた場合は、[パーティション設定を変更]を選んでください。

7 ドロップダウンリストから、[数値入力(C ドライブとD ドライブに分割する)]を選択する。

8 C:ドライブのサイズを設定して、[次へ]を選択する。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ハードディスクのデータを完全に消去する

本機ではVAIO データ消去ツールを使ってハードディスクのデータを完全に消去することができます。

!ご注意

- VAIO データ消去ツールはハードディスク上のすべてのデータを消去します。本機を廃棄あるいは第三者に譲渡する場合のみお使いください。
- VAIO データ消去ツールを使うには、リカバリディスクの作成が必要です。
  リカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。（105ページ）
- VAIO データ消去ツールを使用中に71時間が経過すると自動的にコンピュータが再起動します。データの消去中に71時間が経過した場合は、自動的に作業が中断され本機が再起動します。本機が再起動したあとに、再びツールを起動すれば中断されたところから作業が再開できます。
- VAIO データ消去ツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

1 必要なファイルをバックアップする。

ヒント

- Windowsが起動する場合は、ファイルのバックアップを使ってバックアップしてください。（107ページ）
- Windowsが起動しない場合は、リカバリディスクからVAIO データレスキューツールを起動してバックアップを行い（120ページ）、バックアップ完了後に［終了］をクリックして本機が再起動したら、手順3へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

3 キーボード レイアウトを選択し、［次へ］をクリックする。

4 オペレーティング システムを選択し、［次へ］をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

5 ［VAIO リカバリセンター］をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

6 画面左側の［VAIO データ消去ツール］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

VAIO データ消去ツールの説明画面が表示されます。

7 内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。

8 制限事項や準備の説明内容をよく読んだら、［次へ］をクリックする。

9 内蔵ハードディスク一覧からデータ消去するハードディスクにチェックをつけ、［次へ］をクリックする。

10 データの消去方式を選択し、［次へ］をクリックする。

11 データ消去するハードディスクを確認し［はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。］のチェックボックスをクリックしてチェックし、［次へ］をクリックする。

12 再度、［はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。］のチェックボックスをクリックしてチェックし、［消去開始］をクリックする。

ハードディスクのデータの消去が開始されます。

13 消去終了の確認画面が表示されたら、［OK］をクリックする。

本機の電源が切れます。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（128ページ）

パソコンが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
パソコンが動作するときは、「バイオ電子マニュアル」からも調べられます。

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェアを簡単にチェックするためのソフトウェアとして、ハードウェア診断ツールがインストールされています。起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

2 電子マニュアルを調べる

「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（144ページ）

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックしてください。

「Windowsのヘルプとサポート」をご覧ください。（145ページ）

「Windows ヘルプとサポートを見る」（145ページ）をご覧ください。

各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（145ページ）

3 サポートホームページで調べる

「サポートホームページで調べる」をご覧ください。（146ページ）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。

4 電話で問い合わせる

1～3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。（150ページ）

❑ バイオの使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
（0120）60-3399（フリーダイヤル）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間　平日：9時～18時
土曜、日曜、祝日：9時～17時
（365日年中無休）
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していいただくと、「VAIOコールバック予約サービス」（152ページ）が24時間ご利用いただけます。
詳しくは、「電話で問い合わせる」（150ページ）をご覧ください。

❑ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（161ページ）をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先に問い合わせてください。
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

よくあるトラブルと解決方法

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

❑ CD ／ DVDドライブ（139ページ）

- CD ／ DVD メディアの読み込み・再生ができない、ドライブがメディアを認識しない

❑ インターネット（139ページ）

- インターネットに接続できない
- ワイヤレスLANが使えない

❑ テレビ再生／録画（アナログテレビチューナー搭載モデル）（140ページ）

- テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない
- 画面の色がきれいに表示されない
- エラーメッセージが表示され、終了、スリープなどの操作ができない
- 予約したのに録画されていない
- 縞状のノイズが多い

❑ デジタル放送（デジタルテレビチューナー搭載モデル）（141ページ）

- デジタル放送を視聴したい

❑ 外部機器からの録画（142ページ）

- DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない
- 外部機器から映像の録画を実行しても何も録画されない（アナログテレビチューナー搭載モデル）
- HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう
- HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

❑ FeliCaポート（FeliCa対応リーダー／ライター）（143ページ）

- FeliCa機能が使えない

❑ エラーメッセージ（143ページ）

電源投入時のエラーメッセージ

- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「バイオ電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」画面が表示されます。

2 [Q&A集]をクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない（本機の電源ランプが点灯しないとき）

次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
接続について詳しくは、「電源コードを接続する」（38ページ）をご覧ください。

A 電源コードのプラグが本機にしっかりと奥まで差し込まれているか確認してください。

A すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続する」（23ページ）をご覧ください。

A スイッチ付きテーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁の電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

A 電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、電源を入れてください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れると、本機の電源ランプは点灯するが、画面に何も表示されない

A ディスプレイの電源が入っているか確認してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認したあと、電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、再度電源を入れ直す。

Q 電源が切れない

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A キーボードが正しく接続されているか確認してください。
接続について詳しくは、「キーボードとマウスを接続する」（26ページ）をご覧ください。

A 使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再び電源を切る操作をしてください。

A PCカードをお使いの場合は、PCカードを取り出してから、再び電源を切る操作をしてください。

A プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。
Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

A 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

A （スタート）ボタン－ ボタン－［シャットダウン］をクリックしても電源が切れない場合は、Altキーを押しながらF4キーを数回押して「Windowsのシャットダウン」画面を表示させ、リストから［シャットダウン］を選択して［OK］をクリックしてください。

A 画面が固まったり、動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックしてください。
詳しくは、「画面が固まって動かない」（135ページ）をご覧ください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。
② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。
③ それでも電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにして、電源ランプが消灯するか確認する。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 「Non-System disk or disk error. Replace and strike any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key_」と表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください（123ページ）。

A 起動時に下記のメッセージが表示された場合は、キーボードのいずれかのキーを押して本機の電源を落としたあと、電源コードを抜いて、アクセスユニットが正しく接続されていることを確認してください。
Could not find the Access Unit.
Remove AC power and make sure that the Access Unit cable is connected.
Press any key to shutdown.

ヒント
BIOSセットアップのAdvancedメニューで、起動時にアクセスユニットのチェックを行わないよう、設定を変更することも可能です。

A パワーオン・パスワードを3回間違えて入力すると、「Enter Onetime Password」または「System Disabled」と表示されWindowsが起動しません。
本機の電源ボタンを4秒以上押したままにして、電源ランプが消灯するか確認してください。
その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
パスワードを入力する際は、Num Lock（ナム・ロック）ランプや Caps Lock（キャプス・ロック）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

Q ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった

A 次の手順に従ってSafe（セーフ）モードで起動し、ドライバを再インストールしてください。

① 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF8キーを押す。
② 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、↑／Pg Upキーまたは↓／Pg Dnキーを押して［セーフモード］を選択し、Enterキーを押す。
③ Windowsが起動したら、（スタート）ボタン－［コントロールパネル］－［システムとメンテナンス］－［デバイスマネージャ］をクリックする。
④ 「デバイスマネージャ」画面で、インストールやアップデートをしたデバイスを選択し、右クリックすると表示されるリストの［プロパティ］をクリックしてプロパティ画面を表示し、［ドライバ］タブをクリックする。
⑤ ［ドライバを元に戻す］をクリックし、正常に起動していたときのドライバをインストールする。
⑥ 本機を通常の起動方法で再起動する。

Q Windowsが起動しない

A RAIDボリュームとRAIDを構成していないドライブ（ボリューム）がシステム内に混在するときは、起動しない場合があります。
このときは、以下の手順に従ってBoot Volumeの設定を変更してください。

① 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。
BIOSセットアップメニューが起動し、Main（メイン）メニュー画面が表示されます。

！ご注意
本機の状態によっては、F2キーを押したあと、ただちにBIOSセットアップメニューが起動しないことがあります。

② ハードディスクを追加した場合やBIOSの設定をリセットした場合に、起動の優先順位が変更されることがあります。 Bootメニュー内の［Hard Drive Order］で、下記のようにハードディスクまたはRAID Volumeが優先順で上から表示されます。

- RAID Volume : RAID Volumeの名前（初期設定では［Volume0］です）
- RAIDではないハードディスク : ハードディスクの型番

［Hard Drive Order］の項目で OSの入っているハードディスクまたはRAID Volumeが1番上にない場合、上になるように設定を変更してください。

Q スリープモードに移行できない

A Windows Media Centerの起動中は、タイマーでのスリープモードへの移行はできません。(アナログテレビチューナー搭載モデル)
録画中や予約録画開始数分前、DVD作成中、時刻修正機能が働いているときは、手動でもスリープモードには移行できません。

A StationTV Digital for VAIOの起動中は、タイマーでのスリープモードへの移行はできません。(デジタルテレビチューナー搭載モデル)
録画中や予約録画開始数分前、ディスク作成中は、手動でもスリープモードには移行できません。

パスワード

Q BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった

A パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q Windowsのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

Q Windowsパスワードを変更したい

A Windowsパスワードは「コントロールパネル」から変更することができます。
詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[セキュリティ]－[Windowsパスワードを設定する]をクリックする。)

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない

A 次の点をお確かめください。

- 本機とディスプレイの電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
  接続について詳しくは、「電源コードを接続する」(38ページ)をご覧ください。
- 本機とディスプレイを正しく接続してください。
  接続について詳しくは、「ディスプレイを接続する」(23ページ)をご覧ください。
- 本機とディスプレイの電源スイッチが入っているか確認してください。
- ディスプレイにACアダプタが付属しているモデルをお使いの場合は、ディスプレイに付属のACアダプタを接続しているか確認してください。付属のACアダプタ以外で接続していると、正常に画面が表示されないことがあります。
- 電源が入った状態でディスプレイケーブルのプラグを抜き差しした場合は、いったん本機の電源を切ってから、再起動してください。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A 画面の色数の設定が[最高(32ビット)]になっているか確認してください。
詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[画面／ディスプレイ]－[画面の解像度／色数を変更する]をクリックする。)

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。
(スタート)ボタン－ ボタン－[シャットダウン]をクリックして電源を切り、本機の電源ボタンを押して起動し直してください。

Q 画面が固まって動かない

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、[タスクマネージャの起動]をクリックする。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の (シャットダウン)ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると電源ランプが消灯します。電源ランプがオレンジ色に点灯した場合は、いったん手を離し、再び電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い

A ディスプレイの明るさを調節してください。
ディスプレイの種類によって、明るさ調節の方法が異なります。
詳しくは、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

Q 画像が乱れる

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離してください。

Q 画面に輝点・滅点(黒点)がある

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力/キーボード

Q 文字の入力方法がわからない

A 「バイオ電子マニュアル」画面左上の[目次]をクリックし、最も下に表示される[できる Windows for VAIO]内の「文字を入力しよう」をご覧ください。

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない

A キーボードが正しく接続されているか確認してください(26ページ)。

A 数字キーで数字が入力できない場合は、キーボードの「Num Lock」ランプが消灯していないかを確認してください。
消灯しているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。Num Lkキーを押して、ランプを点灯させてから数字を入力してください。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角|漢字キーで切り換えられます。

A 「Caps Lock」ランプが点灯していないか確認してください。
「Caps Lock」ランプが点灯していると、Shiftキーを押していないときでも大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押して、「Caps Lock」ランプが消えているのを確認してください。

マウス

Q マウスを動かしてもポインタが動かない

A キーボードとマウスが正しく接続されているか確認してください(26ページ)。

A 次の手順で本機の電源を入れ直してください。

① キーを押してスタートメニューを表示させ、→キーを押して ボタン－[シャットダウン]を選んでEnterキーを押す。
② 電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押す。

それでも電源が切れないまたは再起動しない場合は、次の手順で操作してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、↓キーや→キーを押して （シャットダウン）ボタンを選び、Enterキーを押す。

A CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどに、ポインタが動かなくなってしまった場合は、本機を再起動してください。
CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、CD-ROMなどのディスクを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動させてください。

A 「画面が固まって動かない」(135ページ)をご覧ください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります(116ページ)。

Q ハードディスクの内容を誤って消してしまった

A 削除したファイルが、「ごみ箱」の中に残っていないか確かめてください。
「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリする必要があります(116ページ)。

Q ハードディスクの空き容量を知りたい

A (スタート)ボタン－[コンピュータ]をクリックしてください。
「コンピュータ」画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクから異音がする

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。
これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システムツール]－[ディスクデフラグツール]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② [今すぐ最適化]をクリックする。
最適化(デフラグ)が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。
これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリ領域の容量を知りたい

A 次の手順で確認してください。

① (スタート)ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[管理]をクリックする。
「コンピュータの管理」画面が表示されます。

② [記憶域]の[ディスクの管理]をクリックする。
ディスク 0にリカバリ領域とC ドライブのサイズが表示されます。

ヒント
表示される数値は、1GBを10億バイトで計算した場合のものです。Windowsのシステムでは1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

CD ／ DVDドライブ

Q CD ／ DVDメディアの読み込み・再生ができない、ドライブがメディアを認識しない

A ご使用のディスクがバイオで使用可能なディスクか確認してください。
使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」(187ページ)をご覧ください。

A ディスクの挿入方法が正しいか確認してください。
ディスクの裏表を、逆にセットしていないか、またはレーベル面が見える向きでドライブにセットしたか確認してください。
ディスクの挿入方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[CD ／ DVD ／ BD]－[ディスクを入れる／取り出す]をクリックする。)

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A バイオでの動作を保証しているドライブかどうか確認してください。
バイオでの動作を保証しているドライブは、以下になります。

- お買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのVAIO専用ドライブ

インターネット

Q インターネットに接続できない

A プロバイダとの契約を確認してください。
インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります(79ページ)。

A 機器の接続や設定を確認してください。
契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とLANケーブルやテレホンコードの接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」(28ページ)をご覧ください。

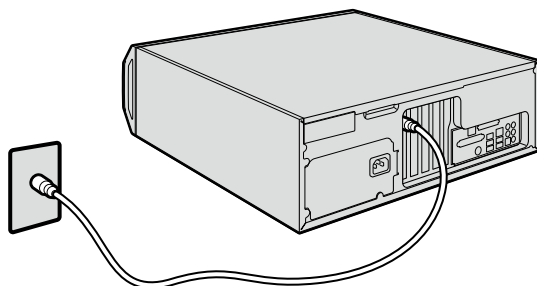
A 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[インターネット]で[インターネット接続]または[ホームページ／電子メール]をクリックする。)

Q ワイヤレスLANが使えない

A 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[パソコン本体]－[LAN ／ワイヤレスLAN]をクリックする。)

テレビ再生／録画（アナログテレビチューナー搭載モデル）

Q テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない

A アンテナ接続ケーブルが本機のVHF ／ UHF（アンテナ）コネクタと正しく接続されているか確認してください（32ページ）。

A ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認してください。
一般のテレビに接続して受信できるか、分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうかを確認してください。
アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをご使用ください。

A Windows Media Centerをはじめて使うときに行う設定で、チャンネル一覧が正しく取得できなかった可能性があります。
次の手順に従って設定を変更してください。

一部のチャンネルが映らない場合

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Windows Media Center］をクリックする。
「Windows Media Center」ソフトウェアが起動します。
② ［タスク］－［設定］－［テレビ］－［番組ガイド］－［チャンネルの編集］をクリックする。
③ ［番号の編集］を選択し、ご使用の地域と異なるチャンネル番号部分に受信できるチャンネルを入力する。
④ ［保存］をクリックする。

これでチャンネル番号の変更は完了です。

すべてのチャンネルが映らない場合

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Windows Media Center］をクリックする。
「Windows Media Center」ソフトウェアが起動します。
② ［タスク］－［設定］－［全般］－［Windows Media Center セットアップ］をクリックする。
③ ［テレビ信号の設定］を選択する。

もう1度、テレビ信号の設定をやり直してください。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A Windows Media Centerでテレビを見たりDVDを再生するときは、ディスプレイの色数を最高（32ビット）に設定してください。その他の設定では画像が正しく表示されない場合があります。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[画面／ディスプレイ]－[画面の解像度／色数を変更する]をクリックする。）

Q エラーメッセージが表示され、終了、スリープなどの操作ができない

A 録画中や予約録画開始数分前またはDVD作成中は、終了、スリープはできません。また、手動録画中やDVD作成中はログオフもできません。
録画終了後に再び操作してください。

Q 予約したのに録画されていない

A アンテナ接続ケーブルが本機のVHF ／ UHF（アンテナ）コネクタと正しく接続されているか確認してください。

A 本機の電源を切った状態では予約録画は実行されません。
スリープモードにして待機させてください。

Q 縞状のノイズが多い

A アンテナ接続ケーブルは、他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

A 分配していないか確認してください。
分配している場合は、別売りのアンテナブースターをお使いください。

デジタル放送（デジタルテレビチューナー搭載モデル）

Q デジタル放送を視聴したい

A 付属の「デジタル放送取扱説明書」をご覧ください。

外部機器からの録画

Q DV(デジタルビデオ)機器の映像を録画する方法がわからない

A 「Click to Disc」ソフトウェアを使ってハードディスクへ映像を取り込むことができます。また、DV機器の映像から直接DVDを作成することができます。

Q 外部機器から映像の録画を実行しても何も録画されない(アナログテレビチューナー搭載モデル)

A 本機に接続した機器が動作していない場合があります。
ビデオカメラレコーダーやビデオデッキから録画するときは、機器の電源が入っているか、機器と本機が正しく接続されているか確認してください。

A ゲーム機器などの映像は、表示や録画ができない場合があります。
本機と接続したビデオ機器から映像を入力している場合、一時停止したときの画像、映像が入力されていないときの画面(青い画面など)、本機に接続したビデオ機器が表示するメニュー画面などは表示や録画ができないことがあります。

Q HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう

A シーンの途中に録画の開始点、終了点がないことを確認してください。

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。
お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Q HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。
お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

FeliCaポート(FeliCa対応リーダー／ライター)

Q FeliCa機能が使えない

A FeliCaカード／携帯電話の位置を確認してください。

キーボードの (FeliCaプラットフォームマーク)に合わせて置いてください。

!ご注意

携帯電話の形状によっては、FeliCa通信できないことがあります。

A FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)などに不具合がある可能性があります。

「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

① 通知領域にある (オン)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オフ]を選択する。

② (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[FeliCaポート自己診断]をクリックする。

③ 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。

診断が開始され、結果が表示されます。

FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。

また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

A 通知領域のアイコンが (オン)になっているか確認してください。

(オン)になっていない場合は、(オフ)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オン]を選択ください。

または、(オフ)をクリックしてもオンにすることができます。

エラーメッセージ

電源投入時のエラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 132ページをご覧ください。

バイオ内の情報を調べる

「バイオ電子マニュアル」で検索する

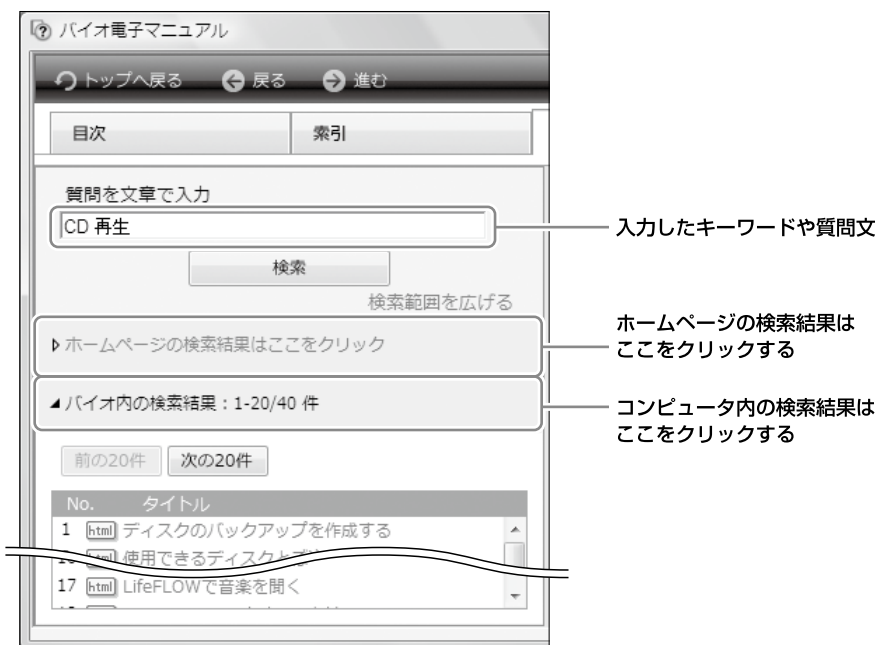
「バイオ電子マニュアル」を起動して、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。検索機能を使うと、「バイオ電子マニュアル」の情報だけでなく、付属ソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネット接続時はサポートホームページからも情報を検索できます。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 トップページまたは「キーワード検索」ページの検索窓に、調べたい内容をキーワード（単語）や質問文で入力し、[検索]をクリックする。

画面左側に検索結果が質問の内容に近い（類似度が高い）ものから順に表示されます。

「バイオ電子マニュアル」内の情報を検索する場合は、質問文を入力するとより適切な検索結果が表示されます。
また、入力欄に複数のキーワード（単語）をスペースを区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。

[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

バイオ電子マニュアルやヘルプのトピックは、画面右側に表示されます。
サポートホームページの内容は別画面で表示されます。

Windows ヘルプとサポートを見る

（スタート）ボタン－［ヘルプとサポート］をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、「バイオ電子マニュアル」の［ソフトウェアの使いかた］－［ソフト紹介／問い合わせ先］－［付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先］の表にあるソフトウェア名をクリックして表示される画面には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント
ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

サポートホームページで調べる

VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

本機をインターネットに接続してご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページでは、バイオに関するトラブル解決方法や活用方法、バイオを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供しています。定期的にご覧ください。

！ご注意
本マニュアルの「サービス・サポート」の内容は、2007年10月現在のものです。内容は随時更新されます。

各項目について、詳しくは147ページ～ 149ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには

（スタート）ボタンー[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入り）から[VAIOサポートページ]－[1 サポート（サービス・トラブル解決・使い方情報）]をクリックして表示します。

<調べる・トラブル解決>

バイオに関する疑問やトラブルを解決したい方はこちらをご利用ください。

製品別サポート情報、Q&A検索、バイオにつながる製品の接続情報、付属ソフトウェアのお問い合わせ先、OS（Windows）に関する情報など、お困りの問題を解決するさまざまな情報を提供しています。

❑ 製品別サポート情報（お客様のバイオの専用サポートページ）

バイオの製品ごとに専用ページを用意しています。
お客様のバイオに関する「お知らせ」「Q&A検索」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」など最新サポート情報を確認できます。

❑ Q&A検索

バイオに関するトラブル解決方法や操作・設定方法など、知りたい情報を以下の3つの方法で検索できます。

- よくある質問から探す
  カテゴリ別に分類されています。
- 症状やエラーメッセージから探す
  例）音が出ない、電源が切れない（症状）
  例）「変換に失敗しました」（エラーメッセージ）
- キーワードや文章を入力して検索する。

<学ぶ・楽しむ・使いかた>

バイオをより活用したり楽しみたい、使い方を知りたいという方はこちらをご利用ください。

バイオならではの活用方法や知っておきたいお役立ち情報など、バイオをさらに快適に楽しむための情報を提供しています。

❑ VAIOをもっと楽しもう！

テレビ、映像、写真、音楽など、ソニー製ソフトウェアを使ったバイオの楽しみかたを紹介しています。

❑ ソフトウェア活用ヒント集

知っておくと便利な活用方法を紹介しています。
例）CD-R活用ヒント集、DVD活用ヒント集、バックアップ講座、筆ぐるめ使い方講座、Word/Excel活用ヒント集、AdobePremiere活用ヒント集

＜修理／その他サービス＞

❑ 修理関連のご案内

故障かな？と思ったときの確認方法や修理依頼の手順、概算修理料金、修理進捗情報の確認など、修理関連の情報を提供しています。

❑ 各種有料サービスのご案内

バイオの設置・設定サービスや延長保証など、各種有料サービスをご案内しています。
有料サービスの内容について詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（159ページ）をご覧ください。

＜お問い合わせ＞

お電話やメールでのお問い合わせ方法、付属ソフトウェアのお問い合わせ先などをご紹介しています。
「VAIOコールバック予約サービス」（152ページ）や「VAIOリモートサービス」（152ページ）もこちらからご利用いただけます。

＜おすすめサポート情報＞

❑ 初心者コーナー

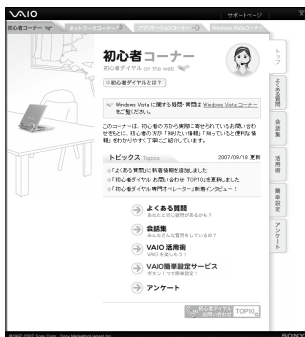
初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が知りたい情報をイラストなどを交えて分かりやすい言葉でご紹介しています。

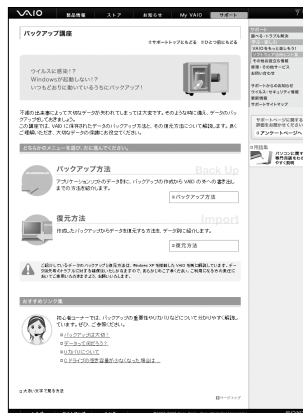
❑ Windows Vistaコーナー

Windows Vistaの基本操作や設定方法、便利な活用方法などをQ&Aや活用集、動画などで分かりやすくご紹介しています。

❑ バックアップ講座

VAIOに保存されたデータのバックアップ方法と、その復元方法について解説しています。大切なデータの保護にお役立てください。

初心者コーナー

Windows Vistaコーナー

バックアップ講座

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用VAIOサポートサイト）

携帯電話向けのVAIOサポートサイトで最新のサポート情報を提供しています。特にウイルス情報などを調べたいときや、バイオの修理状況を確認したいときなどに便利です。

！ご注意

- 修理状況の確認は、VAIOカスタマーリンクへ直接修理を依頼された場合にのみご利用いただけます。
- 対応端末は、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイです。

❑ メニュー

- お知らせ
  - 重要なお知らせ
  - What's New!
  - ウイルス・ワーム情報
  - マイクロソフト・セキュリティ情報
- Q&A
  - 新着Q&A
  - よくある質問
  - 初心者コーナー
  - Q&A・用語集検索
- サポート系コンテンツ
  - VAIOの修理について
  - 修理お預かり情報（修理状況、見積情報、出荷情報）
  - VAIO Hot Street モバイル
- お楽しみコンテンツ
  - お楽しみリンク集

❑ アクセス方法

- URLからアクセス
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
- QRコードからアクセス

（バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

VAIO Hot Street（VAIOユーザの情報交換サイト）

VAIO Hot Streetは、バイオをお持ちのお客様同士で、よりバイオを活用するための情報を交換できるサイトです。皆に教えてあげたい情報を投稿したり、わからないことを質問したり、質問に回答したりすることができます。
見たい投稿を閲覧するだけのご利用も可能です。

！ご注意

- 閲覧以外のご利用には、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
- 投稿内容に関して、ソニーは一切保証いたしません。

投稿を見る
VAIOの製品型名やキーワードなど、お好きな方法で投稿を簡単に探せます。

投稿・質問する
質問や投稿はこちらからお気軽に。

人気投稿ランキング

電話で問い合わせる

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410（通話料お客様負担）
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：月曜～金曜日　10時 ～ 18時
（祝日、年末年始を除く）

！ご注意
バイオの使い方のお問い合わせや修理の受付については、「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問を電話で承っております。

お問い合わせの前にご確認ください

❑ お試しください
「バイオ電子マニュアル」やVAIOカスタマーリンクホームページで、バイオの操作やトラブルの解決方法をご確認ください。
詳しくは、「バイオ内の情報を調べる」（144ページ）、「サポートホームページで調べる」（146ページ）をご覧ください。

❑ 付属ソフトウェアのお問い合わせについて
付属のソフトウェアに関するお問い合わせは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（161ページ）をご覧ください。
それ以外のソフトウェアについては、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

❑ 発信者番号通知について
発信者番号通知にて、カスタマー登録の際に登録した電話番号でお電話していただくと、よりスムーズに担当者につながります。

❑ 以下の内容をご用意ください（② ～ ④は該当する場合のみ）
① 本機の型名（保証書または「各部の説明」のIDラベルに記載されています。）
② 本機に接続してる周辺機器名（メーカー名と型名）
③ エラーメッセージが表示された場合は、表示されたエラーメッセージ
④ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

❑ お問い合わせやご意見、個人情報の取扱いについて
お問い合わせ内容や商品に関するご意見は、商品開発およびサービス・サポート向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問などに適切に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク
電話番号：(0120) 60-3399 (フリーダイヤル)

※ 携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466) 30-3000(通話料お客様負担)

受付時間 **平日：9時～ 18時**
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
(365日年中無休)
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していただくと、「VAIOコールバック予約サービス」(152ページ)が24時間ご利用いただけます。

!ご注意

- 電話番号や営業時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

ヒント

音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。

お問い合わせの際にご利用ください

- VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況
- VAIOコールバック予約サービス
- VAIOリモートサービス

各項目の詳しくは、以降をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。

❑ アクセス方法(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「技術的なお問い合わせ」をクリック → 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」をクリック

VAIOコールバック予約サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html

ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただくと、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク(コールセンター)からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

予約受付：VAIOカスタマーリンクホームページからいつでもご予約可能

回答時間：365日24時間

❑ アクセス方法(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOコールバック予約サービス」をクリック

!ご注意

- 本サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
- 本サービスは、バイオ本体やバイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせにご利用いただけます。

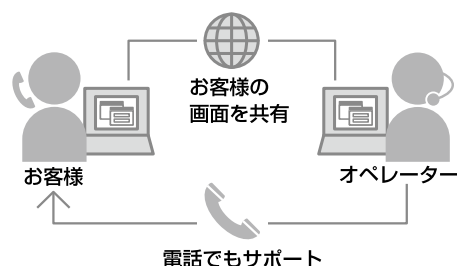
ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」(146ページ)をご覧ください。

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容を確認したり、使いかたなどをご案内するサービスです。

難しいパソコン用語は不要なので、「電話の説明だけではわかりにくい」「自分の状況をうまく説明できない」という方は、ぜひお試しください。

!ご注意

- 本サービスは、事前に「VAIOコールバック予約サービス」からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合があります。

❑ アクセス方法(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOリモートサービス」をクリック

ヒント

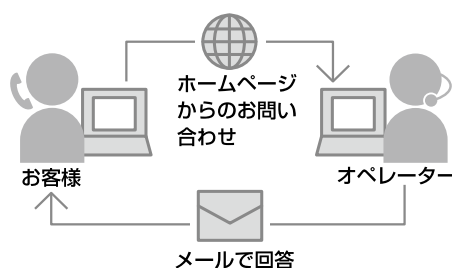
VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」(146ページ)をご覧ください。

メールで問い合わせる／FAXで取り寄せる

メールで問い合わせる（テクニカルWEBサポート）

（http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html）

「テクニカルWEBサポート」は、バイオに関する使いかたなどの技術的な質問をホームページ内の質問フォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです。

ヒント
本サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「メールで相談する」をクリック

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」（146ページ）をご覧ください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な[VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。
なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス
FAX番号：(0466)30-3040

！ご注意
一部の機種では提供されません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、「バイオ電子マニュアル」や「VAIOカスタマーリンクホームページ」などで、お使いのバイオの症状に合うものがないかご確認ください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作で直ることがあります。
詳しくは、「バイオ内の情報を調べる」（144ページ）、「サポートホームページで調べる」（146ページ）をご覧ください。

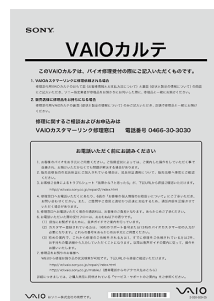
ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページの「故障かな？と思ったら」（http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/mistake.html）でも故障と間違いやすい症状や解決方法などについてご案内しています。修理を依頼する前にご確認ください。

修理の流れ

修理を申し込む前の準備

❑ 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。「VAIOカルテ」を紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/precall.html）またはFAX情報サービス（153ページ）より入手できます。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

ヒント
弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証に加入されている場合は、そちらの保証内容も確認されることをおすすめします。

❑ ご注意ください

- 修理時の代替機は用意しておりません。
- 保証期間中でも有料になる場合があります。詳しくは保証書の「無料修理規定」をご覧ください。
- ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になります。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは「VAIOカルテ」をご覧ください。
- 修理のために交換した故障部品はお客様への返却をしておりませんので、あらかじめご了承ください。
- お買い求めいただいたバイオの保証規定は日本国内のみ有効です。
  海外修理サービスとして「VAIO Overseas Service」をご用意しています。詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（159ページ）をご覧ください。

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページで修理規約についてご説明しています。ご確認ください。

❑ データのバックアップをおとりください

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりください。
弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとる方法は、「バックアップについて」(104ページ)をご覧ください。

!ご注意

OSが起動しないなど、バックアップができない場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

❑ 概算修理料金について

ホームページで、製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。修理に出される前などにお役立てください。
VAIOカスタマーリンクホームページ「概算修理料金」
http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/

❑ その他

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合があります。ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。

修理を申し込む

① 修理窓口に電話をかける

「VAIOカスタマーリンク修理窓口」
電話番号：(0120) 60-5599(フリーダイヤル)

※ 携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は (0466) 30-3030(通話料お客様負担)

受付時間： 平日：9時～ 20時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
(365日年中無休)
※ 年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

!ご注意

電話番号や営業時間は変更になる場合があります。

ヒント

- 音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。
- 通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。(一部機種・地域を除く。2007年10月現在)

② 修理の受付

故障症状を確認し、修理が必要な場合、修理品のお引取り手配をいたします。
- オペレーターがお伝えする修理受付番号をお手持ちのVAIOカルテにご記入ください。
- 修理品のお引取り時間を翌日以降で以下の4つの時間帯よりお選びください。
  ① 9時～ 12時／ ② 12時～ 15時／ ③ 15時～ 18時／ ④ 18時～ 20時(④は平日のみ)

!ご注意

- 上記は2007年10月現在で選択可能な時間帯です。
- 一部機種、一部地域では、ご利用できない時間帯があります。
- ご希望の日時、引取り場所などを調整させていただく場合があります。

お引取り

① お引取りまでの準備

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ
- 保証書(保証期間中のみご用意ください。)
- 必要な付属品類

② お引取り

ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へ引き取りに伺います。

ヒント

- 修理品のお引取り、梱包材の用意や梱包作業は、ソニー指定の配送業者が無料で行います。
- 修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。
- VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様には、ホームページおよび携帯電話向けサポートサイトで修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。
  詳細については「修理/お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」(156ページ)をご覧ください。

お届け/お支払い(有料の場合のみ)

① お届け

修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けします。

!ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行ってください。

② お支払い(有料のみ)

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望された方は、お届けした際に配送業者に修理費用をお支払いください。

「修理/お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

ホームページおよび携帯電話向けサポートサイトでは、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様に、修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。

!ご注意

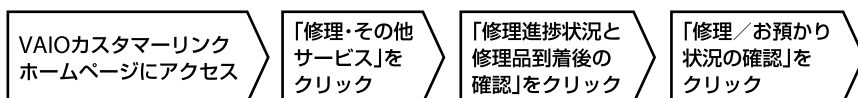
- 販売店経由で点検や修理依頼された場合は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

VAIOカスタマーリンクホームページで確認する

修理の進み具合に応じて、「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をVAIOカスタマーリンクホームページ「修理/お預かり品状況確認」でご案内しています。

❑ アクセス方法

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「修理・その他サービス」をクリック → 「修理進捗状況と修理品到着後の確認」をクリック → 「修理/お預かり状況の確認」をクリック

ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページへのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」(146ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話向けサポートサイト）で確認する

修理品の進捗状況（7段階）および修理完了予定日のご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、お客様への問い合わせ連絡、見積時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをVAIOカスタマーリンクモバイル「修理お預かり情報」でご提供しています。

!ご注意

見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでの携帯メールアドレスのご登録が必要です。

❑ アクセス方法

① VAIOカスタマーリンク モバイルにアクセスする。
　アクセス方法は、「VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用VAIOサポートサイト）」（149ページ）をご覧ください。

② 「サポート系コンテンツ」から「修理お預かり情報」を選択。

③ 「ログイン」を選択し、修理受付番号と電話番号を入力。

ヒント

ログインでは、修理受付の際にお伝えした修理受付番号（10桁）と、お伺いした「ご連絡先電話番号」を入力します。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」（154ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

その他のサービスとサポート

バイオオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、マイブックマークやカレンダー＆メモなど、毎日便利にご利用いただける機能が満載です。ぜひご活用ください。
また、ログインボタンからMy Sony IDを使ってログインすると、お客様の登録製品情報やソニーポイント残高などが表示されます。

（2007年10月現在）

❑ My VAIO Pass

VAIOカスタマー登録（56ページ）をしていただいたお客様に無料で提供するサービスです。
お得な優待メニューなどの情報提供や、対象サービスご利用によるソニーポイントのプレゼント（5 ～ 10%）など、さまざまな特典を受けることができます。

❑ My VAIO Passプレミアム（有償）

My VAIO Passよりもさらにソニーポイントのプレゼントがアップするなど、よりお得な優待メニューをご用意しています。

* 「ソニーポイント」とは、ソニーグループの商品・サービスの購入や利用に使える共通のポイントシステムです。

各種有料サービスのご案内

お客様のスキルや目的、状況に合わせた各種有料サービスメニューが用意されています。
各種サービスはバイオオーナー向けサイトMy VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）からご覧ください（一部サービスを除く）。

！ご注意
2007年10月現在の情報になります。

❑ VAIO延長保証サービス

http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

ベーシック
1年間のメーカー保証を3年間に延長します。

ワイド
ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や火災・水災等の事故についてもご購入から3年間無料修理します。

！ご注意
- ご購入にはカスタマー登録が必要です。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保証に加入済みのため、サービス対象外です。

❑ VAIO Overseas Service（海外修理サービス）

http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/
海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のノートブック型バイオの現地修理を行います。
また、その際お電話でのサポートも行います。

！ご注意
- 一部の機種はサービス対象外です。ご了承ください。
- ご購入にはカスタマー登録が必要です。

❑ VAIO設置設定サービス

http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/
スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。
各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

デジホームサポートデスク
電話番号　：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
電話番号　：（03）5789-3474（PHS・IP電話）
受付時間　10：00 ～ 18：00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/

「Norton Internet Security online」

ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策ソフトウェアです。

「Norton AntiVirus online」

インターネットや電子メールから不正進入してくるウイルスやワームを自動的にチェックし駆除するウイルス対策ソフトウェアです。

❑ VAIOメール

http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/

バイオをお持ちの方に「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスを提供します。

プロバイダを変更しても、同じメールアドレスを使えます。Webメールやデータ保管などの機能も使用できます。

❑ VAIOソフトウェアセレクション

http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/

VAIOカスタマー登録をしていただいたお客様へのソフトウェアのダウンロード販売サイトです。

バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。

❑ セミナー・個人レッスン

http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

セミナー

バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。

個人レッスン

バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。

お申し込み、講座内容や料金等詳細については、ホームページをご覧ください。

❑ 部品の販売について

http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/

バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。

購入可能な部品例

キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。

ご注文方法

- ソニーサービスステーション(SS)でのご注文(SS窓口で受け取りの場合お支払いは部品代のみ。)
- ホームページより部品をご注文(対象機種のみ)(部品代+送料・代引き手数料1,155円(税込))

!ご注意

ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。

❑ VAIOカスタマイズサービス

http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

バイオ本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスです。

1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。

メモリやハードディスクのアップグレード、キーボードの交換などのメニューをご用意しています。(対象機種のみ)

❑ アップデートCD-ROM 送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/

ネットワーク経由でのアップデートが困難なお客様に、お使いの機種に応じたアップデートCD-ROMを有料で送付するサービスです。

❑ 訪問修理サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。(対象は一部機種を除いたデスクトップ型バイオのみ)

ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。

技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。

サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前にホームページをご確認ください。

❑ VAIOクリニック(点検サービス)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/clinic/

ソニー品質基準に基づいた各種点検に加え、普段手入れのできない内部のお掃除やキーボード交換など、お客さまのVAIOを専門のスタッフが1台1台丁寧にクリニックします。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

ヒント
本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。付属のソフトウェアを確認するには、付属の「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧になるか、または(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]にポインタをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

1 **(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。**

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 **「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]ー[ソフト紹介／問い合わせ先]ー[付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先]をクリックし、表示されたソフトウェア名をクリックする。**

!ご注意
- Windows Vistaは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

OS

❑ Windows Vista(R) Ultimate

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Vista(R) Business

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Vista(R) Home Premium

VAIOカスタマーリンク

AVエンターテインメント

❑ Windows(R) Media Center

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Media(R) Player

VAIOカスタマーリンク

❑ WinDVD for VAIO

VAIOカスタマーリンク

❑ WinDVD BD for VAIO

VAIOカスタマーリンク

テレビ

❑ VAIO Video Explorer

VAIOカスタマーリンク

❑ Emotional Player

VAIOカスタマーリンク

❑ StationTV Digital for VAIO

VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集

❑ VAIO Movie Story

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Content Exporter

VAIOカスタマーリンク

❑ Image Converter 3

VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Premiere(R) Pro

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）
または（03）5304-2400
アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。
操作方法やその他に関するお問い合わせ：
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
（無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。）
※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。
サポート対象製品はホームページをご確認ください。
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

❑ Adobe(R) Premiere(R) Elements(R)

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）
または（03）5304-2400
アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。
操作方法やその他に関するお問い合わせ：
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
（無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。）
※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。
サポート対象製品はホームページをご確認ください。
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

❑ TMPGEnc MPEG Editor for VAIO

株式会社ペガシス　サポートセンター
電話番号：（03）5624-2161
受付時間：月曜～金曜：10時～ 13時、14時～ 18時
（土曜、日曜、祝日、株式会社ペガシス指定休日を除く）
ホームページ：http://www.pegasys-inc.com/
※製品のサポート情報の閲覧や電子メールでの問い合わせも、こちらからご利用になれます。

❑ TMPGEnc XPress for VAIO

株式会社ペガシス　サポートセンター
電話番号：（03）5624-2161
受付時間：月曜～金曜：10時～ 13時、14時～ 18時
（土曜、日曜、祝日、株式会社ペガシス指定休日を除く）
ホームページ：http://www.pegasys-inc.com/
※製品のサポート情報の閲覧や電子メールでの問い合わせも、こちらからご利用になれます。

❑ DigiOnSound(R) L.E. for VAIO（HDV対応版）

株式会社デジオン
電子メール：下記のURLのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：
https://www.digion.com/support/dgon_oemsupport_form.htm
※E-mailでのサポートサービスのご提供となります。

❑ DigiOnSound(R) for VAIO（HDV対応版）

株式会社デジオン
電子メール：下記のURLのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：
https://www.digion.com/support/dgon_oemsupport_form.htm
※E-mailでのサポートサービスのご提供となります。

DVD ／ BD作成

❑ TMPGEnc DVD Author for VAIO

株式会社ペガシス　サポートセンター
電話番号：（03）5624-2161
受付時間：月曜～金曜：10時～ 13時、14時～ 18時
（土曜、日曜、祝日、株式会社ペガシス指定休日を除く）
ホームページ：http://www.pegasys-inc.com/
※製品のサポート情報の閲覧や電子メールでの問い合わせも、こちらからご利用になれます。

❑ Adobe(R) Encore(R)

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）
または（03）5304-2400
アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。
操作方法やその他に関するお問い合わせ：
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
（無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。）
※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。
サポート対象製品はホームページをご確認ください。
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

❑ Click to Disc

VAIOカスタマーリンク

❑ Click to Disc Editor

VAIOカスタマーリンク

❑ Roxio Easy Media Creator

ロキシオ・サポートセンター
電話番号：（03）5441-7460
受付時間：10時～ 12時、13時～ 17時
（土曜、日曜、祝日、年末年始等を除く）
電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：http://www.roxio.jp/support/

音楽

❑ SonicStage CP

VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Mastering Studio

VAIOカスタマーリンク

❑ DSD Direct Player

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO MusicBox

VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

❑ Windows(R) フォトギャラリー

VAIOカスタマーリンク

❑ Picasa(TM)

ホームページ：
http://picasa.google.com/support/

❑ Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R)

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）
または（03）5304-2400
アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。
操作方法やその他に関するお問い合わせ：
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
（無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。）
※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。
サポート対象製品はホームページをご確認ください。
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

❑ Adobe(R) Photoshop(R) Lightroom(R)

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）
または（03）5304-2400
アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。
操作方法やその他に関するお問い合わせ：
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
（無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。）
※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。
サポート対象製品はホームページをご確認ください。
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

ホームネットワーク

❑ VAIO Media

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Media Integrated Server

VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ Skype

http://www.skype.com/intl/ja/

インターネット・メール

❑ Windows(R) メール

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows(R) Internet Explorer

VAIOカスタマーリンク

❑ Yahoo!ツールバー

ヤフー株式会社　Yahoo!ツールバーカスタマーサービス
電子メール：
https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
※上記ホームページから送信いただけます。
ホームページ：http://www.yahoo.co.jp/
http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/index.html
（Yahoo!ツールバーヘルプページ）

セキュリティー

❑ Norton Internet Security(TM)

ソニーユーザ様向けサービスページです。
Norton Internet Securityに関するお問い合わせはこちらから！
http://www.symss.jp/jpo-sony-reg/

❑ Spy Sweeper

電話番号：（0570）055250
受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 19時
（土曜、日曜、祝日、年末年始休業（12/29 ～翌1/3）、夏期休業3日を除く）
電子メール：JPcustomer@webroot.com
ホームページ：http://www.webroot.co.jp/

❑ マカフィー・サイトアドバイザ プラス 30日期間限定版

マカフィー株式会社
電話番号：
マカフィー・テクニカルサポートセンター
（サイトアドバイザプラスに関する技術的な問い合わせ）
（0570）060-033（ナビダイヤル）
（03）5428-2279（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（サイトアドバイザプラスに関するユーザ登録や登録情報変更などの製品以外に関するお問い合わせ）
（0570）030-088（ナビダイヤル）
（03）5428-1792（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）
マカフィー・インフォメーションセンター
（サイトアドバイザプラスでのサイト評価に関する問い合わせ）
（0570）010-220（ナビダイヤル）
（03）5428-1899（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）

受付時間：
マカフィー・テクニカルサポートセンター
9時～ 21時（年中無休）
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
月曜～金曜：9時～ 17時（年末年始、祝日を除く）
マカフィー・インフォメーションセンター
月曜～金曜： 9時～ 17時（年末年始、祝日を除く）
電子メール：
以下のWebフォームをご利用ください。
マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp
マカフィー・インフォメーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp
ホームページ：
サイトアドバイザプラスのFAQ
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/SA/
マカフィー・テクニカルサポートセンターではチャットによるサポートもご提供しています。
チャット：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp

ISPサインアップ

❑ So-net（ソネット）サービス紹介

ソネットエンタテインメント株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号：
（一般固定電話から）（0570）00-1414
（携帯PHS・IP電話から） 札幌（011）711-3765
（携帯PHS・IP電話から） 仙台（022）256-2221
（携帯PHS・IP電話から） 東京（03）3513-6200
（携帯PHS・IP電話から） 名古屋（052）819-1300
（携帯PHS・IP電話から） 大阪（06）6577-4000
（携帯PHS・IP電話から） 広島（082）286-1286
（携帯PHS・IP電話から） 福岡（092）624-3910
※お客さまのご要望に正確かつ迅速に対応するため、通話内容を録音させていただいております。対応終了後、消去いたします。
ファックス番号：（03）5228-1586
受付時間：9時～ 21時（年中無休）
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/support/

❑ BIGLOBE（ビッグローブ）で光ブロードバンド

BIGLOBEカスタマーサポート　インフォメーションデスク
電話番号：（0120）86-0962（通話料無料）
（03）3947-0962（携帯電話、PHS、CATV電話の場合）
受付時間：9時～ 21時（365日受付）
ホームページ：https://my.sso.biglobe.ne.jp/support/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft（マイクロソフト）(R) Office（オフィス） Personal（パーソナル） 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Professional 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京(03) 5354-4500 ／大阪(06) 6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント(4件のご質問)までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、
土曜：10時～ 17時
(マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く)
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、
土曜、日曜：10時～ 17時
(マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く)

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional 2007プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京(03) 5354-4500 ／大阪(06) 6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
Office Personal 2007は4インシデント(4件のご質問)、Office PowerPoint 2007は2インシデント(2件のご質問)までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、
土曜：10時～ 17時
(マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く)
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、
土曜、日曜：10時～ 17時
(マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く)

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007およびOffice PowerPoint 2007関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

実用ツール

❑ ATOK for Windows

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：平日：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ 乗換案内

乗換案内ユーザーサポート
電話番号：(03) 5369-4055
受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 17時
(年末年始、祝日を除く)
ファックス番号：(03) 5369-4064
電子メール：norikae@jorudan.co.jp
ホームページ：http://norikae.jorudan.co.jp/

❑ デジタル全国地図

ゼンリンお客様相談室
電子メール：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ：http://www.zmap.net/

❑ Adobe(R) Reader(R)

Adobe Reader(無償配布ソフトウェア)に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
ホームページ：http://www.adobe.com/jp/support/

❑ ebi.BookReader（イービーアイ ブックリーダ）

株式会社イーブック イニシアティブ ジャパン
電子メール：support@ebookjapan.co.jp
ホームページ：
http://www.ebookjapan.jp/shop/support/index.asp

FeliCa（フェリカ）

❑ かざそうFeliCa（フェリカ）

VAIOカスタマーリンク

❑ Edy Viewer（エディ ビューワー）

Edy救急ダイヤル
電話番号：（0570）081-999（ナビダイヤル）
（03）6420-5699
受付時間：平日：9時30分～ 19時
土曜、日曜、祝日：10時～ 18時
（1/1 ～ 1/3と毎年2月第1日曜日を除く）
ホームページ：http://www.edy.jp/

❑ SFCard Viewer 2（エスエフカード ビューア）

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ スクリーンセーバーロック2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かんたん登録 2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かざしてログオン

VAIOカスタマーリンク

❑ かざポン for VAIO（フォー バイオ）

VAIOカスタマーリンク

❑ パーソナルシェルター

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ NFRMPCViewer

NFRM公式Webサイト
http://sony.nfrm.jp/

❑ FeliCaブラウザエクステンション

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

設定・ユーティリティ

❑ バイオの設定

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO ランチャー

VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ VAIOナビ

VAIOカスタマーリンク

❑ バイオ電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows Vista for VAIO

インプレスカスタマーセンター
電話番号：（03）5213-9295

❑ VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Update

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO リカバリセンター

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データリストアツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データレスキューツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データ消去ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO オンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社　カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

各部の説明

本体前面

メインユニット

1 **IDラベル**

型名が記載されています。

2 **(ディスク)アクセスランプ**

ハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

3 **電源ボタン(39ページ)**

本機の電源を入れるときに押します。本機の動作中にこのボタンを押すと、スリープモードに入ります(お買い上げ時の設定)。

!ご注意

4秒以上押し続けると、電源が強制的に切れます。

4 **電源ランプ(39ページ)**

本機の電源が入っている間は、緑色に点灯します。スリープモード時には、オレンジ色に点灯します。

5 **i.LINK S400コネクタ(4ピン)**

i.LINK対応機器をつなぎます。

!ご注意

デジタルハイビジョン機器をつなぐことはできません。

6 **USBコネクタ(30ページ)**

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

7 **VIDEO 2 INPUT(音声映像入力2)コネクタ(アナログテレビチューナー搭載モデル)**

ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。

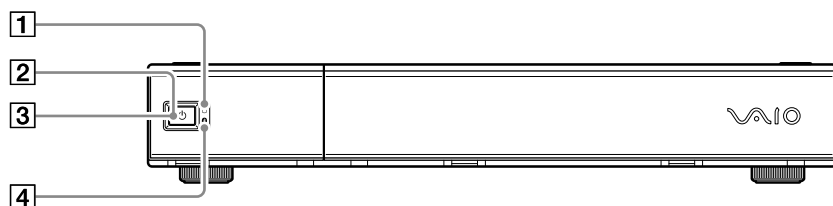
- **S VIDEO(S映像入力)：**
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどのS映像出力コネクタとつなぎます。
- **VIDEO(映像入力)：**
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの映像出力コネクタとつなぎます。
- **L/R(音声入力)：**
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの音声出力コネクタとつなぎます。

8 **前面パネル**

ハードディスクを増設する際(91ページ)に取りはずします。

!ご注意

前面パネルを取りはずす場合は、ツメの部分が折れることがあるので充分注意してください。

アクセスユニット(アクセスユニット付属モデル)

1 (ディスク)アクセスランプ

ハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

2 電源ボタン(39ページ)

本機の電源を入れるときに押します。本機の動作中にこのボタンを押すと、スリープモードに入ります(お買い上げ時の設定)。

!ご注意

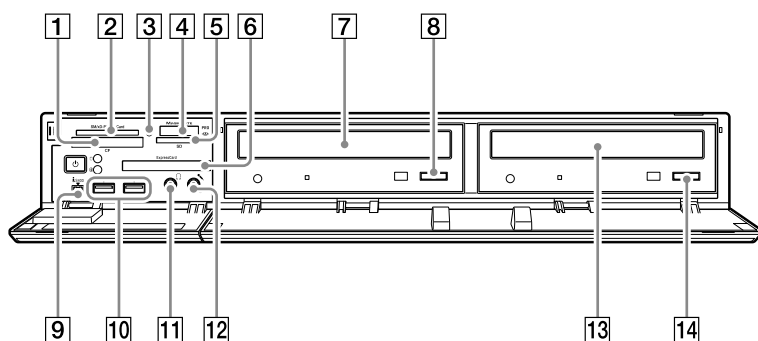
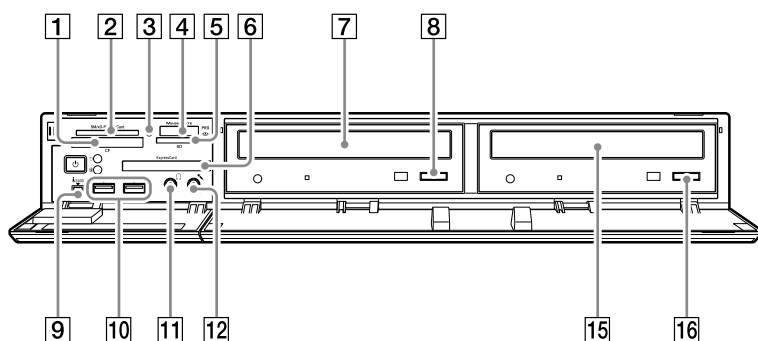
4秒以上押し続けると、電源が強制的に切れます。

3 電源ランプ(39ページ)

本機の電源が入っている間は、緑色に点灯します。スリープモード時には、オレンジ色に点灯します。

4 Bluetoothランプ

Bluetooth対応機器が使える状態のとき、青色に点灯します。

❑ 前面パネルを開けたとき(ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)モデルをお使いの場合)

❑ 前面パネルを開けたとき(ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)モデルをお使いでない場合)

1 CF(コンパクトフラッシュ)スロット

コンパクトフラッシュのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

2 SM/xD-Picture Card(スマートメディア/ xD-ピクチャーカード)スロット

xD-ピクチャーカードやスマートメディアのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

!ご注意

xD-ピクチャーカードやスマートメディアの端子部には、直接手や金属で触れないようにしてください。端子部が露出した形状となっており、端子部が汚れていると本機で認識されない場合があります。

3 メモリーカードアクセスランプ

"メモリースティック"やxD-ピクチャーカード、スマートメディア、コンパクトフラッシュ、SDメモリーカードのデータを読み出したり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

!ご注意

データ読み出し中やデータ書き込み中に"メモリースティック"やxD-ピクチャーカード、スマートメディア、コンパクトフラッシュ、SDメモリーカードを取り出さないでください。

4 メモリースティックスロット

"メモリースティック"のデータを読み込んだり、書き込んだりします。

ヒント

本機のメモリースティックスロットは、メモリースティック デュオ アダプターを使用せずに"メモリースティック デュオ"をそのまま使えます。

5 SD(SDメモリーカード)スロット

SDメモリーカードのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

6 Universal ExpressCard(エクスプレスカード)スロット

ExpressCardを取り付けます。
本機は34mmおよび54mmサイズのExpressCardモジュールに対応しています。

7 ディスクドライブまたは拡張デバイスベイ(96ページ)

- DVDスーパーマルチドライブ：
  CDやDVDのデータを読み込みます(187ページ)。
  以降、ドライブと略します。
- 拡張デバイスベイ：
  IDEデバイスを増設するときに使用します。

8 イジェクトボタン

ディスクドライブのトレイを引き出すときに押します。

9 i.LINK S400コネクタ(4ピン)

i.LINK対応機器をつなぎます。

!ご注意

デジタルハイビジョン機器をつなぐことはできません。

10 USBコネクタ(30ページ)

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

11 (ヘッドホン出力)コネクタ

ヘッドホンやオーディオ機器をつなぎます。

12 (マイク入力)コネクタ

マイクをつなぎます(ステレオ対応)。

13 ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)

Blu-ray DiscやCD、DVDのデータを読み込んだり、書き込んだりします(187ページ)。
以降、ブルーレイディスクドライブまたはドライブと略します。

14 イジェクトボタン

ブルーレイディスクドライブのトレイを引き出すときに押します。

15 DVDスーパーマルチドライブ

CDやDVDのデータを読み込んだり、書き込んだりします(187ページ)。
以降、DVDスーパーマルチドライブまたはドライブと略します。

16 イジェクトボタン

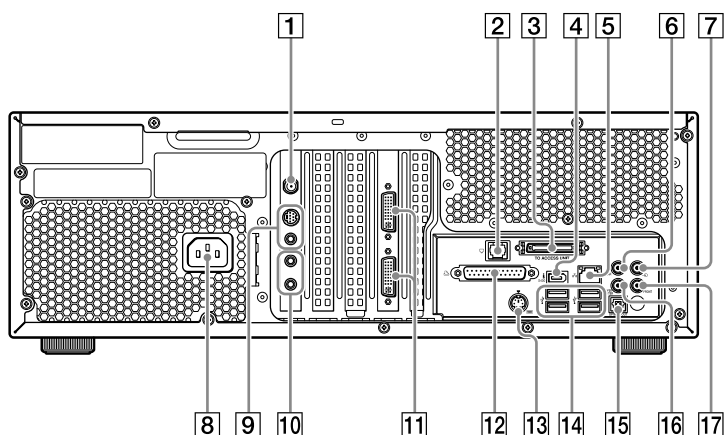
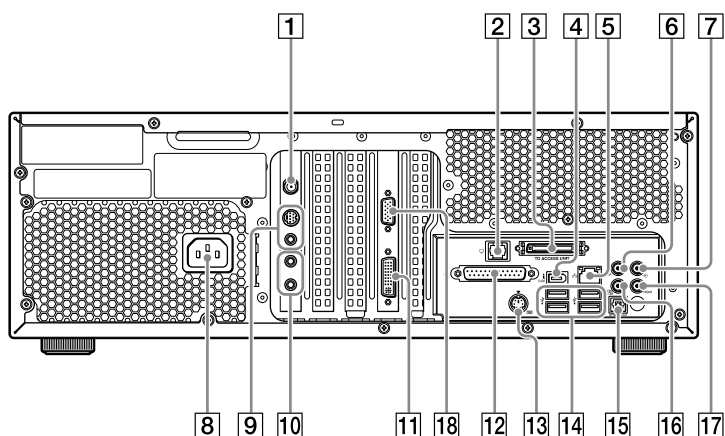
DVDスーパーマルチドライブのトレイを引き出すときに押します。

本体後面

メインユニット

!ご注意

- 各PCIスロットに搭載されているコネクタの位置は、お買い上げの製品によって異なる場合があります。
- PCIスロットに搭載されているデバイスは、お買い上げの製品によって異なる場合があります。

❑ NVIDIA(R) GeForce(R) 8600 GTSグラフィックアクセラレータモデルおよびQuadroグラフィックアクセラレータモデル

❑ NVIDIA(R) GeForce(R) 8500 GTグラフィックアクセラレータモデル

1 **VHF ／ UHF（アンテナ）コネクタ（アナログテレビチューナー搭載モデル）（32ページ）**
アンテナをつなぎます。

2 **LINE（電話回線）ジャック（28ページ）**
壁の電話回線とつなぎます。

3 **アクセスユニット接続用コネクタ（37ページ）**
メインユニット-アクセスユニット接続ケーブルでアクセスユニットと接続します。

!ご注意

アクセスユニットが付属しないモデルでは、何もつながないでください。アクセスユニットを接続しても動作しません。

4 **i.LINK S400コネクタ（6ピン）**
i.LINK対応機器をつなぎます。

!ご注意

デジタルハイビジョン機器をつなぐことはできません。

5 LANコネクタ(28ページ)

ネットワーク(LAN)とつなぎます。

!ご注意

LANコネクタには指定以外のネットワーク(LAN)ケーブルや電話回線を接続しないでください。お買い上げ時にはLANコネクタ上に誤って接続しないようにシールが貼られています。LANコネクタを使うときは、シールをはがしてから接続してください。

6 REAR(リア)コネクタ

サラウンドスピーカーとつなぎます。

7 (ライン入力)コネクタ

オーディオ機器の出力コネクタとつなぎます。

8 AC INPUT(AC電源入力)プラグ(38ページ)

付属の電源コードをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

9 VIDEO1 INPUT(映像入力1)コネクタ(アナログテレビチューナー搭載モデル)

- S VIDEO(S映像入力):
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどのS映像出力コネクタとつなぎます。
- VIDEO(映像入力):
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの映像出力コネクタとつなぎます。

10 AUDIO INPUT(音声入力)コネクタ(アナログテレビチューナー搭載モデル)

ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの音声出力コネクタとつなぎます。

11 DVI-I(ディーブイアイ アイ)コネクタ(23ページ)

ディスプレイをつなぎます。

!ご注意

- Quadroグラフィックアクセラレータモデルの場合
  DVI-IコネクタはHDCP規格に対応しておりません。
- NVIDIA(R) GeForce(R) 8600 GTSグラフィックアクセラレータモデルの場合
  DVI-IコネクタはHDCP規格に対応しております。
- NVIDIA(R) GeForce(R) 8500 GTグラフィックアクセラレータモデルの場合
  DVI-IコネクタはHDCP規格に対応しております。

12 PRINTER(プリンタ)コネクタ

別売りのプリンタやスキャナなどをつなぎます。

13 KEYBOARD(キーボード)コネクタ

別売りのPS/2キーボードをつなぎます。

14 USBコネクタ(30ページ)

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

15 OPTICAL OUT(光デジタル出力)コネクタ

AVアンプなどのデジタル機器につなぎます。
本機で再生する音楽CDなどの音声を、つないだデジタル機器に出力するときに使います。

16 WOOFER/CENTER(ウーファー/センター)コネクタ

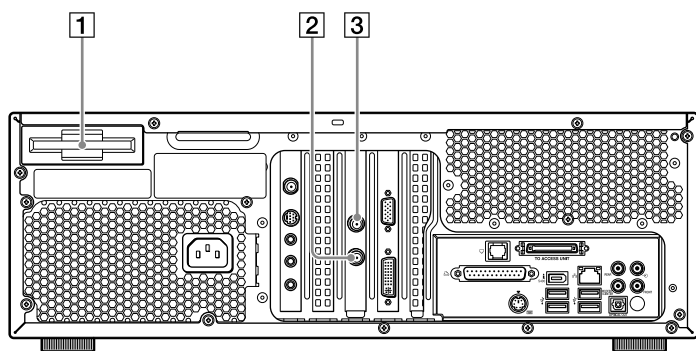
サラウンドスピーカーとつなぎます。

17 FRONT(フロント)コネクタ(25ページ)

付属のアクティブスピーカー、サラウンドスピーカーなどとつなぎます。

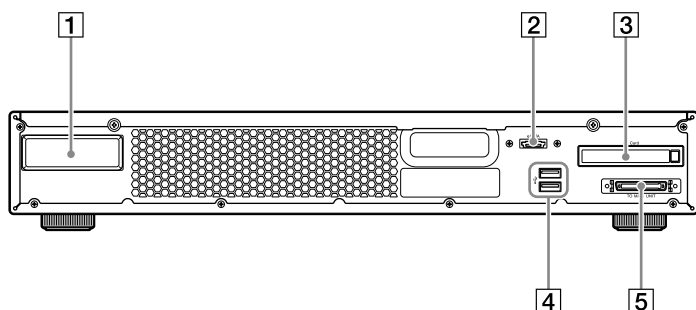
18 モニタコネクタ(24ページ)

ディスプレイをつなぎます。

❑ デジタルテレビチューナー搭載モデル

1 **B-CASカード挿入口(34ページ)**
B-CASカードを抜き差しします。

2 **地上デジタル入力コネクタ(33ページ)**
地上デジタル放送のアンテナをつなぎます。

3 **BS ／ 110度CS IF入力コネクタ(33ページ)**
BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナをつなぎます。

アクセスユニット(アクセスユニット付属モデル)

1 **Bluetoothアンテナカバー**
Bluetoothアンテナが内蔵されています。

!ご注意
Bluetooth機能を使って通信するときは、Bluetoothアンテナカバーを覆わないでください。通信の妨げになります。

2 **eSATAコネクタ**
eSATAに対応した外付けハードディスクを取り付けます。

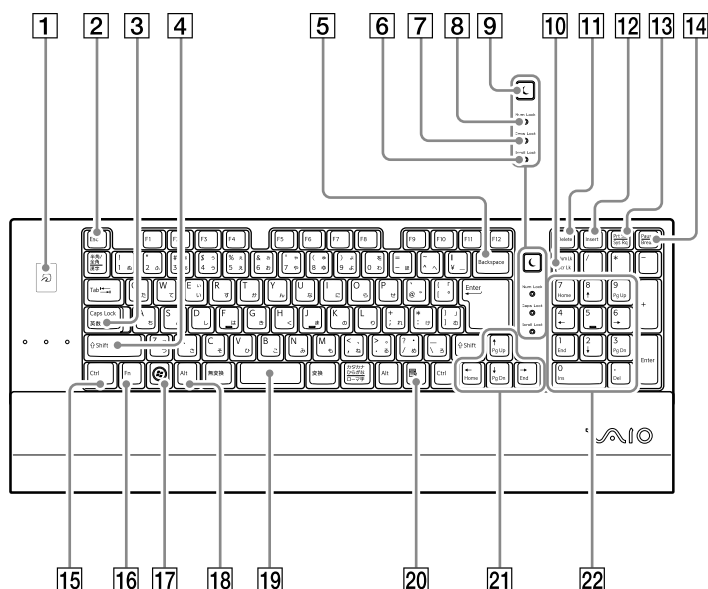
3 **PC Card(PCカード)スロット**
PCカードを取り付けます。
お買い上げ時は、PC Card(PCカード)スロット用ダミーカードが装着されています。PCカードが入っていないときは、スロットを保護するために必ずダミーカードを挿入してください。

4 **USBコネクタ(30ページ)**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

5 **メインユニット接続用コネクタ(37ページ)**
メインユニット-アクセスユニット接続ケーブルでメインユニットと接続します。

キーボードの各部名称

表面

1 FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。

2 Esc(エスケープ)キー
設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 Caps Lock(キャプスロック)キー
Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、キーボードのCaps Lock(キャプス・ロック)ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。
もう1度、Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押すと、Caps Lock(キャプス・ロック)ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

4 Shift(シフト)キー
文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。キーボードのCaps Lock(キャプス・ロック)ランプがついている状態で、このキーを押しながら文字キーを押した場合は、小文字を入力できます。

5 Backspace(バックスペース)キー
画面上のカーソルの左の文字を消すときに押します。

6 Scroll Lock(スクロール・ロック)ランプ
Scroll Lock(スクロール・ロック)が有効になっている場合に点灯します。

7 Caps Lock(キャプス・ロック)ランプ
Caps Lock(キャプス・ロック)が有効になっている場合に点灯します。

8 Num Lock(ナム・ロック)ランプ
Num Lock(ナム・ロック)が有効になっている場合に点灯します。

9 スタンバイキー
本機の電源が入っているときに押すと、スリープモードに切り換わります。再び押すと、スリープモードから復帰します。

10 NumLk/ScrLk
(ナム・ロック/スクロール・ロック)キー
このキーが押されて有効になっているときは数字キーで数字が入力できます。

11 Delete(デリート)キー
画面のカーソル上の文字を消すときに押します。

12 Insert(インサート)キー
文字を挿入するか、上書きするかを切り換えます。

13 Prt Sc/Sys Rq
(プリントスクリーン/システムリクエスト)キー
デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

14 Pause/Break(ポーズ/ブレイク)キー
使用するソフトウェアによって働きが異なります。

15 Ctrl(コントロール)キー
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

⑯ Fn（エフエヌ）キー

キーボード上で青字で表示されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

⑰ Windows（ウィンドウズ）キー

Windowsのスタートメニューが表示されます。

⑱ Alt（オルト）キー

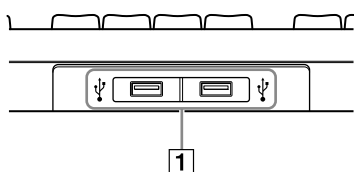
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

⑲ スペースキー

文字を入力しているとき、このキーを押すと、スペースを挿入できます。

ヒント

FキーとJキーに突起が付いています。

背面

1 USBコネクタ

付属のマウスやUSB規格に対応した機器をつなぎます。

!ご注意

キーボード背面のUSBコネクタは、USB2.0規格のHigh-speedに対応していません。USB2.0規格のHigh-speed機器を使用する場合は、本体側のUSBコネクタに接続してください。

⑳ アプリケーションキー

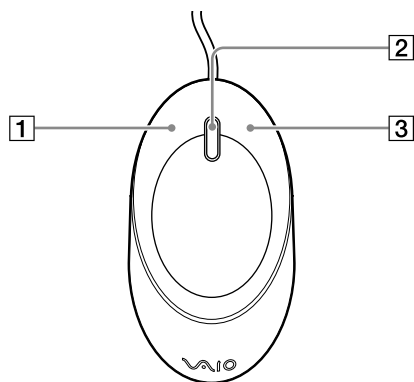
マウスで右ボタンを押したときと同じ働きをします。

㉑ 矢印キー

画面上のカーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示するときなどに使います。

㉒ 数字キー

NumLk（ナム・ロック）キーを押し、キーボードのNum Lock（ナム・ロック）ランプが点灯しているときは、数字を入力できます。

マウスの各部名称

1 **左ボタン**

文書や画像、ソフトウェアなどを選んだりするときに押します。マウスを使うときは、主にこのボタンを使います。

2 **ホイールボタン**

ウィンドウのスクロールをするときなどに、このボタンを使うと、左ボタンを使うよりも楽に操作できます。また、ホイールをクリックするとオートスクロール機能を使うことができます。

3 **右ボタン**

文書や画像をコピーするなど、さまざまな操作や設定をすぐに行うためのメニューを表示するときに押します。

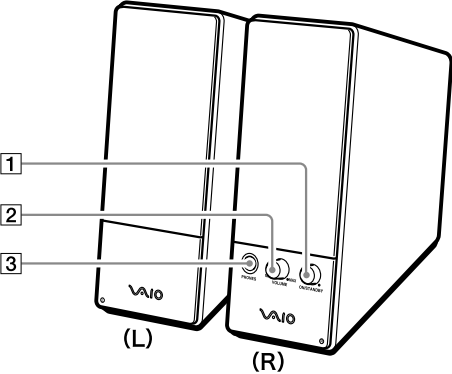
レーザーマウスとは

レーザーマウスは、マウス底面からの高解像度レーザーにより照らし出されている陰影をセンサーで検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上はもちろんのこと、衣類の上や紙の上でも使用することができます。
ただし、次のような表面では正しく動作しない場合があります。

- 透明な素材（ガラスなど）
- 光を反射する素材（光沢のあるビニールや鏡など）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるマウスパッドや机など

！ご注意

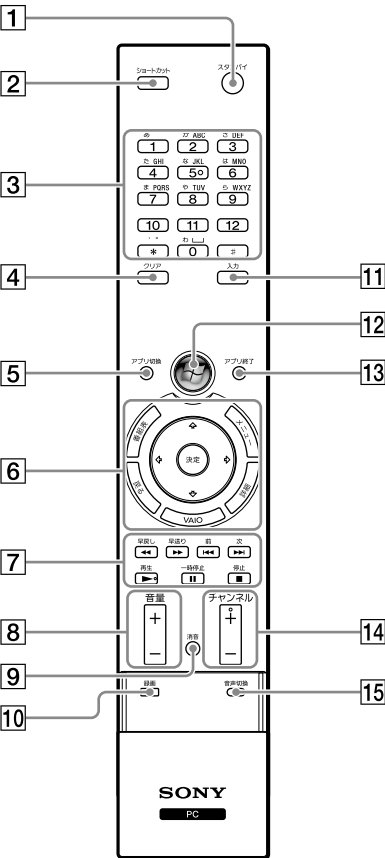
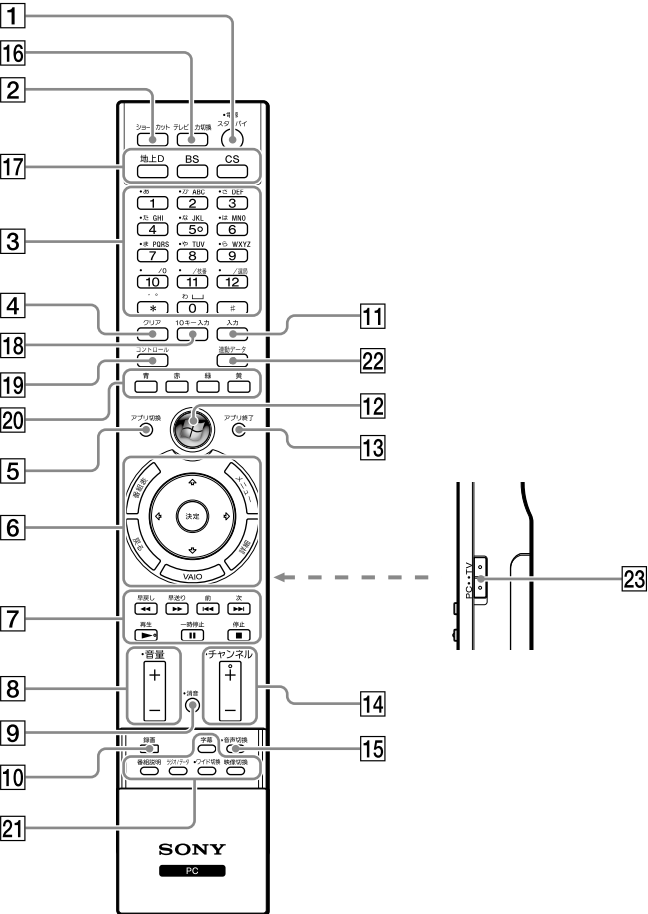
- マウスポインタが正常に動かないときは、上記の条件に該当しない表面（机、紙、マウスパッドなど）でマウスを操作してみてください（上記の条件に該当する一部のマウスパッドでは、マウスが正常に動作しない場合があります）。
- レーザーマウスのセンサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。

スピーカーの各部名称

1 ON/STANDBYボタン
電源を入れます。

2 VOLUMEつまみ
音量を調節します。

3 PHONESコネクタ
市販のヘッドホンをつなぎます。

リモコンの各部名称（テレビチューナー搭載モデル）

アナログテレビチューナー搭載モデル

デジタルテレビチューナー搭載モデル

1 **電源／スタンバイボタン**
本機の動作中に押すと、スリープモードになります。再び押すと、スリープモードから復帰します。

！ご注意

次の場合は、スリープモードには入れません。
- 録画中
- DVDの作成中
- 録画予約処理中（予約録画開始前など）
- リモート録画予約の通信中（リモート録画予約機能を設定している場合）

2 **ショートカットボタン**
アナログテレビチューナー搭載モデルの場合は、Windows Media Centerのテレビが起動します。
デジタルテレビチューナー搭載モデルの場合は「StationTV Digital」ソフトウェアが起動します。

3 **チャンネル数字／文字入力ボタン**
チャンネルを選択したり、文字を入力するときに使います。
5ボタンに突起が付いています。

ヒント

チャンネル数字ボタンの割り当ては変更できます。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

！ご注意

録画中は、チャンネルを切り換えることはできません。

4 **クリアボタン**
文字入力時に文字を消去したい場合に使います。

5 **アプリ切換ボタン**
手前に表示されているソフトウェアを他のソフトウェアに切り換えたい場合に使います。

6 **操作ボタンA**
Windows Media Centerやデジタル放送で番組表やメニューを操作するときに使います。

7 **操作ボタンB**
映像や音楽の再生操作に使います。

8 **音量ボタン**
音量を調節します。

！ご注意

ディスプレイやスピーカーで調節した音量以上の大きさにはなりません。

9 **消音ボタン**
一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

10 **録画ボタン**
テレビ番組の録画を開始します。

11 **入力ボタン**
Windows Media Centerでキーワード検索などを行う場合に、文字を入力したあと決定するときに使います。

12 **Windowsボタン**
Windows Media Centerを起動します。

13 **アプリ終了ボタン**
手前に表示しているソフトウェアを終了します。

14 **チャンネルボタン**
チャンネルを切り換えるときに使います。
＋ボタンに突起が付いています。

15 **音声切換ボタン**
複数の音声がある番組を見ているときに音声を切り換えることができます。
ボタンに突起が付いています。

16 **テレビ入力切換ボタン**
テレビの外部入力を切り換えます。

17 **地上D ／ BS ／ CSボタン**
それぞれ地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送に切り換えます。

18 **10キー入力ボタン**
ダイレクト選局（3桁入力）でチャンネルを切り換えることができます。

19 **コントロールボタン**
StationTV Digitalの操作パネルなどを表示します。

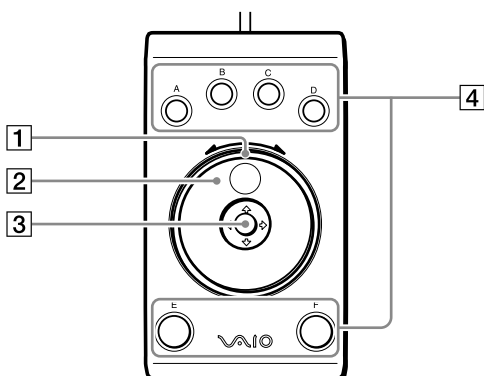
20 **カラーボタン**
データ放送や双方向サービスなどを利用する場合に使います。

21 **操作ボタンC**
デジタル放送の操作に使います。

22 **連動データボタン**
データ放送のコンテンツを表示します。

23 **PC ／ TVスイッチ**
本機の操作を行う場合はスイッチを「PC」に、市販のテレビを操作する場合は「TV」に切り換えます。

ジョグコントローラーの各部名称（ジョグコントローラー付属モデル）

「Adobe Premiere」ソフトウェアを使って映像の編集をしたり、「WinDVD for VAIO」ソフトウェアを使って映像の再生をしたりするときに便利なジョグコントローラーです。
お使いのソフトウェアに応じて、それぞれのボタンに特定の機能が自動的に設定されます。

1 LED
ジョグコントローラーを本機に接続したとき、青色に点灯して、操作可能なことを示します。

2 **ジョグダイヤル**
左右に回転させることができます。
主にコマ送りを行うときに使用します。
1クリックが1コマに対応しています。

3 **センターポイント**
上下左右に動かすことと、垂直押し（下に押すこと）ができます。
映像の再生や音量調節などに使用します。

ヒント
お使いのソフトウェアによっては、センターポイントを右や左に2度押すことによって、再生スピードをより高速にすることができます。

4 A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ **Fボタン**
お使いになるソフトウェアによって機能が変わります。

ソフトウェアを複数同時にお使いになっている場合は、最前面のソフトウェアのみ操作することができます。現在お使いのソフトウェア以外を操作したい場合は、目的のソフトウェアをクリックしてください。

ヒント
ジョグコントローラーの使いかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] － [ジョグコントローラー] をクリックする。）

登録されているソフトウェア

「VAIO USB Jog Utility」を使用することで操作設定内容を変更したり、使用できるソフトウェアを追加したりすることができます。
標準で登録されているソフトウェアは下記のとおりです。

- Adobe Premiere Pro ／ Elements
- TMPGEnc XPress for VAIO
- TMPGEnc DVD Author for VAIO
- TMPGEnc MPEG Editor for VAIO
- DigiOnSound for VAIO
- WinDVD

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 本機は精密機器であるため、ほこりが多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近くに置かないでください。故障の原因となることがあります。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。

- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買い上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。
- ハードディスクの増設に対応したモデルをお使いの場合には、増設用のハードディスクドライブベイに増設したハードディスクのみ取りはずすことができます。
- 交換したハードディスクは、静電気防止袋に入れて保管してください。
- 交換したハードディスクを保管するときは、積み重ねないで保管してください。
- ハードディスクを取り扱うときは、コネクタや基板に触れたり、天板に力を加えたりしないようご注意ください。

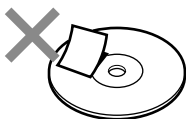
ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。データの損失については、一切責任を負いかねます。

ディスクの取り扱いについて

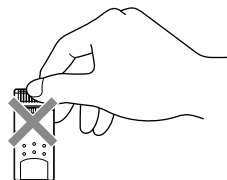
ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面(再生面)に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

“メモリースティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 端子部には手や金属で触れないでください。

- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力がかからないようご注意ください。
- 挿入するときは、“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”本体を破損するおそれがあります。
- “メモリースティック”と“メモリースティック デュオ”は同時に差し込まないでください。本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”本体が破損するおそれがあります。

“メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

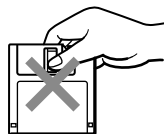
- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をメモリースティック マイクロ アダプターに入れてからお使いください。
- メモリースティック マイクロ アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターに“メモリースティック マイクロ”を入れ、さらにそれをメモリースティック デュオ アダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。メモリースティック マイクロ スタンダードサイズ アダプターをお使いください。
- “メモリースティック マイクロ”、メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器(デジタルスチルカメラやオーディオ機器など)で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめフォーマット(初期化)してからご使用ください。
機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリーカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると本体内部にディスクが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

ExpressCard モジュールの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でExpressCard モジュールの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- ExpressCard モジュール内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ExpressCard モジュールを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- ExpressCard スロットからはみ出すExpressCard モジュールを挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
    移動時にExpressCard モジュールに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュール部分を持って本機を持ち上げるなど、ExpressCard モジュールに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。

- ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。
  ExpressCard モジュールに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所

xD-ピクチャーカードをお使いになるときのご注意

xD-ピクチャーカードは端子部が露出した形状となっていますので、端子部には直接手や金属で触れないようご注意ください。xD-ピクチャーカードの端子部が汚れていると、本機で認識されない場合があります。端子が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。
なお、xD-ピクチャーカードと同様に端子部が露出した形状になっているメモリーカードも、同じようにご注意ください。

CD再生／録音についてのご注意

- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- 高速読み書き対応のドライブを搭載しているため、ディスクの状態によっては回転音が気になる場合がありますが、機能に問題はありません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
ただし、この音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証できません。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は、録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みの上、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Vista用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。
ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作の保証はいたしかねます。

他のオーディオ機器を接続する場合のご注意

本機に搭載されているSound Realityチップは、可聴領域を越える高い周波数の信号を再生できる能力を持っています。
本機に、外付けのアンプなど、外部のオーディオ機器に接続して、高い周波数の信号を大音量で連続再生した場合、接続された機器によっては故障の原因になったり、正常に音が再生できなくなるなどの問題を起こすことがあります。
市販のCDやDVDディスクなど、一般に音楽として流通している音源では、オーディオ機器に故障を起こすような高い周波数の音が大音量で含まれていることはありません。
本機にプリインストールされているサウンド編集ソフトなどで、意図的に高い周波数の信号が入った音源を作成したり、テスト信号などを再生させる場合はご注意ください。

お手入れ

本機／マウスのお手入れ

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

キーボードのお手入れ

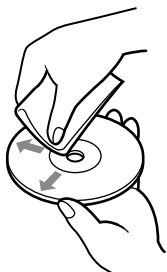
キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。
  キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

!ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜き、キーボードを本機から取りはずしてからキーボードを掃除してください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

ディスクのお手入れについて

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクのデータを完全に消去する
  VAIO データ消去ツールについて詳しくは、125ページをご覧ください。
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOカスタマーリンク ホームページに掲載されています。http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

×：再生、記録不可

ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）

ディスクの種類	使用の可・不可
BD-R ／ RE	◎ *7 *8
BD-ROM	○
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

DVDスーパーマルチドライブ

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

*1　DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。

*2　DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。

*3　DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0 ／ 2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*4　DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1 ／ 1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*5　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*6　DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

*7　BD-R Ver.1.1（1層 25Gバイト、2層 50Gバイト）、BD-RE Ver.2.1（1層 25Gバイト、2層 50Gバイト）の書き込みに対応しています。

*8　BD-RE Ver.1.0、カートリッジタイプのディスクはご使用できません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 8cmディスクアダプタには対応していません。8cmディスクを再生する場合は横置きにてご使用ください。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW ／ DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。
- CPRM対応のDVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMに、番組を直接録画することはできません。また、CPRM対応のDVD-Rへのムーブ（移動）には対応しておりません（デジタルテレビチューナー搭載モデル）。
- 録画したデジタル放送の番組はCPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAM ／ BD-REに移動（ムーブ）することができます（デジタルテレビチューナー搭載モデル）。
- ブルーレイディスクでは著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために著作権保護技術AACSを採用しています。ブルーレイディスクを継続的にお使いいただくためには、定期的にAACSキーを更新することが必要です。

  AACSキーは録画・編集・再生ソフトウェアが表示するメッセージに従いインターネットに接続することで更新することができます。更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの録画・編集・再生ができなくなる可能性があります。

  なお、著作権保護されていないコンテンツの録画・編集・再生には支障はありません。本機にインストールされて提供されたブルーレイディスク録画・再生ソフトウェアは製品出荷開始後5年間はAACSキーの更新を行うことができます。それ以降の対応につきましては弊社ホームページでご案内します（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）。
- 本機では、ソフトウェアを用いてブルーレイディスクを再生（デコード）しています。このため、ディスクによっては操作、および機能に制限があったり、CPU性能などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちすることがあります（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）。
- 映画などのBD-ROMコンテンツには、地域（リージョンコード）の設定が必要です。選択した地域と異なる設定のディスクは再生できません（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）。
- HDMI、DVIなどのデジタル接続をする場合、接続するディスプレイがHDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応していない場合は、著作権保護されたブルーレイディスクの映像を表示できません（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）。
- 再生するブルーレイディスクによっては、アナログ出力（D映像出力やアナログRGB出力）での解像度が制限される場合や、出力ができない場合があります（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）。

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R ／ CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL ／ DVD-R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- 本機で作成したBD-R ／ BD-REは、BD-RE Ver.1.0対応のブルーレイレコーダーでは再生できません（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）。
- 録画したデジタル放送の番組を移動（ムーブ）したCPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAMは、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生することができます。ただし、DVD-RW（VRモード）再生対応のプレーヤーでも、CPRM対応のDVD-RWに移動（ムーブ）して記録したことのあるディスクは再生できないなどの制限があります（デジタルテレビチューナー搭載モデル）。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやマウスの操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしないでください。

索引

＊別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

【ハ行】

【マ行】

【ヤ行】

【ラ行】

【A】

【B】

【C】

【D】

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、"Memory Stick"、"メモリースティック"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"マジックゲート メモリースティック"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG"、"メモリースティック マイクロ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ" "はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- 「テレビ王国」はソネットエンタテインメント株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Windows Media、Officeロゴ、PowerPoint、Outlook、Excel、InfoPath、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号 はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- CompactFlash(TM)およびコンパクトフラッシュ (TM)は、米国SanDisk社の商標です。
- 「xD-Picture Card(TM)」および「xD-ピクチャーカード(TM)」は富士フイルム株式会社の商標です。
- スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標です。
- MultiMediaCard（TM）はMultiMediaCard Associationの商標です。
- ExpressCard（TM）ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association（PCMCIA）の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- TDKはTDK株式会社の登録商標です。
- Panasonicは、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager, Renaissance Bass, S360 Surround Imager plug-ins by Waves Audio Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

バイオのサポート情報が満載

VAIOカスタマーリンク

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

バイオをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは146ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とバイオの各種サービスをご覧いただけます。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
（0120）60-3399
（フリーダイヤル）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、
海外などからのご利用は、
（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
（365日年中無休）
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していいただくと、「VAIOコールバック予約サービス」（152ページ）が24時間ご利用いただけます。

お電話の前に本機の型名をご確認ください。
（保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています。）
お電話でのお問い合わせについて、詳しくは「電話で問い合わせる」（150ページ）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ
（0466）38-1410

受付時間
平日：10時～ 18時
（年末年始は除く）

有料サービス

My VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ VAIO延長保証サービス

1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

■ VAIO Overseas Service（海外修理サポートサービス）

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料で現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

※ このほかにも有料メニューをご用意しています。
詳しくはMy VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ　電話番号（0120）60-3399

※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

3-293-504-**01** (1)